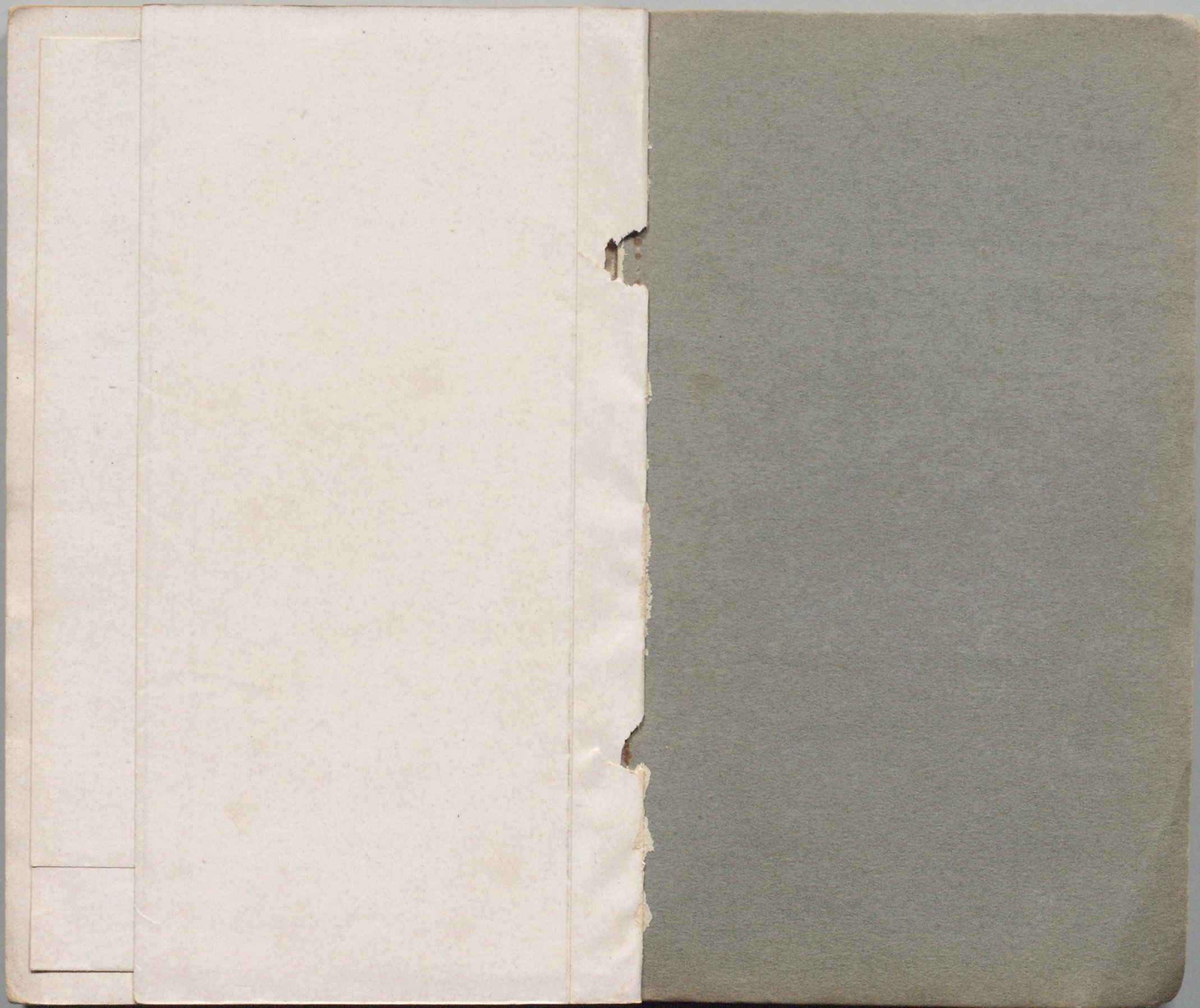
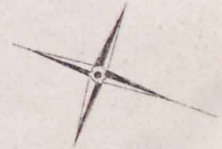


正誤表

種別	頁	行	誤	正
目次	二	一〇	通路	道路
本文	一	七	鐵道西	鐵道は西
全	三	一〇	細流爲つて	細流を爲つて
全	九	六	軍隊を	陣屋を
全	三	六	前橋市を	前橋市立を
全	一五	六	修學歩合	就學歩合

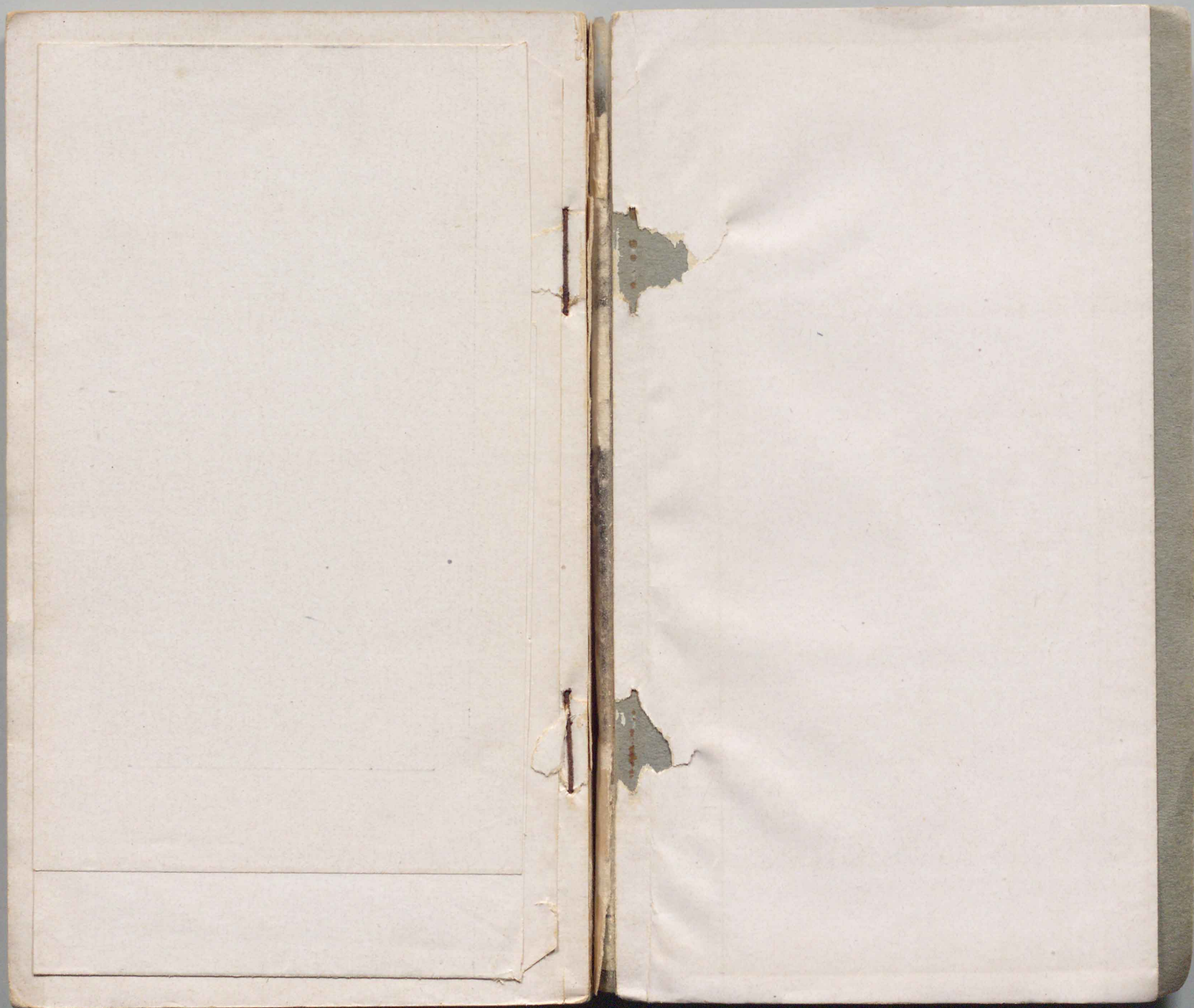


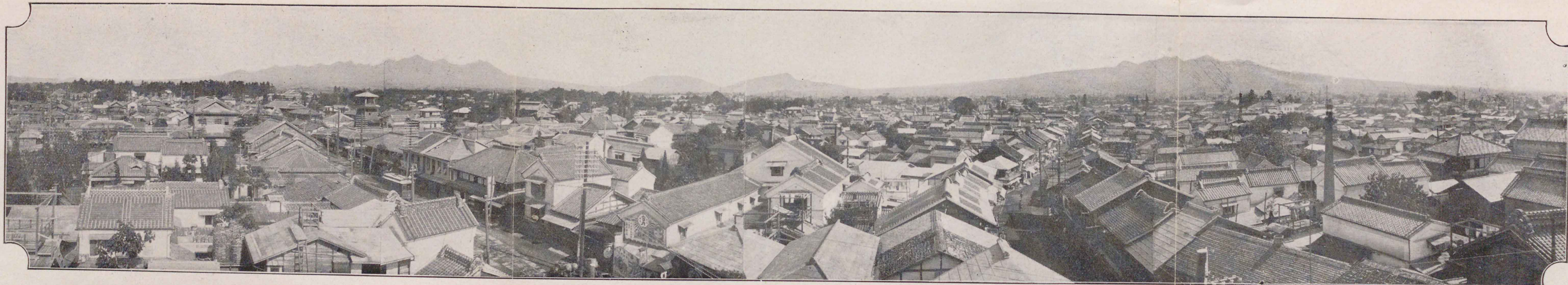
前橋市街圖



例凡

	市界
	大字界
	汽車鐵道
	電氣鐵道
	街路
	河川
	耕地



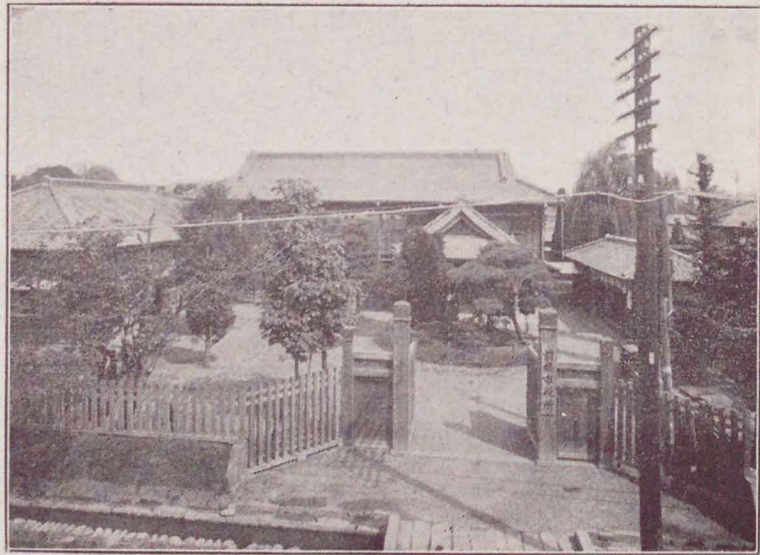


前 橋 市 街

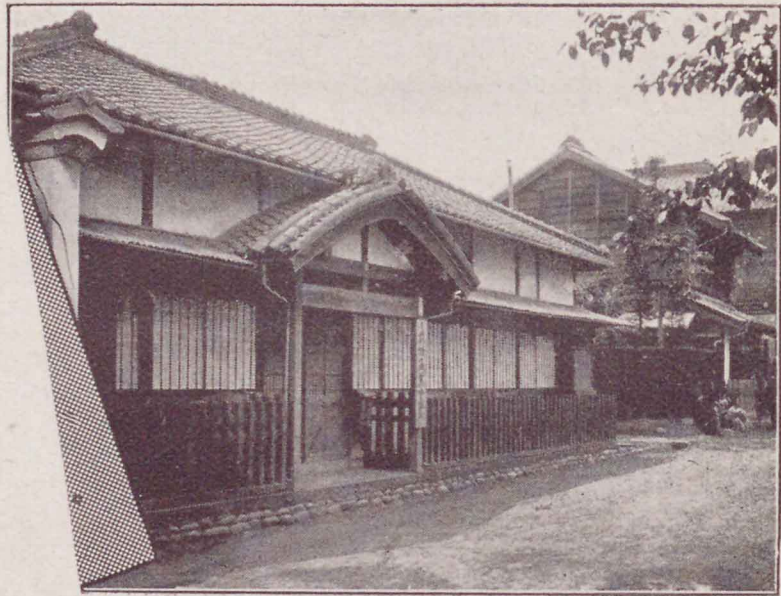




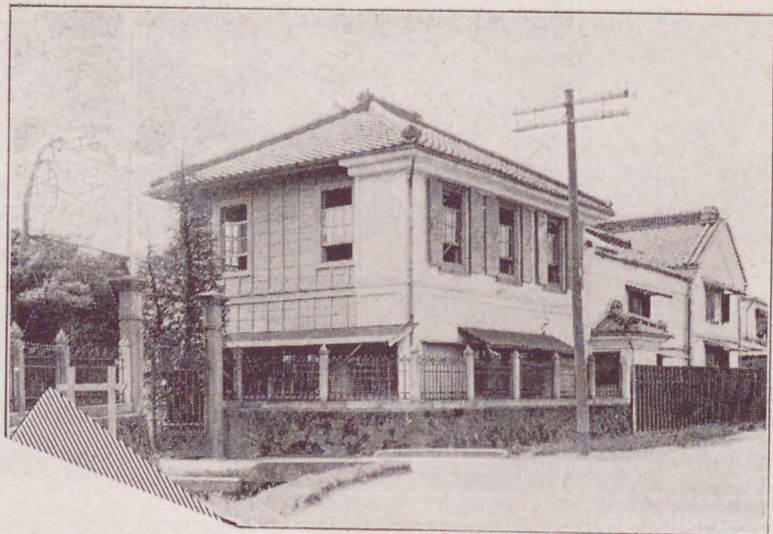
群馬縣廳



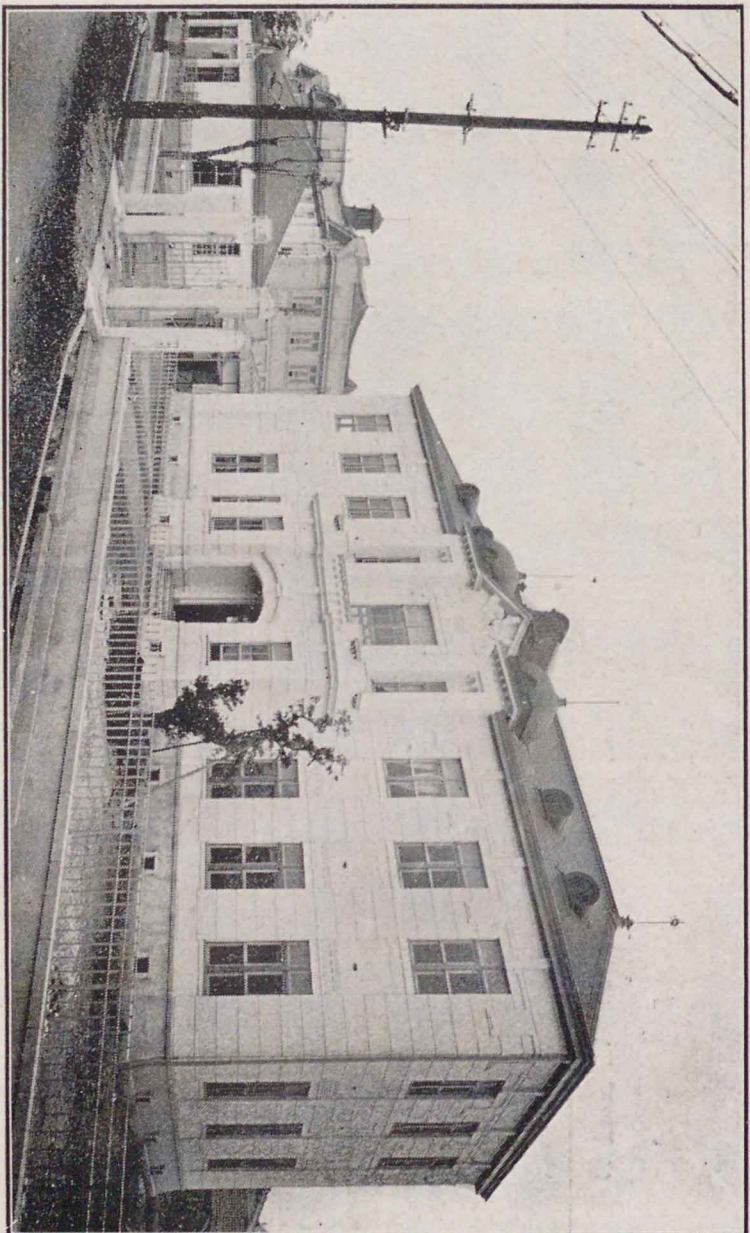
前橋市役所



商 業 會 議 所



交 水 社

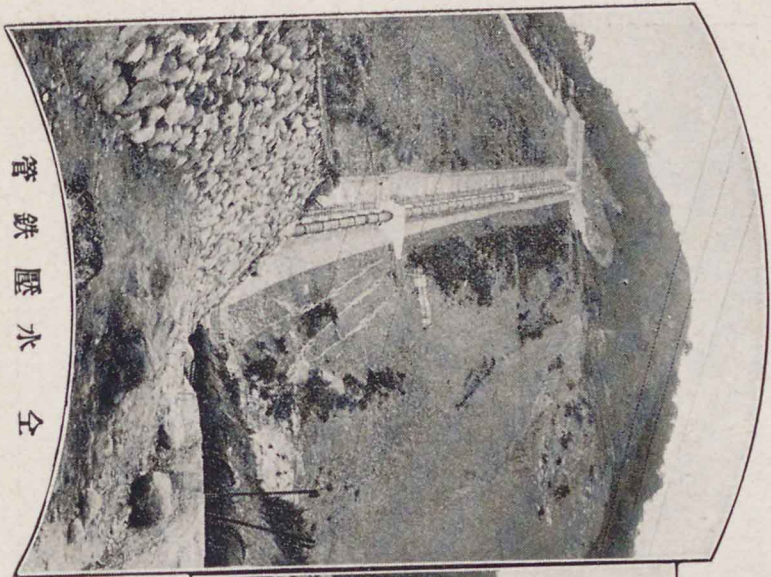


利根電發株式會社本社 (町川堀市橋前)

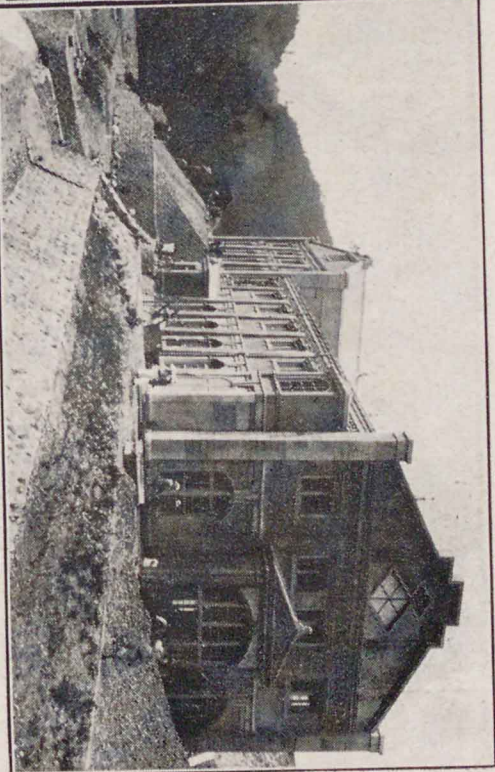
K672.22
Ma 26.1

凡 例

- 一、本書編纂の趣旨は前橋市と其商工業者を紹介するに在り、去れば首めに市勢の大要並に案内を略述し、次に商工業者の人名と屋號、營業稅額、店舖及電話、電畧符號等を詳記して商取引上の便を圖りたり
- 二、本書採録の人名は大正四年四月一日現在の營業者にして特別のものを除きては國稅營業稅年額金拾圓以上を納むるものとしたり、それ其業の比較的大なるものを掲ぐる目的なり
- 三、商工人名の次に銀行、會社、組合、官公署議員名を列記し、商工業との聯絡を知らしむるに便せり



全 水 壓 鐵 管



利 根 電 株 會 社 岩 室 發 電 所

四、旅人宿、料理店は特に一輯して巻尾に掲げ索引に易からしめた
 五、本書採録の人士は前項を除きては營業別と爲し之をいろは順
 に配列し、全業者中に於ては税額の多きものより記載したり
 六、一人にして數種の業を兼ねる者は主なる營業の部に其兼業を
 附記し、兼業の部には主なる業を参照すべきとを附記したり

前橋商工案内目次

總	位置及廣袤——地勢——氣象——地籍——戸口——町名と行政區	一頁
沿	革	七頁
教	育	一〇頁
	師範學校——中學校——女學校——小學校——實業補習學校——特別教授 私立學校——盲學校——幼稚園——圖書館——新聞——雜誌	
尙	武	二二頁
	架橋演習廠舎——武德殿——尙武會——在郷軍人會	
宗	教	二五頁
	神社と神道——佛教——基督教	
慈	惠	二六頁
	育兒——感化教育——養老救貧	

衛生と警備

傳染病—掃除—醫師と病院—市民の健康—警察—消防

二九頁

商業

繭絲類—一般商業—市場—銀行會社—金融

三三頁

工業

製絲—擦絲—織物—其他の工業

四〇頁

農業

米—麥—其他の農作物—養蠶—家畜と家禽—水産

六〇頁

交通運輸及通信

通路—鐵道—車—宿泊—郵便—電信—電話

六三頁

市政

公園—臨江閣—前橋城—岩神の飛石—敷島河原—風呂川
双子山—天野の藤—梅の井戸—著名の神社寺院

七〇頁
七二頁

娛樂

(八幡宮、神明宮、小石神社、龍海院、光顯寺、妙安寺、大蓮寺)
近郊の名所舊蹟(木曾神社、惣社の古陵、赤城山、榛名山、妙義山、伊香保)
劇場—寄席—興行物—遊技場及遊藝—花柳界

九四頁

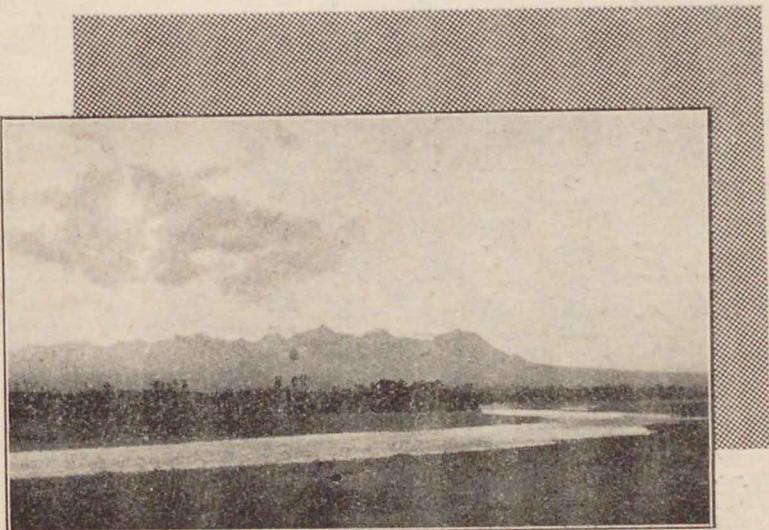
前橋市商工業案内

總説

位置及廣表——地勢——氣象——地籍——戸口——町名と行政區

我が前橋市は上野國の中央より稍々南に位し、巨流利根川の左岸に在りて、戸數八千七百有餘、人口四萬九千を有し群馬縣廳及地方裁判所等ありて一縣の政治的中心たる各種の施設之に伴ふ、又實業的要區にして商工業殷盛、就中繭絲の取引、製絲の業等は最も熾なり、鐵道西より東に通じ、西は即ち高崎を経て左東京線に、右信越線に連り又別に下仁田方面に達すべし、東の方柄木縣に入るものは遙に奥羽線に連絡し、東武鐵道は伊勢崎より岐れ太田、館林を経て東京に通ず、電氣鐵

道は本市に起りて澁川町に達し更に伊香保温泉に直通し、利根、吾妻方面は澁川町より馬車鐵道に由るの便あり、水利は利根の急流運輸に適せずと雖も其支流たる廣瀬川は市の中央を桃木川は東端を流れ共に細流を市中に分派するが故に水の供給頗る豊富にして従つて水力の利用大なり、本市の工業發展が主として之に原因すること言ふを俟たず



利根川を隔て、榛名山を望む

位置及廣袤

東經百三十九度四分、北緯三十六度二十四分の處に在りて、東西三十二町南北二十三町にして、其面積零方里七四餘あり、北東南の三面は勢多郡に界し、西は利根川を隔て、群馬郡に接す、

地勢

那須火山脈は波濤の如く北より來り赤城山を崛起し、更に榛名の連峯を駢列して終に巉巖鋸の如き妙義を聳立す、此の諸山に抱擁せらるゝ如くして、東南遠く際涯なき關東平原の盡頭に立てる市街を我が前橋市となす、地勢殆んど平坦なるも稍々南高、北低の傾向を有し海拔百七米突あり、利根の巨流は市の西を洗て奔注し南下し、其支流たる廣瀬、桃木の二川細流爲つて市内を縦横に流る

氣象

氣候概ね温和氣壓は平均七百五十耗内外にして氣温は冬期平均三度、夏期は二十五度とす、十一月より翌年三月頃までは北風多くして而かも勢ひ猛烈、其最も強きときは一秒間三十米突に達する風速あり、從て此期間の空氣は常に乾燥せり、一ケ年の日照時二千四百時間、雨量千二百耗にして初雪十二月中旬、終雪三月中旬なりとす、而して冬春の北風は之を空風からつかぜと稱し上州名物の一に數へらる、之れ其勢ひの烈しきに拘はらず被害の伴はざる爲めなり、去れども時に砂塵を舞はして行人を苦め又火災を煽り、依て來る慘禍の大なるにあり爲めに市中は冬期特に火を警しめ且つ消防の設備には頗る意を用ゆる處あり

地籍

大正三年末に於ける市の現在有租地は左の如し

地目	反別	地目	反別
田	三一七、三四〇七 <small>歩</small>	原野	三、〇〇二七 <small>歩</small>
畑	二七〇、七六一六 <small>歩</small>	池沼	三、七六二八
宅地	六二、五一一五 <small>坪</small>	其他	一、四〇六
山林	三六、三一〇九 <small>歩</small>		

戸口

明治の初年頃より頓に膨脹し、二十五年には戸數五千五百八十五、人口三萬千七百六十一を有し、其四月一日を以て市制を施行したり、爾來戸口共に増加して現在左の如し

戸數	人口
本籍 三、五九八 <small>戸</small>	男 二四、三〇五 <small>人</small>

寄留 五、一九五
計 八、七九三

女 二四、八六九
計 四九、一七四

而して最近十ヶ年間の増加歩合は戸數に於て一割三分八厘、人口に於て一割九分八厘の割合にして、現住人の一戸平均は五人二分一厘餘に當る

町名と行政区

市内は四十二の町あり之を四十一の行政区に分つ、即ち左の如し

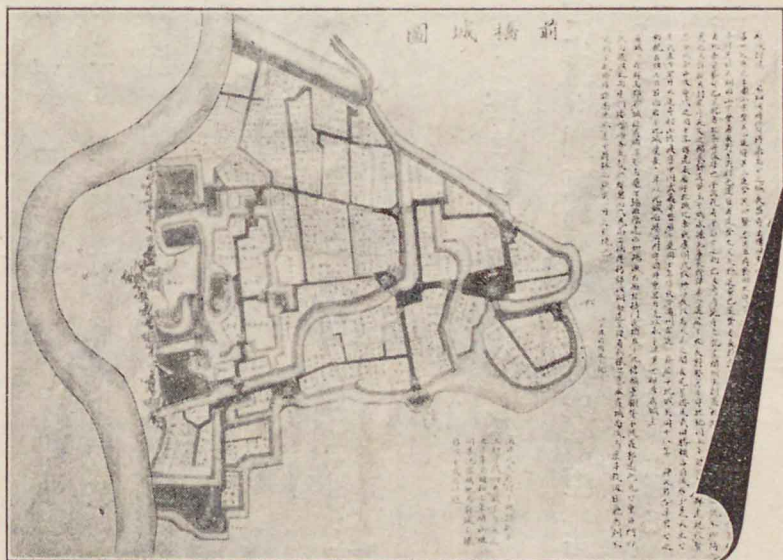
第一區 曲輪町	第二區 南曲輪町 石川町	第三區 堀川町	第四區 田中町
第五區 連雀町	第六區 本町	第七區 相生町	第八區 田中町
第九區 片貝町	第十區 中川町	第十一區 新町	第十二區 天川町
第十三區 百軒町 大塚町	第十四區 芳町	第十五區 萱町	第十六區 榎町
第十七區 紺屋町	第十八區 桑町	第十九區 横山町	第二十區 立川町
第二十一區 堅町	第二十二區 北曲輪町 柳町	第二十三區 神明町	第二十四區 向町

第廿五區 細ヶ澤町	第廿六區 小柳町	第廿七區 一毛町	第廿八區 諏訪町
第廿九區 清王寺町	第三十區 才川町	第卅一區 國領町	第卅二區 萩小路
第卅三區 岩神町	第卅三區 岩神町	第卅四區 紅雲町	第卅五區 前代田
第卅六區 前代田 市ノ坪	第卅七區 宗甫分	第卅八區 六供	第卅九區 天川原
第四十區 天川町			

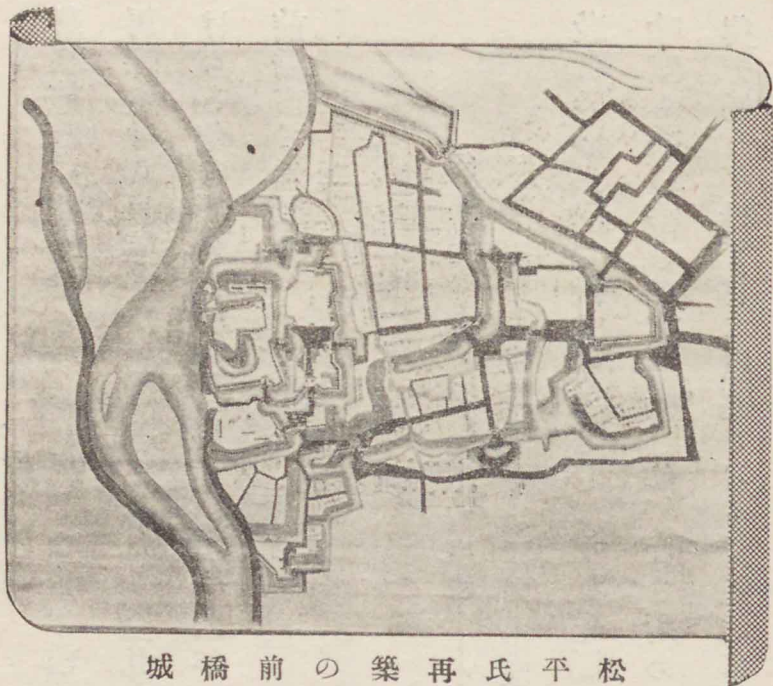
右の内本町、堅町、横山、桑、連雀、立川、細ヶ澤の諸町を商業の中心地とす
沿革

前橋市は舊時厩橋と成せり、或は云ふ利刈こがりの驛と稱せしもの之れにして上代帝都より東北に通ずる驛次なりしと、足利氏の末に當り關東の管領上杉氏の臣長尾某此地に城を築き、後幾何もなく武田、上杉(謙信)、北條諸氏の交々争奪する處となりて其名漸く史上に著はる、信玄、謙信相亞ひて死するや織田信長、武田氏を

滅して、當城に其臣瀧川一益を置く、信長本能寺の變に遭ふや一益去りて北條氏の有に歸し其將織田、松田等之を守れり徳川氏關東を領するに及んで平岩親吉を封し、慶長六年酒井重忠をして之に代らしむ、時に家康重忠に謂て曰く「汝に關東の華を與ふ」と蓋し此地方は平坦にして地味肥へ當時既に一名區たりしなるべし、酒井氏の此處に在る八世凡そ百五十年にして其中封録の大なるものを忠清と



酒井家時代の前橋城細圖



松平氏再築の前橋城

なし二十一萬三千石を領す、寛延二年酒井氏の姫路に移るや松平氏十五萬石を以て姫路より入りて之に代る居ること十九年にして、明和四年の洪水に利根川に臨める城礎崩壞の故を以て川越に移れり、爾後百年間は單に軍隊を置くに過ぎざりしが、文久年間に至り城を再築して之れに移れり、當時十七萬石の威勢は樓閣商舖競ひ起らんとせしも時會々維新の改革に際し、明治二年

藩制施行に前橋藩と改められ、全四年前橋縣となり更に群馬縣となる、全六年群馬縣廢せられ熊谷縣の管轄となり、全九年再び群馬縣を置かれ廳舎を舊城内に設けらる今の縣廳即ち之れなり、二十二年前橋町となり、二十五年市制を施行して前橋市と爲れり

教 育

師範學校——中學校——女學校——小學校——實業補習學校——特別教授
私立學校——盲學校——幼稚園——圖書館——新聞雜誌

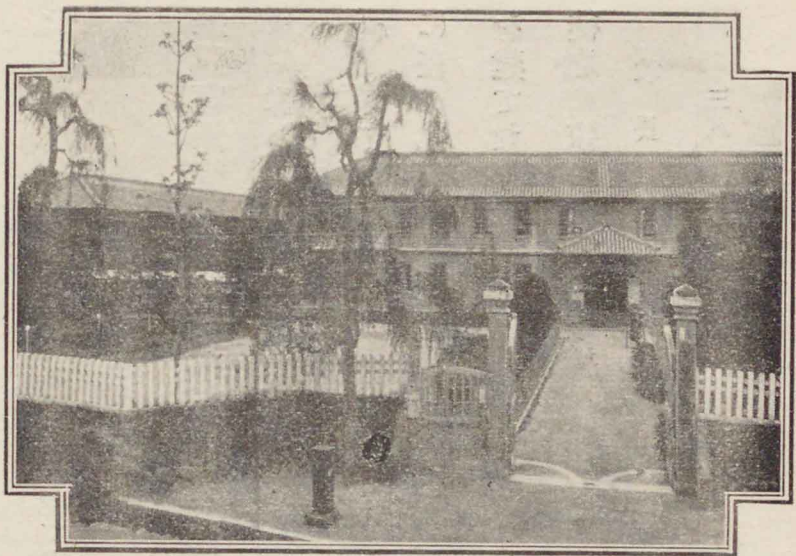
教育の事舊記の徵すべきなし、文久年間に至り松平氏の再び此地に入るや藩賢博諭堂も共に移して文事獎勵に努むる所ありしが幾何もなく維新の改革に由り其隆興を見るを得ずして廢蠻となり、僅かに藩儒等其の遺旨を體して子弟教育の任に

當るのみなりき、其後制度の整ふに従て漸く今日の如き隆昌を來せり

師 範 學 校

群馬縣師範學校 明治六年本市に小學教員養成所を開設す、之を本校の起原とす其年群馬縣廢せらるゝと共に本庄驛に移され更に熊谷町に遷る、九年熊谷縣廢せられ再び本市に轉じ群馬縣師範學校と改稱して今日に及べり、校舎は元と曲輪町に在りしが明治四十三年府縣聯合共進會を清王寺町に開催したる跡に現在の學校を建てたり、其大正四年に於ける現況は左の如くにして別に附屬小學校ありて生徒之に依つて實地教授を練習す

教員	生徒	講習科
三十八人	大正四年迄卒業生	三十八人
本科	一部	二五〇人
二部	二五一人	
四〇	一、〇四四人	
三七二	計	三二九
		一、六六六



前橋中學校

群馬縣女子師範學校 明治三十四年の創設にして盛んに女教員を養成せり本校にも亦
 附屬小學校あり

教員

大正四年
 現在生徒

大正四年迄
 卒業生

一三八

本科

一部 一三二人

四〇二人

二部 三〇

一一九

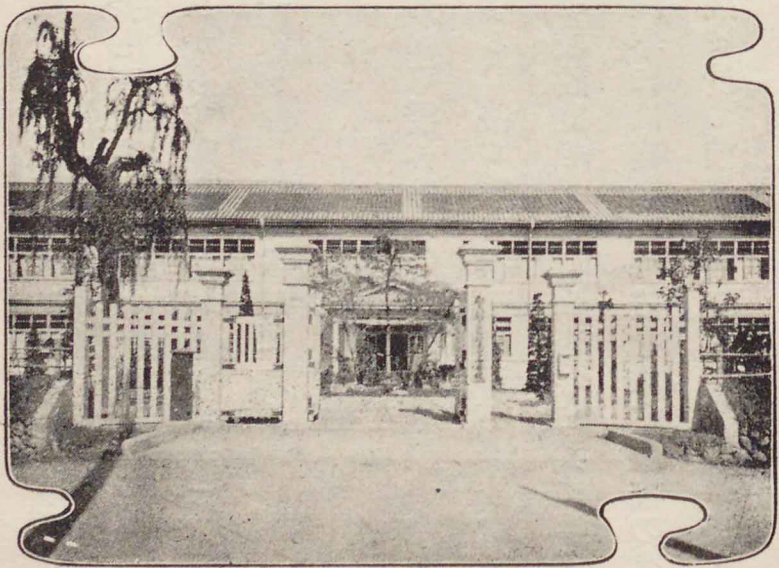
中學校

群馬縣立前橋中學校 明治十二年開設せられ當時は師範學校内に在りしが幾何もなくして今の地に移り年と共に其生徒數を増し

大正四年現在は教員二十四人、生徒五百五十七人にして此年迄の卒業生は實に千三百二十四人を出せり

女學校

群馬縣立前橋高等女學校 明治四十三年四月前橋市を以て創まり、大正二年群馬縣立となり紅雲町に地を下し、校舎を新築せり之れを今の建物とす、現在教員十四人、生徒三百二十六人にして卒業生百二十八人を出せり



前橋高等女學校

共愛女學校 明治二十一年基督教派の有志相計りて設置せる私立高等女學校なり其翌年校舎を岩神町に新築し爾來熱心に經營し市立高等女學校の設立せらるゝ迄は唯一の女子教育機關として貢献する所尠ならず現在に於ける教員十三人、生徒百二十人にして、創立よりの卒業生五百一人を算し市の内外に亘る

小 學 校

本市に小學校の設立せられしは明治六年三月向町橋林寺に第四番小學校、全四月芳町養行寺に第五番小學校の置かれしに創まる、後ち第四番は敷島小學校、第五番は桃井小學校と改められ、翌七年中川小學校設立せらる、爾來年と共に擴築、改造して人口の増加に伴はしめ、明治二十四年には高等小學校を設け厩橋の名を冠す、更に三十七年高等小學一校を増す、茲に於て前者を厩橋西高等小學校とし

後者を厩橋東高等小學校とす、三十九年に到り更に人口増加の爲め久留万尋常小學校を設置し、高等二、尋常四となれり、明治四十一年四月小學校令改正せられ義務教育年限の延長したる爲め配置上尋常高等併置の制を執り從來の六校を合併改築等を行ひて尋常高等小學四校と爲したりしが、更に學級の關係等を慮り、大正二年より左の通り改めたり、現在の學齡兒童は六千四百六十六人にして内男三千四百八十三人、女二千九百八十三人なり、其修學歩合は男九十八人六分七厘、女九十七人八分六厘、男女合計九十八人三分二厘の割合なり

大正四年現在

校 名	教 員 學 級 數	生 徒 數			
		高 等 男	高 等 女	尋 常 男	尋 常 女
久留万尋常高等小學校	二六 ^人 三三	二八三 ^人	一五 ^人	四六九 ^人	四二五 ^人

桃井尋常小學校	二七	二四	一	一	八三	八〇七
中川尋常小學校	三三	二〇	一	一	七〇二	六六八
數島尋常小學校	三三	二〇	一	一	六六五	五五八
群馬縣師範學校附屬小學校	四	三	三	二五	二六	二二三
群馬縣女子師範學校附屬小學校	九	八	一	五	一九	二四

實業補習學校

前橋實業補習學校 大正四年四月本市に於て商業又は工業に従事し又は従事せんとする子弟の爲めに設立し、夜間教授を爲す現在専任教師一人、囑托教師六人にして商業科生徒百五十五人、工業科生徒三十九人ありて授業料等を徴收せず、其業務に必要なる智識技能を授け併て普通教育の補習を施しつゝあり

特別教授

他家に雇はれ若くは特別の事情ありて普通の教育を受くること能はざるものゝ爲めに學齡兒童保護會なる團體ありて、學用品を給與又は貸付して毎日一時間宛小學校に於て授業を施しつゝあり、其校數三、之に従業する教員九人、現在生徒男百六十六人、女百七十八人あり

私立學校

本市に於ける私立學校は共愛女學校を除くときは只一の男子學校あるのみにして他は皆裁縫女學校なり即ち左の如し

校名	位置	創立時	學科	教員	生徒
明治裁縫學校	田中町	明治三十六年	裁縫、技藝	四 ^人	一七八 ^人

前橋裁縫淑女學校	田中町	明治三十六年	裁縫、技藝	一	一六〇
鈴木裁縫女學校	堀川町	全	全	二	一九八
和洋裁縫女學校	北曲輪町	全	三十七年	全	一三九
實用裁縫女學校	神明町	全	四十年	裁縫	一四七
女子裁縫學校	曲輪町	全	年	裁縫、技藝	一四五
實地専門前橋裁縫學校	本町	全	四十三年	全	一五八
小野澤裁縫學校	神明町	全	四十四年	全	二七一
前橋義塾	曲輪町	全	四十一年	中學程度 普通學	四一〇五

私立前橋盲學校 明治三十七八年戰役に於て本縣出身軍人中失明者多數ありし

を憐み市の篤志者は時の上野教育會長と圖り訓盲所を設立し失明軍人及軍人遺族中の失明者に教育を施し生活の途を與へたり次いて四十一年本縣師範學校に移され全校の附屬たりしが大正三年より前橋市に於て之を經營するとなり桃井小學校内に轉せり、然るに本市醫師後藤源久郎氏進んで之が經營に當らんと志し有志を説きて基金を蒐め又會員を募集して維持費を作り四年九月より私立に移り今の名に改む之れより先き本校は舊に軍人及其遺族のみに止まらず廣く盲者の爲めに教育を施すと、なれり、現在教師は普通學二人、音樂、按腹各一人にして生徒は本縣の住民中より收容し男女合計十六人あり

幼稚園

私立清心幼稚園 北曲輪町にあり明治二十八年米國婦人セツト嬢の創立にして

爾來本園に資を投し其經營を助く現在保姆三人、幼兒八十九人あり
私立前橋幼稚園 明治三十八年市有志の創設に係り今や群馬縣女子師範學校の
代用幼稚園となれり、保姆三人、幼兒百八十九を有す

圖書館

上野教育會附屬圖書館 上野教育會の事業にして曲輪町に在り、洋書百三十五
冊、和漢書四千九百四十六冊を有し、一ヶ年の閱覽人員三千四百餘人あり
前橋圖書館 御大典紀念の爲め市廳舎の東に接し建設中に屬す、本館は市立な
れども帝國在郷軍人分會實業談話會其他市の有力なる法人、個人等も之に援助を
與へ其設備を完す

新聞雜誌

本市に新聞、雜誌の刊行せらるゝもの少なからざりしが克く久しきに亘るもの稀
なり、而して現在に於ける重なる新聞紙及雜誌は左の如し

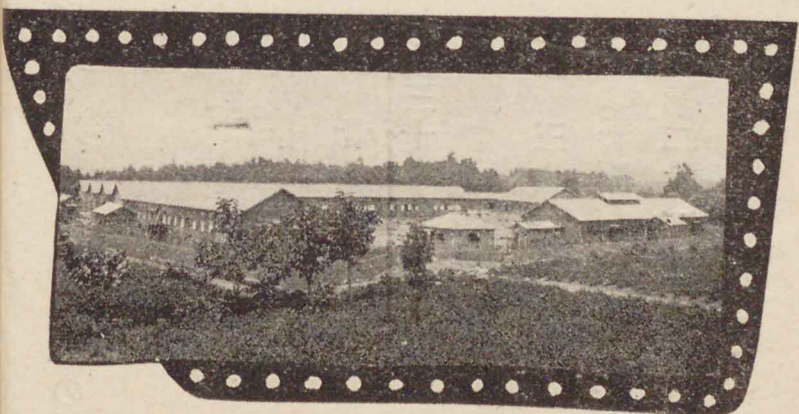
題號	刊行日	發行所	創立
上毛新聞	日刊	曲輪町其社	明治廿一年十一月
上州新報	全	北曲輪町其社	全 廿九年十月
群馬新聞	全	豎町其社	全三十二年十二月
上州産業新聞	全	立川町其社	全四十二年十二月
商業新報	五、十ノ日	本町其社	全 三十八年一月
上毛民聲新聞	週刊	北曲輪町其社	大正四年二月
上野教育會雜誌	月一回	師範學校内 上野教育會	明治二十一年二月
群馬之産業	全	曲輪町其社	全 四十二年

又東京新聞にして支社を本市に置くものは國民、東京朝日、報知、中央、やまと、世界、東京日々等にして高崎市より發刊する上野新聞、宇都宮市より發刊する下野新聞及下野毎日新聞も亦支社を置く

尙武

架橋演習廠舎——武德會——尙武會
在郷軍人會

陸軍架橋演習廠舎 岩神町利根川の沿岸に在り敷地五千六百坪にして、大中隊本部一棟、兵舎四棟、倉庫、炊事場各一棟及附屬建物を有す、本廠舎は毎



陸軍架橋演習廠舎

武

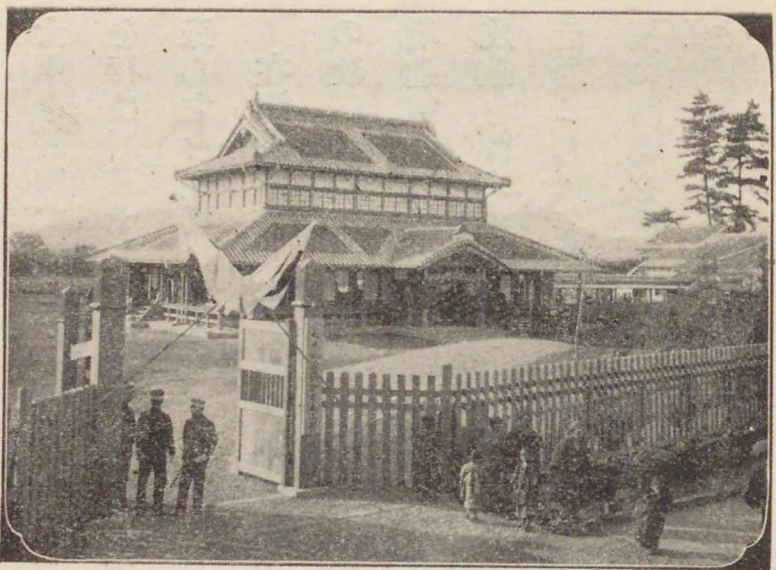
德

殿

年夏期工兵隊の架橋演習に際し之が宿所に充つる爲め、明治四十年本市に於て建築し陸軍省に寄付したるものなり

一武德會 大日本武德會群馬支部は明治四十一年公園の南に地を相し宏大なる武德殿を建設し武技の練磨に龍攘虎搏の壯觀を見る

尙武會 二十七、八年戰役に此會を起し軍人遺族の保護、出征軍隊の慰問に努め、三十七八年戰役の際は一層其事業に働き、



士氣を鼓舞すること大なりき、其平時に在りては入營者の教育、入退營者の送迎を行ひ、三十九年には公園内に銅碑を建て、明治維新以後の縣下戰没者の英名を録し之を後世に傳へたるは尤も特記すべき事に屬す

在郷軍人會 帝國在郷軍人會前橋市分會は明治四十一年設立したる前橋軍友會の改稱せるものにして現に會員六百卅名を有し軍人精神の振作体育及軍事智識の増進並に品格を高め友誼を淳ふする等を目的とし毎年春秋二回に總會を開き諸般の施設に盡す所あり



彰忠碑

宗 教

神社と神道—佛教—基督教

神社と神道 本市には縣社一、村社十四、無格社十二、合計二十七の神社あり
神道に屬する教會講社は天理教、神習教、御嶽講、金光教各一あり

佛教 寺院の數二十六ありて曹洞宗に屬するもの九、眞宗五、天台、淨土各四
眞言三、日蓮二にして別に金剛講社、眞宗本願寺說教所等あり

基督教 基督教は明治初年既に本市に入り十一年に教會の設置を見たり、其後漸次其數を増し今や、聖マツテヤ教會、天主教教加默爾教會、聖神降臨教會、前橋基督教會の五あり、又別に救世軍前橋小隊ありて布教に熱心なり

慈 惠

育兒—感化教育—養老救貧

慈善の事言ふに易くして行ふに難し、殊に孤兒、老廢者を保育、扶養するは誠に容易の業にあらざるなり、然るに此等の施設稍多きは意を強ふするに足る

育 兒

上毛孤兒院 明治二十四年十月濃尾地方に大震災あり其慘狀見るに堪へざらむ、殊に父母を失へる幼兒の號泣して之を索むる狀酸鼻を極めしこの旅客の言に同情して孤兒救濟を企てしを住吉屋旅館主宮内文作氏とす、之れ本院の創めにして養育主任金子尙雄氏と力を協せ翌二十五年今の所に院舎を建設したり

爾來幾年大に其規模を大にし現に男四十七、女十九の孤兒を保育す、創立以來收容せるものは百四十一名に達す、内務省に於ても此事業を認め年々獎勵金を下付せられ、市に於ても補助金を與へて其業を助く、本院は基本を鞏固ならしめんが爲めに北海道に農場を拓き百四十三町歩を有し、又本年より花壇を設けて花卉の購入に應じつゝあり

前橋育兒院 神明町に在り明治三十九



上毛孤兒院

年藤井萬喜太氏の創業にして、現に三十一人の幼児を收容す、本院も助成金を受けて之が整備に盡しつゝあり

二八

感化教育

明峯學院 明治四十一年明峯榮泉氏天川原松竹院内に設立して不良の少年を感化せり、然るに四十三年十月群馬縣が岩神町に群馬學園を設け明峯氏を聘して之を經營せるを更に大正二年度より全氏の經營に移し再び今の名稱と爲せり、現在の生徒男二十人あり之に小學校の課程及實科を教授し薰陶感化を専らとす

養老救貧

前橋積善會 本會は鰥寡廢疾のものを恤み貧困者に醫藥を給し、其重きものは前代田に在る附屬病院に收容す、大正三年中の收容者十六人、外來患者二百九十

八人あり共に無料を以て其治癒を圖る

前橋養老院 田中町に在り上毛孤兒院の創立者宮内文作氏之を創め其後幾度か人を代へ今は田邊熊藏氏經營し老衰者を扶養す現に七名あり

衛生と警備

傳染病——掃除——醫師と病院——市民の健康——警察——消防

生命財産の安全を圖るは衛生と警備との完きを要す、本市も大に之に努むる處ありて各種の施設を整備し特に蒸氣唧筒は四臺を市内に配置し以て萬一に備ふ

傳染病

市立傳染病院 一毛町にあり敷地千四百餘坪、建物二百四十三坪を有し、醫員

二九

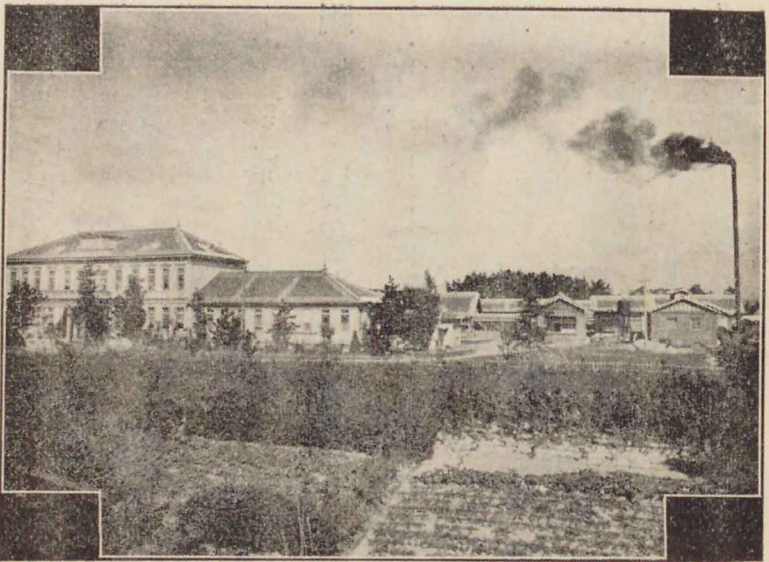
看護婦、事務員等を常置し入院者は一切市費支辨とす、大正三年中の入院患者は赤痢三三、腸窒扶斯四九、パラチブス六、猩紅熱九、實扶的亞三九等なり

掃 除

掃除は市内を四區に分ち一區一名の巡視ありて之を監督長及監督の下に屬さしめ十二人の人夫を使役し日々汚物の搬出に努め、塵芥は一毛町に在る個人經營の焼却場に送る、其車數一ケ年一萬四千五百車あり又汚泥は六十車ありて別に之を捨つ、焼却場の燃焼せし灰は肥料として賣却すと云ふ

醫師と病院

近年醫師の開業するもの多くして皆専門を掲げて濟生の事に従ふ、現在の醫師數六十七人にして内女醫一名ありて、開業しつゝあるもの四十四人、別に齒科醫八



日本赤十字社群馬支店病院

名、産婆四十七人あり、日本赤十字社群馬支部は大正二年市内新町に宏壯なる病院を建築して一般患者をも引受け院長以下醫員、看護婦等多數日夜治療を施しつゝあり

市民の健康

最近に於ける本市現住人の出生は千五百二十一人にして人口百人に對し三人一分に當り死亡は九百八十人にして人口百人に對し二人に當る、而して其約三割は呼

吸器病にして二百九十三人、一割八分は消化器病にして百八十人、一割五分は神經及五官病にして百五十人其他は一割以下にして傳染病は四分半なり

警察

前橋警察署 市の中央曲輪町にありて市内要部には巡査派出所を置き署長は警視にして以下警部一、巡査六十二名を以て其事務に従ふ派出所は左の如し

本町——横山町——細ヶ澤町——曲輪町——紅雲町——岩神町
新町

消防

前橋消防組 本市は冬期風多き爲最も消防に意を用ひ、之が組織は一の蒸氣唧筒部と第一より第十に至る各部とより成り、其部に部頭、小頭の役員と消防手ありて組頭之を統率す、而して近年蒸氣唧筒を増加し四臺とし三、六、七部は之に代る消防手は蒸氣唧筒なるものは二十二名其他は四十名を以て一部とす

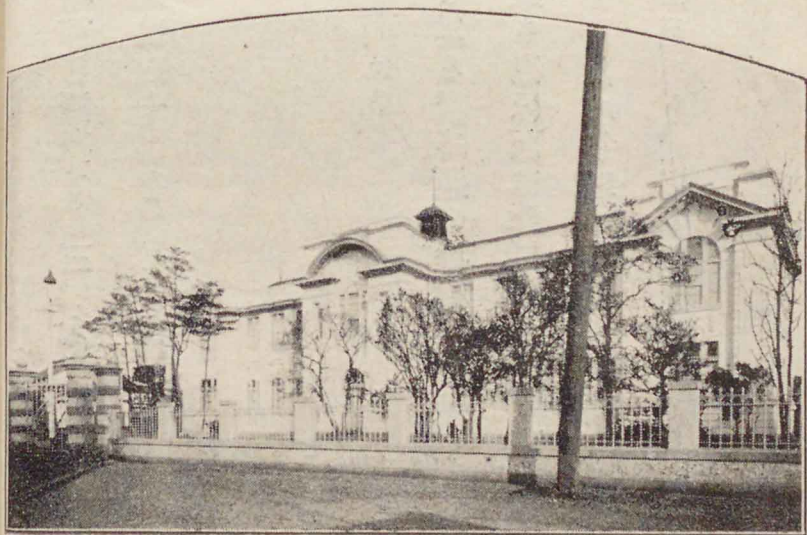
商業

繭絲類——一般商業——市場——銀行會社——金融

昔時諸豪馳突の衝も今や變じて百貨聚散の衢と爲る、時運の推移亦た驚くべき哉本市の商的領域は上州北部を主要地と爲すと雖も猶ほ西は群馬郡より、東南は多野、佐波郡に及び殊に蠶絲の關係は廣く海外より内地各地に亘り、玉繭取引は本邦第一と稱せらる、現在商業戸數二千三百十四戸あり、以下項を分ちて其狀況を略述すべし

繭 絲 類

本市の繭絲取引は舊幕時代より行はれしもの、如しと雖も、其大に發達したるは横濱開港以來にして、本市に最も功勞ある故下村善太郎氏等の外國商館に生絲を販賣したるに始まり、一時は頗る盛んなるものにして本市の發展は又之に因るもの尠なからざりしが、爾後幾度か消長ありしも近く伊勢崎、桐生の機業地を控へ更に野州の足利、武州秩父地方の織物生産地在るありて、本市は其原料として生



群馬縣物產陳列館

三四

絲、玉絲の供給を爲し來たりしを以て漸次其取引を増加せり、最近一ヶ年に於ける高は左の如し但し製絲家の原料として購入したる本繭と輸出生絲の數量は茲に算入せず

品 種	取引數量	全上價格
生 絲	三三、三九九 <small>貫</small>	一、五七六、八三六 <small>円</small>
細玉絲	四二、二八三	一、二〇〇、八五七
太玉絲	五五、四二三	九九五、三六九
本 繭	一〇八、三〇八	一、三七七、八五〇

品 種	取引數量	全上價格
玉 繭	三五、八〇四 <small>貫</small>	一、八七三、七〇三 <small>円</small>
生絲撚	二二、八〇六	一、二〇一、九七一
玉絲撚	五五、七〇一	一、五八六、一〇一
鬩斗絲	一一一、〇〇三	四八一、〇一〇
生皮苧		

一 般 商 業

一般商業は本市及本縣下各地に對する必需品の供給を専らとすと雖も、又麥類、

薪炭の如きは縣外に輸出す、今主なるもの、輸出入高を示せば左の如し

品 種	輸 入		輸 出	
	數 量	價 格	數 量	價 格
米	二四、八二三 _石	三四三、〇五六 _円	二、二二六 _石	一七、五五六 _円
麥	一八、九九七	一五四、六〇〇	一〇、五〇〇	九三、八四〇
豆	五、四二〇	六三、六八〇	三、六六〇	四二、五四〇
良 繭	二二〇、六四一 _貫	二、五〇二、三三〇	七、二二六	二八、八六四
玉 繭	三五、八〇〇	一、八七七、八〇〇	—	—
生 絲	四四、四一〇	二、一八三、七四〇	八〇、六八九	四、三二九、五六二
生皮等	—	—	—	—
鬩斗絲	一一〇、〇〇〇	四八〇、〇〇〇	一二九、四八九	五五二、八六六

品 種	輸 入		輸 出	
	數 量	價 格	數 量	價 格
燃 絲	—	—	七八、五〇〇	二、三五五、〇〇〇
玉 絲	—	—	九六、七〇〇	二、二二六、二〇〇
織物類	—	—	—	—
酒醬油	—	—	—	—
砂 糖	—	—	—	—
肥 料	二、一六三、八三三	五六三、〇〇八	—	—
材 木	三三、一一〇 _尺	一一〇、〇〇〇	一七、六〇〇 _尺	八〇、〇〇〇
石 炭	三二、五八〇 _噸	一五五、〇〇〇	四、二〇〇 _噸	二一、〇〇〇
薪 炭	七五五、〇〇〇 _貫	五三、二七〇	三二五、三二一 _貫	四七、五〇三

市 場

本市定例の市日は毎月四、九の日とす、此日は各種の取引盛んに行はる、市場と稱するもの左の三ヶ所とす

市場名	位置	設立年	賣買品目
堀川町青物市場	堀川町	明治三十一年	蔬菜果物
石川町青物市場	石川町	全三十七年	全
前橋魚市場	横山町	全四十年	魚類

銀行會社

普通銀行の本店三、支店二及特種銀行として農工、貯蓄各一ありて本市の金融を支配す、又近年据置貯金を目的とする銀行代理店の設置せらるゝもの多く、其數十を超ゆべし、會社は株式五、合資二十一、合名十七にして其業種に區別すると

きは電燈一、倉庫一、製絲十三、繭絲賣買五、其他の物品販賣五、麻真田製作二其他の製造六、機械一、貸付四、印刷、船橋、料理店、劇場、用達各一なり

金融

本市に於ける金融は繭絲類取引の振不振に依り繁閑一ならざれども、概ね下半期を以て最も繁忙の時期として金利從て昂騰するを常とす、大正三年中に於ける金利歩合左の如し

貸金年利

高/低	抵當	有價證券	土地	建物	其他	無抵當
最高	一割	六厘	一割一分三厘	一割一分三厘	一割一分三厘	一割八厘
最低	八分四厘八毛	八分五厘五毛	八分五厘五毛	八分八厘二毛	九分	

貸付金日歩 大正三年上半期に於ては抵當を有するもの最高二錢八厘八毛、最低二錢三厘八毛にして下半期は最高三錢一厘、最低二錢四厘六毛とし、無抵當は平均一厘方高し

預金利子 定期預金利子の最高は年利七分、最低六分にして當座は日歩最高一錢七厘八毛、最低七厘、貯蓄預金は最高五分五厘二毛、最低五分一厘一毛ありて預金の現在高は貯蓄預金共四百餘萬圓を算す

工業

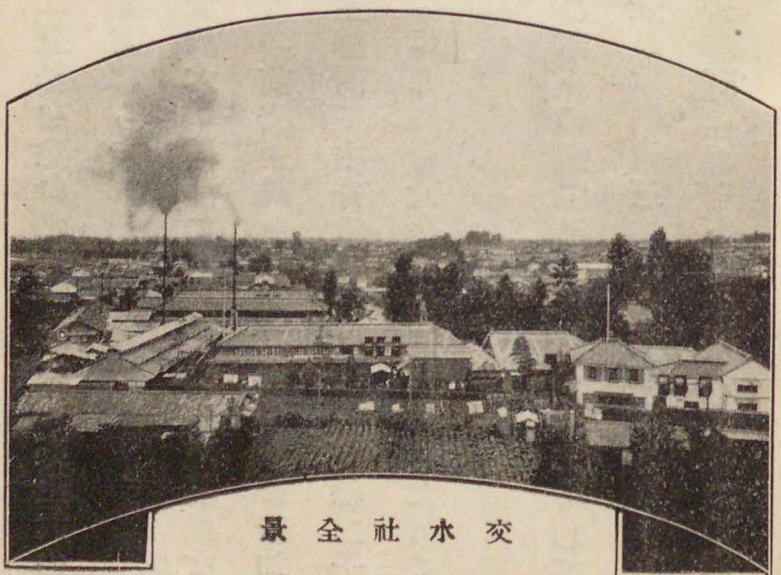
製絲——擦絲——織物——其他の工業

本市の工業は製絲を第一とし、擦絲、機織等之に亞ぎ、其他は各種の工業に屬す

而して本市は將來益々工業の發展を促さんが爲め之が保護政策を執り、或は家屋税を減免し、或は奨勵金を交付し、或は講習、講話會等を開催して事業の改良を圖り爲めに一層の振興を見たり以下其狀況を述べし

製絲

本邦の輸出品中其最たるものを生絲とし本縣亦蠶絲業の先進地にして、本市の主たる産業を製絲とす、而して製絲に生絲と玉絲との別あり、生絲は輸出を専らとし、玉絲

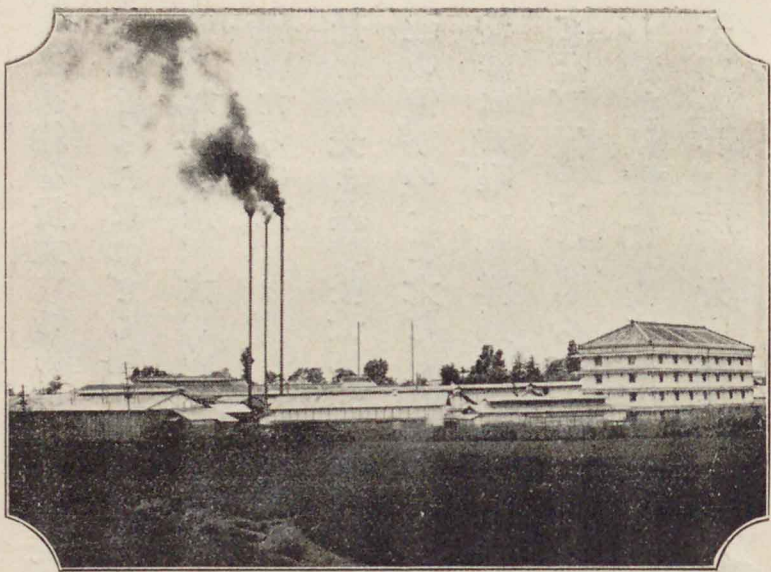


交水社全景

は内地向を主とす、實に過去に於ける前橋市は製絲を生命とし、將來も亦至大の關係を爲す、故に今其沿革に就き略述する又徒爾ならず

製絲の事は多少舊記の存するものありと雖も安政六年横濱に於て前橋人道具屋文藏(故下村善太郎氏の手代なりしと云ふ)なるもの前橋生絲を佛國二十番館に賣却せしを外人取引の濫觴となす、尋て全年八月生絲問屋中井重兵衛は前橋提絲二十八個を之又全館に賣込たるが其價格は兩に百匁にして合計金三千圓に達したりと云ふ

一度生絲輸出の途開け絲價漸次上騰するに従ひ不正の輩現出す、前橋藩士にして後に富岡製絲所長となりし速見堅曹大に之を憂ひ、明治三年瑞西人シ、ミラーなるものを聘し細ヶ澤町に製絲所を設け、後ち岩神町に地をトし木製六人繰りの器



丸 交 組 製 絲 所

械を据付け改良製絲の業を創めたり、是實に本邦に於ける製絲改良の先驅とす、時の政府は之を保護し、後ち本縣の勸業課に於て直接經營し、名を前橋製絲所と改め洋式と日本式との製絲比較研究を公にし大に器械製法の利益を唱導したり

明治十年前橋藩士深澤雄象、松本源五郎、久野小作、勾坂邊等は速見堅曹を加へ主力となり一製絲社を設け一番組と稱す、桐華組是れなり、尋て高須泉平、野口七之平等

の二番組を設立するあり現今の交水社即ち之なり、續いて三番組より六番組まで組織せられたれども明治十一年には合して桐華組、敷島組の二社となり之に勢多の巨瀬、黒川、山田の三組を合して製絲原社と名づけたり、蓋し座繰製絲改良の根幹たるの意なり

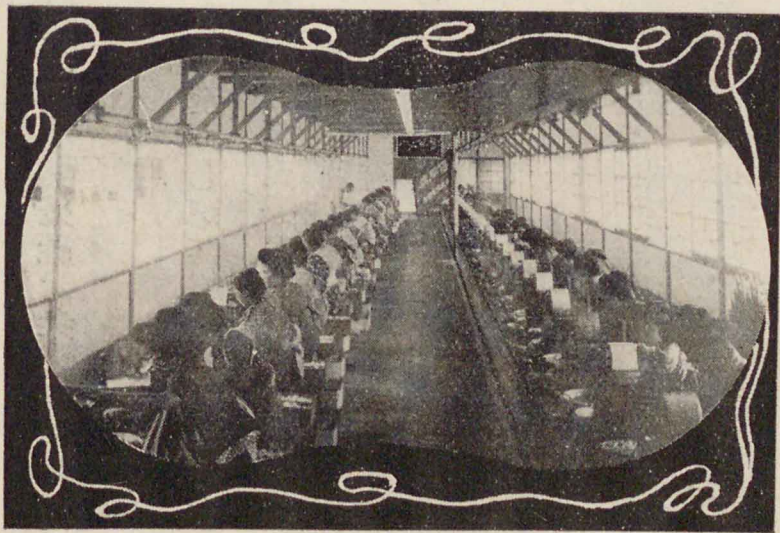
是より先き星野長太郎の苦心にて、米國に直輸出の途を拓き、折返しを捻り造と改め價格の上に大なる利益を見又十一年夏 明治天皇陛下東北御巡幸に際しては當時本市唯一の洋風建物たる精絲原社に鳳輦を枉げさせ給ひ社長深澤雄象を召して金百圓を下賜せられ大に面目を施したり、之等の事は大に市民の企業心を誘致し精絲原社に加盟するもの又は新に社を設くるもの等多きに及べり、即ち下村善太郎の昇立社、太田勝造の桃井精絲會社、長畑某の明練社、黒崎長平等の日盛社

江原芳平の天原社、其他高聞社、精撰社、水野製絲場、共榮社、衆潤社、潤廣社、清益社等是れなり

斯く製絲の業は盛んとなり會社の數一百を算するに至りしが其組織、製法等を異にし品位を一定する能はず且つ資本金、荷爲替金の機關充分ならざるを以て頗る不便を感せしかば星野長太郎、松本源五郎、宮崎有敬の諸氏發起して明治十三年本市に上毛繭絲改良會を創立し各組の頭取は毎月一回一堂に會して蠶絲改良の事を研究す、其年之を廢し繭絲改良會社を起し本社を本町に置き各地に出張所を設け金融及製絲改良の事に従ひ明治二十五年まで繼續せり

其後製絲會社の組織せられたるものは深澤組、豊城組、末廣組、比刀根組、新勢社、市村社、岩崎製絲所、大統社、精撰社等を重なるものとす、明治十六年には

前橋屑絲改良組合を設立す、是れ其筋の諭告に基き熨斗絲其他屑物の粗製濫造を防かんが爲にして、全十七年には蠶絲商組合を設け其組合事業として前橋外九ヶ所に蠶絲改所を設け以て品質統一に盡瘁する處ありたり去れども當時の製絲法は多くは座繰製絲にして市中殆んど毎戸の如く座繰を置き製絲し之を前記の會社又は組合と稱する處に於て揚返し捻り造りと爲し輸出するものなりしかば品質の不統一等は自然免れ難く又絲價の高低に



玉製絲狀況(丸大組第四工場)

由り其隆替甚しく、時には全市座繰の音喧しきも又時には閑散聲を潜むる事なしとせず、斯く其組織が薄弱なるを以て明治二十年以來の恐慌に漸次衰微を來たし會社、組合等の破産、解散等續出し一時は製絲業を以て全く冒險的事業を爲すに至れり、其後交水社の組織經營方法の變更及其他製絲家の改良發奮は更に勢を挽回するを得て以て今日の形勢を見るに至れり

交水社は明治十一年創立し全二十二年には六十釜の器械製絲工場を建て以て社員に其範を示し更に四十二年産業組合に改め大に内容の改善充實に努めたる爲め直ちに發展の緒に就き成績頗る顯著なるものあり

本市製絲の經營方法は交水社に於ては既に二十二年器械工場を建設したるも一般は尙釜掛を便利としたりしが明治四十年頃より各地を視察し到底工場組織に非

共同組向町製絲所	向町	三六〇	共盛組製絲所	向町	六五
明治館前橋製絲所	萩小路	二一八	近藤製絲所	才川町	六四
龍興社	才川町	二二二	石原製絲所	細ヶ澤町	六三
新英館	一毛町	一八三	神山製絲所	萱町	六〇
温井製絲所	岩神町	一七五	大谷製絲所	小柳町	五四
須田製絲所	向町	一七〇	町田製絲所	向町	五二
丸二製絲所	國領町	一三〇	石川製絲所	全	五二
關本製絲所	才川町	一一二	近藤製絲所	全	四九
田村製絲所	諏訪町	一〇二	竹内製絲所	神明町	四七
岡部製絲所	向町	九七	山本製絲所	中川町	四七

重なる玉絲工場

遠山製絲所	神明町	九六	青木製絲所	紺屋町	四四
山岸製絲所	向町	七八	戸田製絲所	向町	四〇
新井製絲所	全	七七	須田製絲所	萱町	三九
田中製絲所	全	七〇	今井製絲所	才川町	二九
染谷製絲所	才川町	六九	小林製絲所	全	一三
新勢館	全	六七			

工場名	所在地	工女數	工場名	所在地	工女數
九大組製絲所	國領町	三七八	丸三組製絲所	小柳町	八四
味岡製絲所	細ヶ澤町	八四	今井製絲所	全	七六

向原龜田屋玉絲工場	一毛町	六九	天田製絲所	小柳町	三二
芳玉館	芳町	六二	高見澤製絲所	岩神町	三二
北澤製絲所	南曲輪町	六一	杉田玉絲製絲所	向町	三〇
龜田屋製絲所	田町	六〇	高橋製絲所	片貝町	三〇
須永玉絲製絲合名會社	一毛町	五七	阿部製絲所	清王寺町	二九
中田製絲所	小柳町	五六	萩原製絲所	萱町	二七
金子玉絲製絲所	一毛町	五〇	藤卷玉絲工場	片貝町	二四
奈良製絲所	小柳町	四三	佐々木玉絲工場	岩神町	二三
井出製絲所	國領町	四二	横瀬合資會社	一毛町	二二
船津製絲所	全	四〇	青木製絲所	諏訪町	二一

千弘館	萱町	三九	三ッ輪館	一毛町	二〇
遠山製絲所	小柳町	三五	木村製絲所	萱町	二〇
和田玉絲製造場	國領町	三四	群馬館石井工場	全	二〇
守矢製絲所	小柳町	三三	高見澤製絲所	小柳町	二〇

燃絲

本市の燃絲も其發達古く特に市中を縦横に通づる水利は燃絲の動力として尤も好適に且つ兩野及埼玉の機業地に近きを以て織物の盛んなると共に益々燃絲の需用を増加し、前記方面の機業地と全く唇齒輔車の關係にあり、今本市燃絲の販路を見るに桐生は大体生絲燃にして(タフタ)織の緯絲となり又幾分は甲斐絹織の緯となる、足利は玉絲燃を主とし節絲織及觀光縮緬等に使用せらる、秩父、飯能、



竹内燃絲工場ノ内部分

一 青梅向は太織縞用の玉絲撚とし、伊勢崎には生絲撚、玉絲撚を供給し伊勢崎縞に用らる、而して其近況は左の如し

撚絲業者

製造者	錘數	職工
器械撚	二 ^人	六、〇〇〇 ^本
八挺撚	一一九	七、九〇〇
		八六三

撚絲産額

生絲撚	一三、八六九 ^貫	七二四、一二二 ^円
玉絲撚	五三、二五三	一、四一六、五六四

重なる工場 左に掲ぐるものの内竹内、杉

本の撚絲工場は立錘器械を以て撚絲を専門とし其他には或は玉絲製造を兼ねるものあり、又曩に掲げたる玉絲製造工場中には自家に撚絲器を備へ直に撚絲となして市場に出すもの少なからず、去れば本市の撚絲業者は玉絲業者と截然區別すること能はざるものとす

工場名	所在地	職工	工場名	所在地	職工
竹内燃絲工場	六 供	七三 ^人	群馬館玉絲製絲所	萱 町	二二三 ^人
杉本燃絲工場	神明町	一九	坂上燃絲工場	一毛町	二一
淀屋製絲所	新 町	四一	小泉製絲所	才川町	一五
日本館製絲所	芳 町	三四	原 製 絲 所	小柳町	一四
第二日本館製絲所	全	二九	狩野燃絲工場	岩神町	一〇

織物

機業地として本市亦多少の歴史を有す、近
 く十數年前には、輸出羽二重及支那向縞子
 等を製造したりしが、其後内地向織物發達
 し特に、明治四十三年勝山益太郎氏が力織
 機を据付けて、大規模なる工場組織を經營
 せしより頓に形勢一變したり、而して本市
 の生産品は多くは伊勢崎織にして、伊勢崎
 市場にて取引せらる、其生産狀況は左の如
 し



勝山織物工場ノ一部

機業者と其産額

機業戸數	力織機	手織機	職工	生産品	數量	價格
工場	五戸	九八台	八七台	絹織物	五一、一六〇反	三〇三、二五六円
家内工業	三	一	一六	絹綿交織	五、四二〇	一四、六三四
賃織業	六五	一	八三	合計	五六、五八〇	三一七、八九〇

重なる工場

工場名	所在地	職工	工場名	所在地	職工
勝山織物工場	片貝町	九三 ^人	中島機工場	田中町	二〇 ^人
上毛機織合資會社	南曲輪町	二三	小暮織物工場	全	二〇
三澤織物工場	神明町	一七	平林織物工場	中川町	一五
其他の工業					

麻真田 明治四十四年頃より俄然勃興し一時非常なる盛況を告げ其後頓挫したれども尙左記各工場は之が製作に従事し一ヶ年の産額合計四十五萬二千七百反、價額金拾七萬九千五百拾圓を産し横濱を経て全部輸出す

工場名	所在地	職工	工場名	所在地	職工
前橋輸出品製作所	北曲輪町	一一〇人	久留万製紐工場	前代田	五二
島野製紐工場	田中町	七四	群馬製紐所	北曲輪町	四二

麵類 従來は手打温飩と稱したるも近來其製法を改良し多く器械を用ひて多量に之を生産し産業組合法に依りて共同して製品の改良、販路の擴張に努めたる爲現在組合員數二十名、生産額拾壹萬餘圓を算し縣内及信越方面に販賣せらる
眞綿 は本市特産品として古く製造せらるゝも未だ工場經營に到らず家内工業

にして專業者十九戸、其産額五萬貳千餘圓を算し東京、栃木方面に輸出す

木工品 箆筒類火鉢等を重なるものとす、前年來本市に於ては或は當業者をして他地方を視察せしめ或は講習會等を開いて之が改良を促したり産額八萬餘圓

竹細工 本縣は竹の産地にして其質亦良好なり去れば大に之が發達を奨勵し鹽川徳平氏又熱心に製法を研究し今や赤城塗は本市の特産品として推賞せられ、花籠も一種の雅致を有し輸出向に適す、産額壹萬餘圓あり

其他菓子類の參拾八萬九千圓、蠶絲器械器具の參萬五千圓、酒類の參萬圓、醬油の五萬六千圓、味噌の壹萬四千圓、下駄草履類の參萬參千圓、足袋の壹萬參千圓を主なるものとす

農 業

米—麥—其他ノ農作物—養蠶—家畜と家禽—水産

商工業内に農業の事を記載するは甚だ當たらざるが如しと雖も本市の状勢を詳にせんとせば又其一産業たる農業を閑却すべきものにあらざるべし
本市の耕作地は田三百七十七町歩、畑二百七十町歩、合計約六百町歩あり、去れば明治三十九年前橋市農會を設立し普通農事の改良、發達は勿論、園藝の進歩、改善を指導、獎勵して努めて都市的農業の經營法を行はしむ、農會の事務所は市役所内に在り會長は市長にして一ヶ年の經費は六百圓餘なり

米

大正三年に於ける作付反別陸米を合せて三百二十一町歩、其收穫高七千八百二石ありて一反歩平均二石四斗強なり、農會が屢々立毛品評會等を開催せし爲大に改良せられたるを見る

麥

田は二毛作にして多くは麥を作るとを得、大正三年の作付反別は田畑三百六十三町歩、其收穫は八千八百八石を算し其内小麥は千二百石あり

其他の農作物

大豆三百十石、小豆百石等を算ふれども他は極めて少量なり、蔬菜、果實は極力農會の獎勵せる爲め大なる發達を見、果樹は桃を最とし梨、柿等あり、蔬菜は葉菜、根菜等の栽培多く市中に供給せらるゝ額は尠なからず

養蠶

桑園反別百九十五町歩ありて仕立法は根刈又は刈桑の二種とす、養蠶戸數三百六十七戸、掃立枚數春秋蠶を合せて三千枚、收繭量千八百石あり

家畜と家禽

市内の搾乳所は赤城牧場(北曲輪町)中村(一毛町)木村(小柳町)久保村(芳町)中村(岩神町)其他一ヶ所搾乳所ありて一ヶ年の搾乳高九百三十三石、價格金二萬六千五百餘圓あり、而して大正三年より一、二を除ける重なるものは産業組合を組織し共同販賣を行ひ以て品質の統一、改善及副産物の製作を爲し其成績良好なり
大正三年末に於ける家畜は牛二百二頭、馬百九十頭、羊豚五十四頭にして其年に於ける屠殺數は牛二百七十三頭、馬百二十頭、豚五百二十九頭にして此價格三萬

四千七百九十一圓餘となり其肉は市の内外に販賣せらる
家禽の飼育戸數は二百七十一戸にして鶏、鶯、鴨等を飼養し其數千八百餘羽、一ヶ年の産卵二千二百餘圓を採收すと云ふ

水産

本市の水産は利根川より漁獲する鮭、鱒、鮎の外養殖するものに鯉、鰻あり其産額、鯉は三千八百貫、價格三千百五十九圓、鰻は百二十七貫、二百三十四圓に過ぎず、而して利根川の鮎は其味美にして毎年宮中の御料に供せられ其名頗る高し

交通運輸及通信

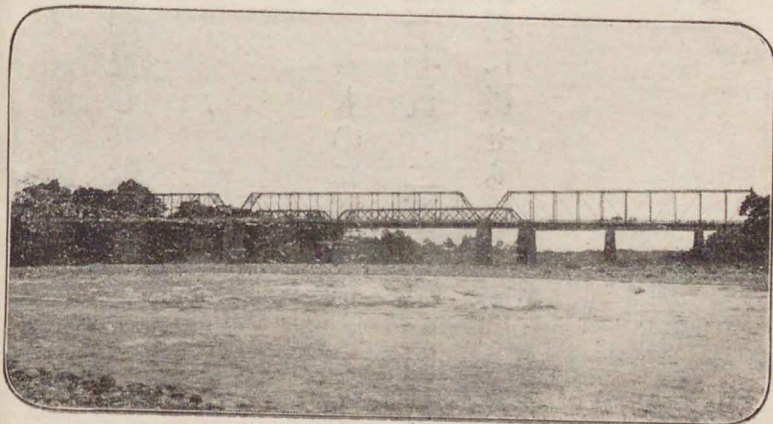
道路——鐵道——車——宿泊——郵便——電信——電話

利根川及其支流は共に水急にして舟楫に便ならず天
與の水運極めて乏し茲を以て鐵道は實に本市重要な
交通機關にして旅客、貨物の出入多くは之に依る道
路は四方に延び悉く平坦にして車馬を行るに便なり

道 路

國道 縣廳を起点として東に向ひ本町より市の東
端天川町を経て伊勢崎、境を過ぎ武州に入り中仙道
に合するものは昔日の江戸街道なり

縣道 曲輪町より利根橋を渡りて西し、高崎より
下仁田を経て南信に到るものを追分街道とし、北澁

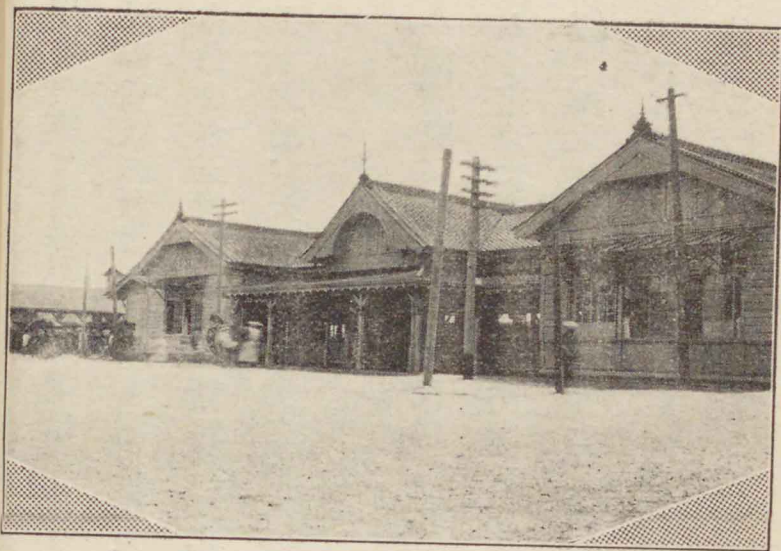


利根川の雙橋

川町を経て吾妻郡より北信に達するものを長野街道とし、此の道を澁川町の北鯉
澤にて岐れ利根郡に入り清水越及三國越の二道となるものを越後街道とし、南は
六供より玉村町を経て新町にて中仙道に合するものを新町街道とし、東は諏訪町
より大胡、大間々町を経て栃木縣に入るものを足利街道とす

鐵 道

前橋驛 市の南方前代田に在り、一條の鐵路西は高崎を経て一は中仙道線に由
りて東京に達し一は信越線に由りて長野、北陸方面に通じ、東は伊勢崎、桐生を
經て栃木縣に至り、又別に東武線は伊勢崎より分岐して館林、東京に達すべし、
去れば旅客の往來、貨物の集散頗る多く、特に夏期は伊香保、草津等の浴客の來
往頗る頻繁なり、今最近に於ける旅客、貨物の發着は次の如し



前橋停車場

六六

旅客	乗客	降客	發	着
	三九、六七	三五、三五	一三、七五	二四、〇〇八

發送貨物の内數量の多きものは麥、繭、生絲類、木材、薪炭等にして、到着するものは米、繭、肥料、石炭及其他雜貨類とす

電氣鐵道 前橋、澁川間を電氣軌道に由りて電車を運轉し更に伊香保町に直通す、之が經營は利根發電株式會社にして電車の發着所は岩神町に在り、軌道は前橋停車場前より澁川町に達し直ちに伊香保軌道に接

續し又澁川町より利根軌道に連絡し鐵道馬車に依りて沼田町に達すべし、去れば本縣北部に對する行通機關として尤も重要なものにして、乗客三十一萬餘人あり、又貨物は利根、吾妻方面よりは繭、木材、薪炭等を出し、本市方面よりは米肥料其他の日用品等を送る

車

馬車 乗合馬車は本市高崎間、本市玉村間、本市伊勢崎間、本市大胡間等の四方に出し、行通の便に資す荷馬車は七十五輛ありて貨物の運送に従事す

人車 荷車は二千二百六十一輛、人力車は二百七輛ありて車夫に厭ふべき惡習なく、自動自轉車一輛、自轉車千二百十輛は専ら實用向に使用せらる

宿 泊

六七

旅館は一等七軒、二等九軒、三等二十二軒合計三十八軒、外に下宿十二軒あり、而して其宿泊料左の如くにして何れも懇切丁寧を主とせり

	優等	一等	二等	三等
一等旅館宿泊料	三、〇〇	二、〇〇	一、五〇	一、〇〇……七〇
二等旅館宿泊料	—	一、五〇	一、〇〇	七〇……五〇
三等旅館宿泊料	—	一、〇〇	八〇	六五……四〇
下宿料(一ヶ月)	—	二〇、〇〇	一七、〇〇	一五、〇〇

宿泊人は大正二年に於て九萬四千五百餘人ありて平年に劣れりこれ經濟界不況の結果か、而して本縣人六分、他府縣人四分の割合なり

郵便

前橋郵便局 は曲輪町に在りて二等郵便局とし、別に左の三等郵便局ありて通

信上に此の支障なし、其の外切手賣捌所四十七、郵便函五十ありて利便更に多し

横山町郵便局 本町郵便局 細ヶ澤郵便局 新町郵便局

郵便物 は通常郵便引受二百五十七萬通、配達二百四十九萬通、小包引受九千四百、配達二萬八千等にして年々増加しつゝあり

電信

電信 は其發信二萬八千八百餘信、着信四萬二千一百餘信別に外國電報あり

電話

電話 は加入者五百三十八にして通話數二百二十五萬八千通に達す



市 政

前橋市役所 は市の中央曲輪町に在り市長、助役、収入役各一名、書記技手雇等三十名、掃除監督長、掃除監督各一名、同巡視五名ありて、之を三課一部に分ち各課に課長ありて市の行政事務を處理す

市會 は議員定數三十名にして大正三年中に於ける市會の招集四回、其開會日數十二日、之が議件は八十二件なり

市參事會 は市長、助役の外名譽職參事會員六名にして大正三年中に二十四日開會し八十五の議件を討議したり

委員 常設委員には學務委員八人、衛生委員六人、土木委員八人、勸業委員十人

ありて市の行政事務を助け、臨時委員には耕地整理調査會委員、傳染病豫防委員及家屋稅地位等級調査委員等あり

市費 大正四年度に於ける歳入、歳出共各十二萬二百六圓にして、歳入に於ては市稅九萬六千三百五十圓を最とし其他使用料及手数料、交付金等を主たるものとし、歳出に於ては教育費の三萬五千圓を最とし、役所費の一萬九千圓等之に亞ぎ、勸業費は經常、臨時合計千六百圓を計上し、機業講習、耕地整理調査、各地産業調査、雇人表彰、物産改良獎勵、展覽會、農會補助等の費用に充つ

市稅 は家屋稅の四萬六千圓を最とし、雜種稅附加稅一萬六千圓、國稅營業稅附加稅一萬一千圓之に亞ぎ所得稅、地租、縣稅營業稅等の附加稅は一萬圓以内なり、納稅組合獎勵規程等を設け之を獎勵し一ヶ年の欠損合計二百圓を出です

遊 覽

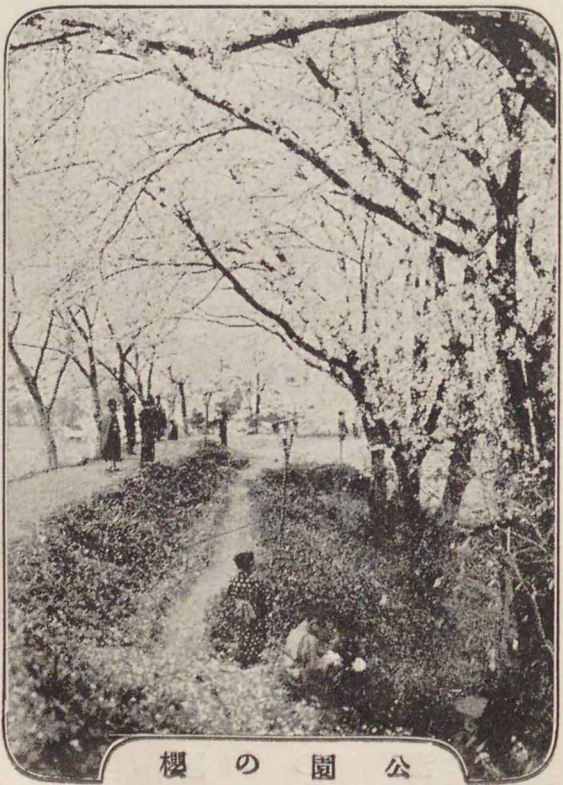
公園——臨江閣——前橋城——下村翁の銅像——岩神の飛石——敷島河原——風呂川
双子山——天野の藤——梅の井戸——著名の神社寺院——近郊の名所

本市は關東平原の盡頭に在り滔々たる利根の激流其西を洗ひ、近くは雄然たる赤城、巍然たる榛名、截然たる妙義市を包んで鼎立の姿を成し、遠くは淺間の噴烟を望み展望畫くが如く山河の眺め凡ならずして關東の一勝區たるを失はず

前 橋 公 園

市の西端に在りて利根川に臨み面積一萬坪に足らざれども風光の美多く其匹儔を見ず、園の中央に東照宮祠あり文久年間松平氏移封の際川越より遷し祭る所、殿

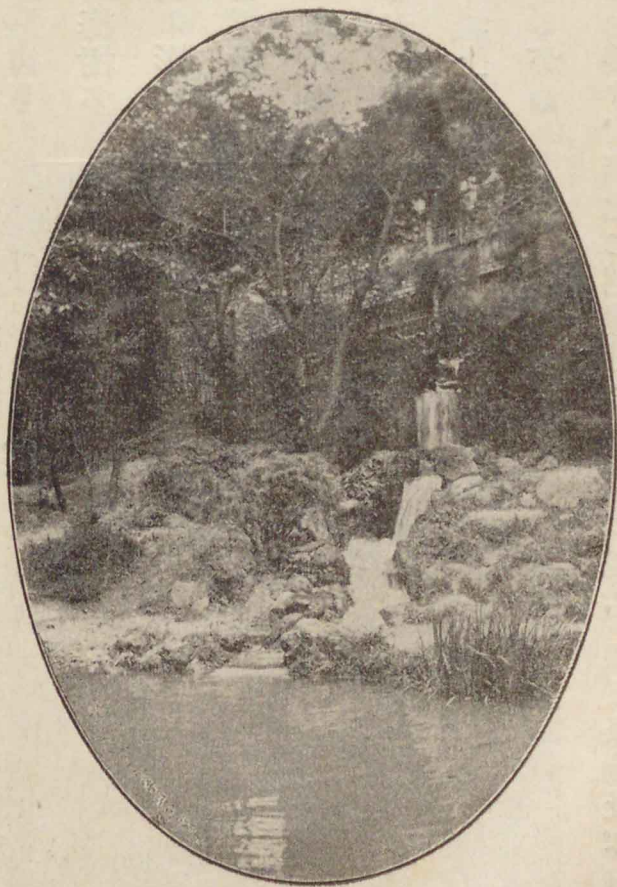
宇輪奐の美なしと雖も壯嚴自ら敬虔の念を起さしむ祠畔梅樹多く、風呂川に傍ふて横斜の影を清泉の水に醗せる處暗香浮動して黄昏の月に薰する邊、文人墨客の逍遙に適せり、若し夫れ春風駘蕩の候に入らむか、堤上一帯の櫻花は白雲の搖曳するが如



公園の櫻

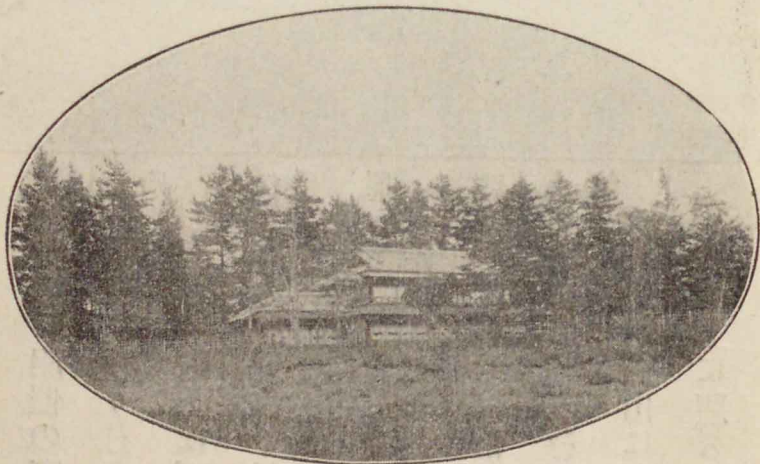
く、市内外の士女日に踵を接す、祠北に招魂社あり西南の役、秩父暴動及び日清戦役等に戦死せる本市出身者の靈を祀れるものなり又之に隣りて彰忠碑あり先き

に記せる尙武會の建造せるものにして三丈六尺の銅碑、表に「彰忠碑」の三大文字を
 顯し他の三面に二十七
 八年戰役以降の國難に
 殉したる縣下將卒の英
 名を刻し、尖頭に金鵝
 を置く其廣く翼を張り
 たるの狀は碑面の勇士
 が譽を誇るものゝ如し
 堤の北に窪地あり池と
 爲し灌くに風呂川の水



公園の瀧

を以てす、水懸崖に掛
 りて瀑を成し、櫻、松
 楓樹參差蔭を宿し風色
 楚々亦た愛賞に値ひす
 更に園内に廣場ありて
 諸競技運動の場と爲す
 臨江閣
 公園の最北に在り本館
 は明治十八年時の有志
 下村善太郎外數氏の主



臨江閣

唱に依り建る所にして建
 坪三十餘坪、別に瀟洒た
 る茶室あり明治四十一年
 市有に歸す、此館は明
 治天皇陛下並に今上天
 皇陛下を初め奉り、各宮
 殿下の行在所又は御旅館
 に充てさせられたる由緒
 ある貴重建物なり、別館
 は明治四十三年府縣聯合



臨 江 閣 別 館

共進會開催の際貴賓館として建てられ其後市有に移りしものにして建坪百八十餘坪を有し、階上は百八十畳の大廣間となり池に臨み葺瓦高く聳へ頗る宏壯なり、平時本館と共に公會の用に充つ
臨江閣は位置景勝の地を占め座して眸を窓外に移せば信、上の諸山悉く指呼するを得伏して脚下を望めば利根の河流奔注し、殊に夕陽西山に春かんとするとき、金波、銀波の水上に躍るの狀詩趣禁する能はざるもの

あり、更に雪の朝敷島河原を下瞰するは遠山の雄景と相俟つて頗る良し

前 橋 城

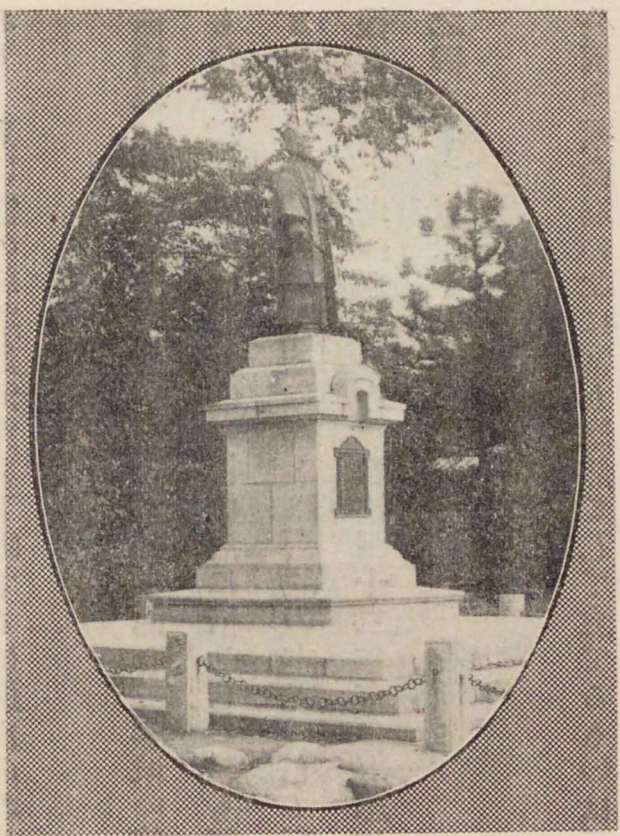
前橋城は沿革に於て既に之を悉せり而して本城の築造は實に文久三年にして幾何もなく維新となりしかば規模は舊に倍せしと雖も諸設備未だ完からざりしものあるべし、今群馬縣廳となれるは舊城の本丸にして亭々たる松樹、綠益々深く轉た懷古の情に堪へざらしむ、明治四十二年市の有志相謀て此に石を勒し、前橋城趾之碑と名づけ永く記念とす

下 村 翁 銅 像

公園内運動場の北に當り悠然として立てるものは元前橋市長にして本市の巨商たりし下村善太郎氏の銅像となす、氏は當市本町に生る始め商業に従事せしも失敗

し、武州八王寺に走り生絲賣買の業に従ひ刻苦、精勵具さに辛酸を嘗め次第に資

七八



下村翁の銅像

金を得たり、偶た横濱開港に際し生絲を輸出し莫大の利益を收め、本市に歸來して益々其業を盛んにし遂に富巨萬を累ぬるに至る、氏は性磊落にして小事を意とせざるも、頗る義心に富み人の困厄を救へると枚擧に遑あら

ず、慶應二年の凶作に外米四萬八千斤を買ひ來たり夜に乗じて細民の戸毎に米一俵宛を投入したるが如きは凡人の良くする所にあらず、又公共事業に至りては最も力を注ぎ道路の開通、學校の建築、群馬縣廳の移轉、鐵道の開通、製絲業の改良、銀行の設立等より本市が明治初年の建設時期に於ける大小の事業は必ず卒先盡力し、其二十五年市制施行に際しても多大の功あり爲めに氏の固辭するにも不拘第一次の市長に擧げられ在職僅かに一年にして歿せり、全市深く之を悲み市葬を以て盛大なる式を行へり、又氏は曩に賞勳局より綠綬褒章を賜はりしが死後亦縣廳移轉其他公共事業に功ありとし金杯を追賞せられたり、以て如何に氏が本市の發展に大なる貢献を爲したるかを證するに足るべし、去る四十三年有志氏の爲めに銅像を建て以て氏の芳名を後世に傳へんとす洵に故ありと云ふべし

七九

岩神の飛石

市の西北岩神町の廣瀬河畔に巨岩あり傳へ云ふ

往時利根川の流域今の廣瀬川にあり偶々洪

水に際し上流南橋村の片石山かたこくの一部崩

壊して此處に流下したる即ち是れなり

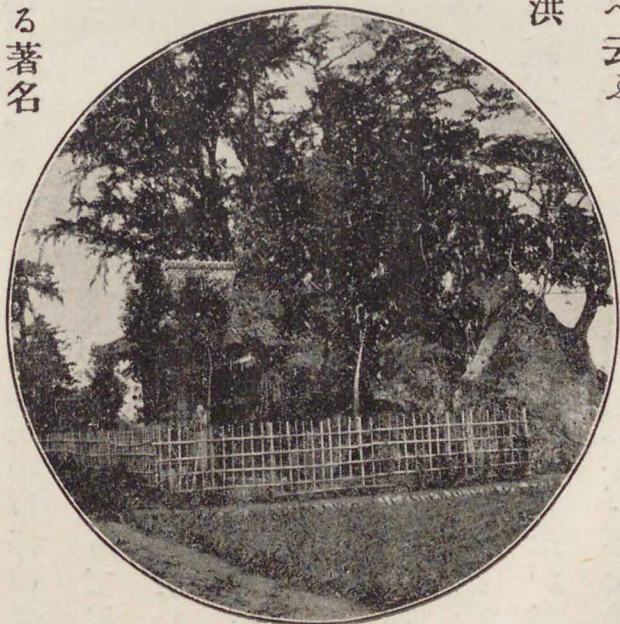
と其畔に小祠あり稻荷を祀る、風光自

ら備はりて野趣の掬すべきものあり近

郊の散策に好適なり

敷島河原

上州前橋敷島河原は俗謠にまで歌はれたる著名



石飛の神岩

の地にして今の岩神町附近廣瀬川流域一帯を指したる稱呼なりしなり、物換り星
移り今や桑田、麥隴と化し水草風に戦ぐの跡復た尋ぬるに由なし

風呂川

廣瀬川の分水にして舊城内を流れて後市中に分布す、往昔上杉謙信湯沐の用にと
て掘鑿したるを以て此名ありと、其岩神地内より柳原の堤上は土質砂礫なるを以
て粘土にて厚さ三尺の樋と爲し水を通じたるものにして今に其土木の妙を稱す

双子山

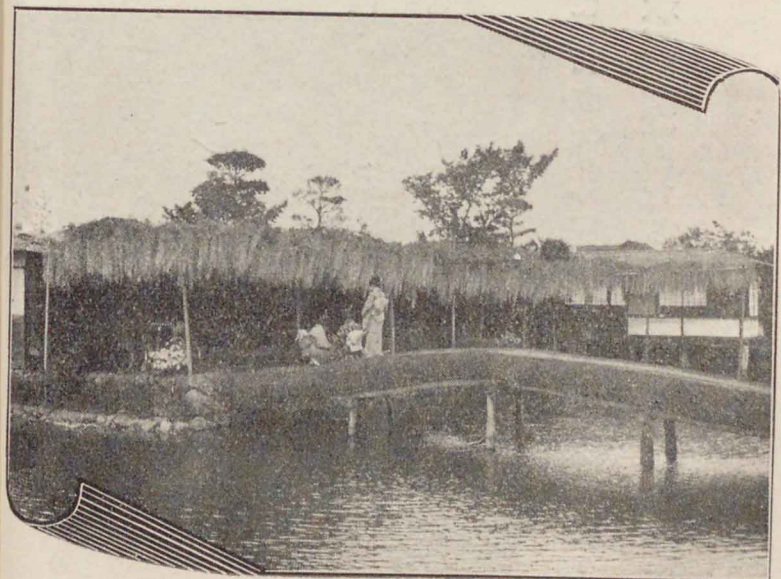
市の東南天川町にあり稍々堆き瓢形の古墳にして其狀小兒の双び立てるが如し故
に此名あり、上に松樹あり眺望に宜し殊に秋天氣澄みたるとき月の名所たり

天野の藤

前橋停車場を距る東北二丁許、園内閑雅にして池廣く、對岸山あり花并を植ふ、園内の藤花は其名最も著はれ初夏の候萬條の紫房水に映し、山上の躑躅花と共に美觀云ふ可からず

梅の井戸

榎町に在り足利氏の末葉上杉管領のときなりと云ふ、其側に在りし八房の梅の香り水に移りて馥郁たる芳香を放ちたるを以て時人之を妙とす、偶々此事管領の知



天野の藤

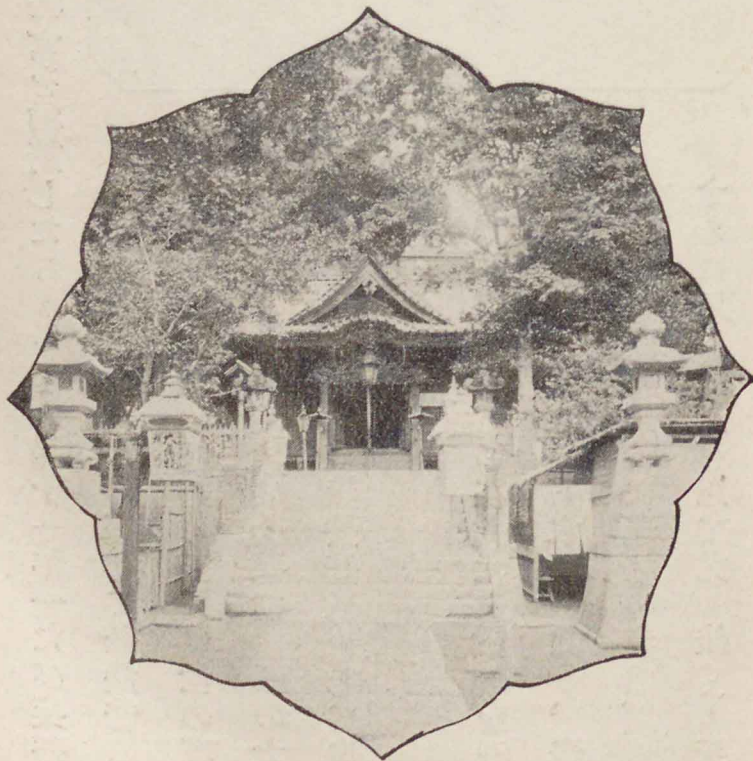
る處となり、是より殿中の産湯に供せらる僧行妙の歌あり石に刻して井側に立つ

袖こまに香をさめて汲め名に高き

くるまの里の梅の井の水

著名なる神社寺院

八幡宮 本市の總鎮守にして縣社なり、連雀町に在りて譽田別命を主神とし比咩命、息長足媛を相殿とす貞觀年中



八幡宮

上野の豪族長野氏の祖が男山八幡宮を勸請したるもの、永祿十一年一たび兵燹に

罹りたれど直ちに再築して壯嚴昔日を

凌ぎ特に彫刻の精巧に至ては世の嘆稱

する所なり、境内に公孫樹、櫻の大樹

あり老幹天矯、枝葉鬱蒼森として自ら

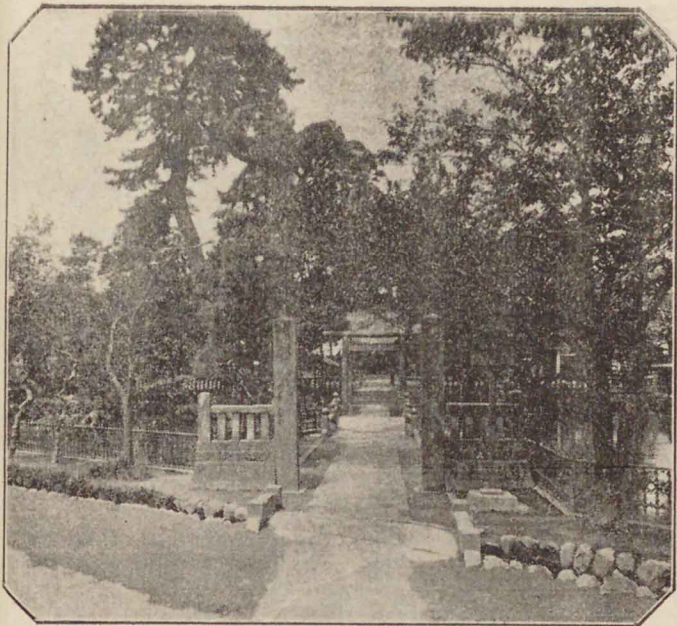
神威の崇嚴を覺ゆ

神明宮 堅町に在り大日靈命を祀る

境内廣くして池あり水藍の如く、青松

紫藤相掩映す、特に老松の姿態頗る稱

するに足り雪景を以て尤も佳す、近年



境内に猿を飼ふ爲めに一層遊樂の人を増せり

小石神社 横山町に鎮座す、毎年六月神輿

の渡御あり、夏は夜店の開設ありて納涼の人

多く、歳末は酉の市にて甚だ賑ふ爲に名あり

龍海院 人若し幽邃靜寂の境に入りて塵腸

を洗はむと欲せば請ふ先づ去て龍海院に遊

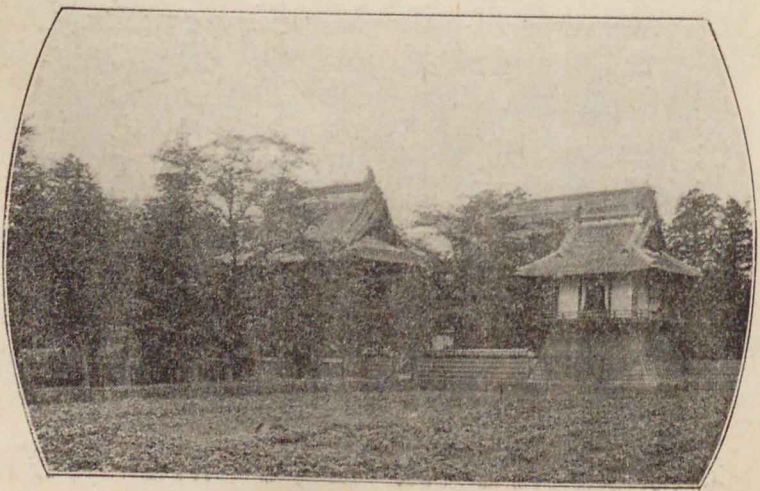
べ、寺は紅雲町に在り曹洞宗に屬し是字寺と

號す

徳川家康の父清康一日左手に「是」字を握る

と夢み、之を僧に問ふ、僧曰く「是」字は析け

龍海院是字寺

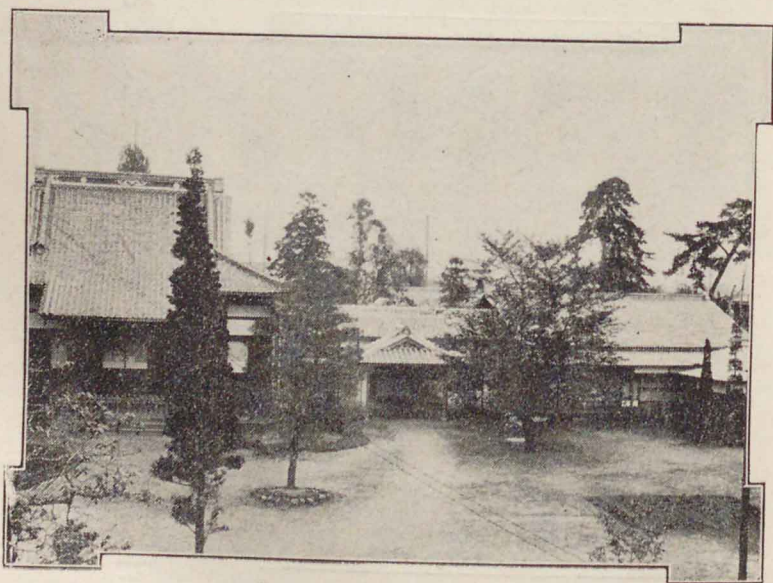


八六
ば日下人となる思ふに卿の子孫必ず天下を掌握すべしと、清康喜んで爲めに一寺を岡崎に建立し龍海院是字寺と稱す、後家康酒井忠世に命じて祭祀を奉せしむ、酒井氏此處に移るに及び、共に移して壯嚴なる堂宇を營む、今に酒井氏累代の廟あり、此寺由來名僧輩出せり、慈徳、奕堂、普蓋、模仙諸師最も著る

孝顯寺 天川町に在り曹洞宗に屬す、寛永元年結城秀康の男松平直基、越前勝山在城の時建立し、其後松平家と共に各所に移り明治元年更に松平家に從て川越より移る、同寺は寺格高く宗内の法式會同の際は上州全國の上座を允許せられしものなりと云ふ、寶物には結城晴朝公眞像外數点あり

妙安寺 立川町に在り眞宗東派に屬す、寺は市街雜沓の區に在るを以て幽寂の趣きに乏しと雖も其縁起は甚だ古く元と成然坊と呼び勅願所たり、關東二十四輩

の一にて下總國妙安寺を移せるものなり
開基は成然坊にして坊は九條幸實卿となす、親鸞に從て弟子となり其自像と寶物を得て一寺を建立し一谷山最頂院妙安寺と稱す、慶長年間此地に移る後家康の命に依り上人の眞像を京都本山に納む、此故に代々登城の時は大判、時服を賜はる今に傳ふる處の寶物多し、就中後柏原、後陽成、後西院、靈元四朝の宸翰、秀吉家康の和歌、親鸞上人の書畫等は尤も貴



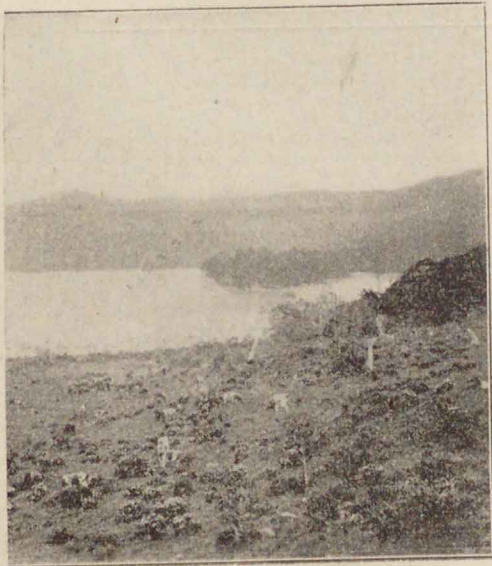
妙安寺

重なるものなりと云ふ

大蓮寺 浄土宗にして立川町に在り元龜元年の創建に屬す、境内に赤穂義士矢頭衛門七母の墓あるを以て著はる

近郊の名所、舊蹟

木曾神社 前橋より二里箱田村電車停留場より十町にして達す、箱田村に在り木曾義仲の遺臣今井、高梨等の創建する所にして義仲崇敬の守本尊を祀る、社境幽邃にして清淑の氣磅礴し、靈泉あり清冽玉の如し湧玉泉と呼ぶ、潺湲として巖



赤穂の城

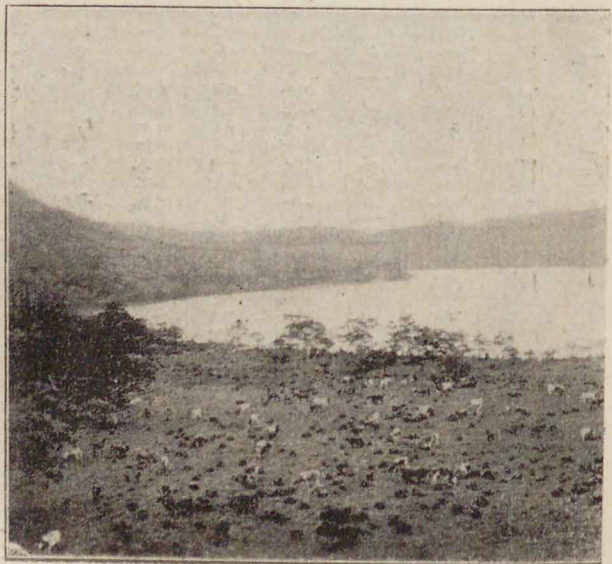
壁に觸れ散して飛泉となる恰も珠簾を懸くるに似て、本市近郊の一勝名區たり

多喜子内親王の檜幾本を寄附したまへるときそふる歌とて

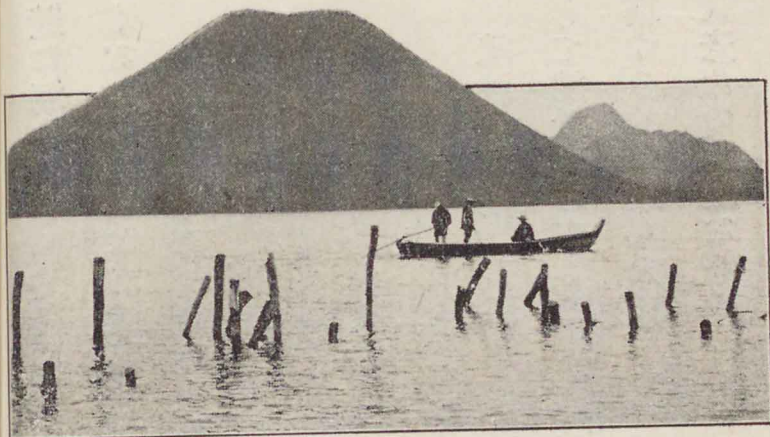
植し木も神のちぎりや深からん

木曾の山路の苗木なりせば 源素彦

總社の古陵 利根川を渡り西北一里にして總社町に至る此邊古墳多し二子山と稱するもの最も大にして瓢形を爲し豊城入彦命の古陵なりと傳ふ、又巨利光嚴寺の東に在るものは墳の中央に巨大なる石



の大沼



沼保香伊こ士富名榛

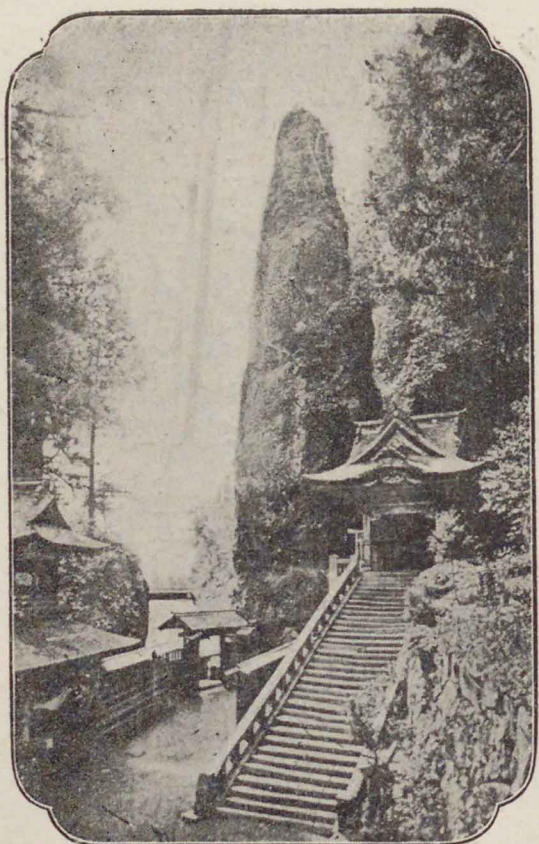
を以て正方形の穴を作り中に石棺を藏す、極めて堅牢なり、之等の古墳は曾て發掘せられ多くの古器物を出し、官に於ても皇族の御陵地なるべしとの事にて既に詮議に着手せられしも發見者の間に權利の争ひ起り爲めに之を中絶し其後證據も散佚して遂に正すに由なし

上毛の三山

赤城山 雄然として本市の東北に峙ち、海拔七千三百四尺關東の曠原一眸の裡に叢まり馳望千里風色極めて快豁なり、山上に二湖あり大沼

おほの

小沼と呼ぶ藍碧を湛へ深さ測るべからず湖畔一帯を大洞と稱し、避暑の好適地たり旅亭に猪谷及青木の二館あり、近來避暑、探勝、修學旅行者等の登山するもの



岩燭巖山名榛

年毎に増加す、湖畔に赤城神社あり縣社にして春秋二回例祭ありて參詣者頗る多し

榛名山 西北に聳へて赤城山に相對す、山上に榛名湖あり、昔時螢、燕花子の名所として謳はれ

歌人の吟詠に入りしもの多し、

唐衣かくるいかほの沼水に、けふは玉ぬくあやめをぞひく。 定家卿

蛙鳴く伊香保の沼にすむ螢、もゆる思にねをぞあらそふ。 從三位行能

全山景勝に富み到る處として佳ならざるは無しと雖も、天晴れ風静なるの日秀麗なる榛名富士湖心に其影を宿すの狀得て云ふ可からず山光水色畫くが如し縣社榛名神社は湖を去る一里許り、祠邊岩石併立奇々、怪々の狀を爲し、葛籠岩、鞍掛岩等神斧鬼鑿の妙を盡す、伊香保二里、人車、山輿の便あり

妙義山 前橋の西南に當りて鋸齒の如き狀を爲せるものを妙義山とす白雲、金洞、金鶏の三峯より成り満山奇石、怪岩ならざるはなく石門あり洞穴あり千熊萬狀頗る奇觀を極む、妙義神社は白雲山の中腹にあり日本武尊を祀る、殿宇宏麗丹

碧燦爛たり、境内老杉、老樹、森然として蔭を爲し蒼古幽邃の趣きあり、若し夫れ金風一たび

到れば満山忽

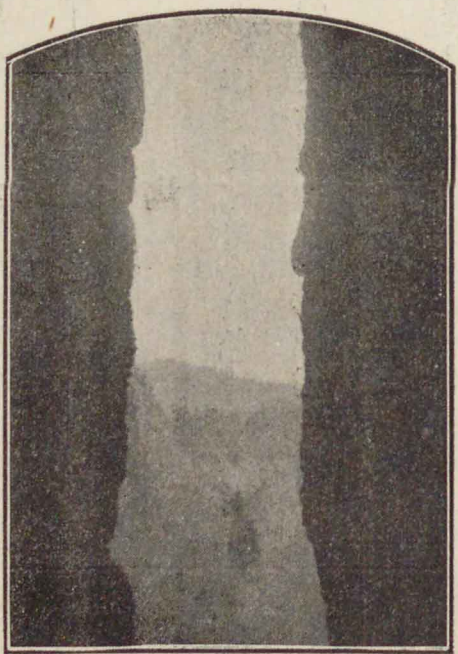
ち錦繡と化し

美觀筆舌の盡

す所にあらず

信越線松井田

より約一里に



妙義山白雲山大矢筈の奇勝

て達すべし

伊香保

古來有名の温泉

地にして榛名山

の中腹海拔二千

七百有餘尺の高

地にあり、戸數

三百餘、旅館頗る多く規模大なるものあり客を待つ設備周到なり、地高くして夏期冷涼なると本市より直接電車の便あるとは一層浴客の數を増し殊に夏期は都

人士の暑を避くるもの頗る多し

娯樂

劇場——寄席——興業物——遊技場及遊藝——花柳界

劇場

劇場は三ヶ所迄ありし事あれども今は色々に變じて小柳町に柳座あるのみ、全座は野中倉吉氏經營の下に演劇、興行等を爲しつゝあり

寄席

寄席にも幾多の變遷ありしが今は榎町に梅の井、柳盛館ありて浪花節、義太夫、落語等にて客を惹く

興業物

前橋電氣館 立川町にあり以前は劇場なりしが活動寫眞流行と共に常設として之を興行し晝夜引續いて觀覽に供す

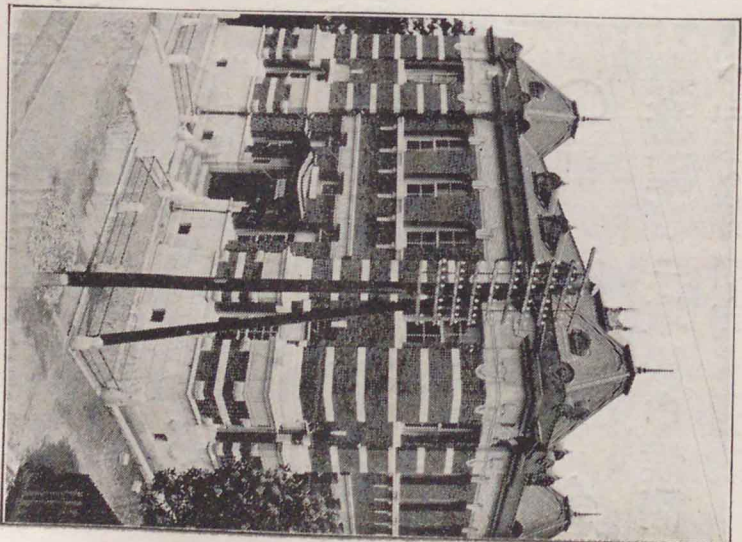
遊技場及遊藝

前橋俱樂部 は臨江閣別館内にありて市内有力者を會員とし玉突、圍碁、將棋等を以て遊び、球友俱樂部は桑町片原に在りて玉突の技を闘はし、大弓場は立川町に在り其道の者之に集まる、又遊藝には謠曲、義太夫、常盤津、長唄等夫々師匠ありて人其好む處に従て之を樂むに足る

花柳界

柳暗花明の衢之を三ヶ町と稱す、蓋し狹斜の巷主として横山町、紺屋町、榎町に

跨るを以て此名あり、料理店は甲乙に別れ甲は主なるもの二十七軒にして會席を専らとし藝妓之に入り、乙は五十軒ありて酌婦座に侍して客に對す其數百六十三人あり、藝妓は皆五十一軒の寄留宿に居りて見番を通じて招聘に應ず、其數大小合せて百五十人互に妍を競ひ、妖を爭ひ紅燈の下絃歌風に流るの邊り或は門に據りて立つもの或は蓮歩を移すもの釵影、裾香楚々として人を惹く

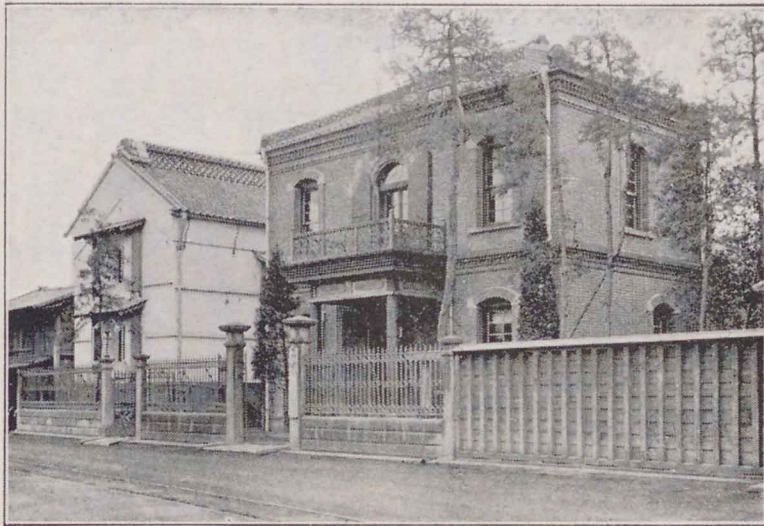
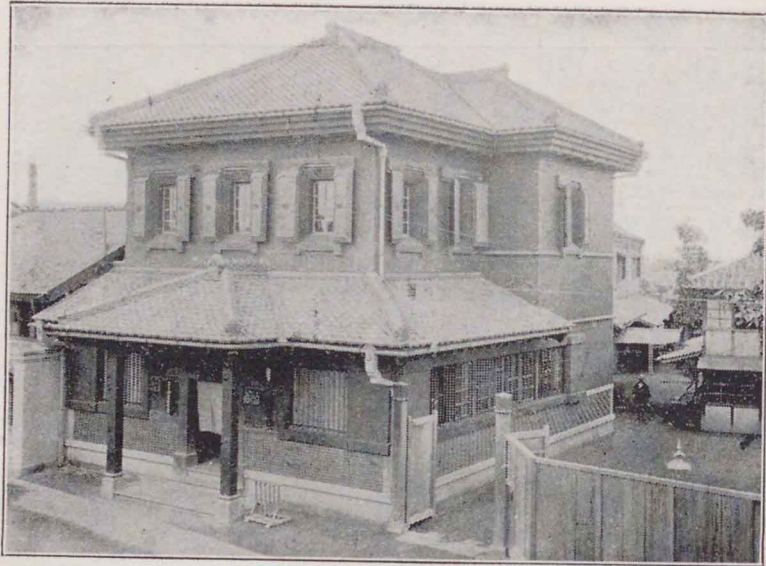


一資本 金 百 萬 圓
一積立 金 參拾九萬四千七百貳拾圓

前橋市本町十八番地

株式會社 群馬縣農工銀行

群馬縣本金庫
電話 一 二 三 三
振替口座東京二八九二番



株式會社

第二銀行前橋支店

電話 五九番

- 資本金 壹百五十萬圓
- 積立金 壹百四十萬圓
- 頭取 原富太郎

- 日本銀行前橋代理店
- 前橋本金庫

一般銀行業務確實ニ取扱申候間
多少ニ拘ハラズ御用向奉願候



株式會社 群馬商業銀行

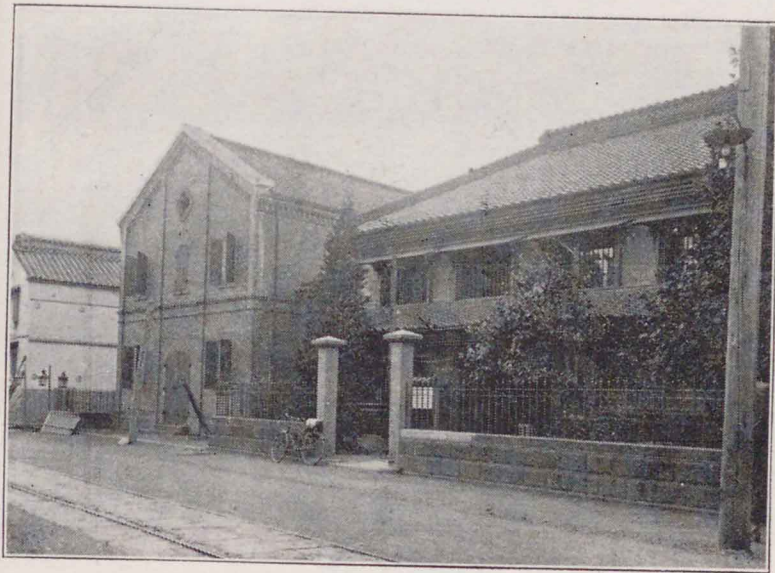
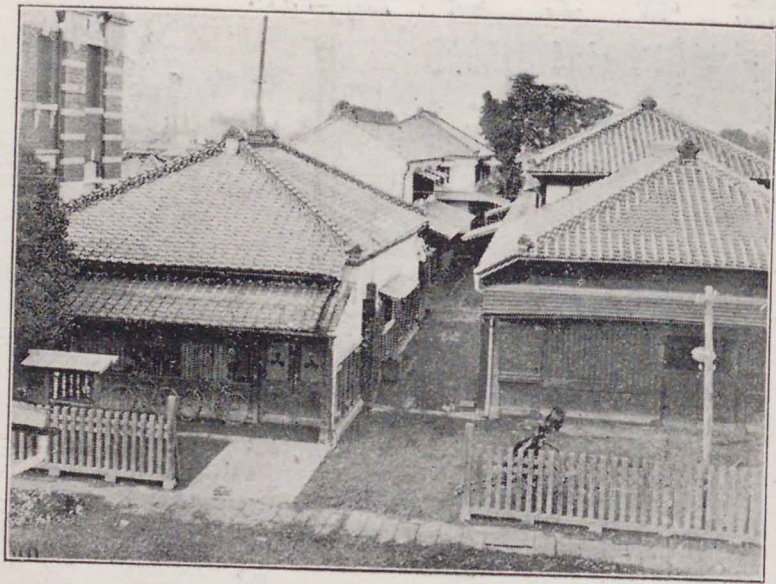
資本金壹百萬圓

監督 安田善三郎 頭取 安田善八郎

▲本店所在地

- 佐波郡伊勢崎町 電話 五五 本 店
- 前橋市本町 電話 一三七 前 橋 支 店
- 前橋市細ヶ澤町 電話 三六五 全細ヶ澤出張所(倉庫)
- 高崎市田町 電話 二三八 高 崎 支 店
- 佐波郡境町 電話 二五 境 支 店
- 多野郡藤岡町 電話 一七 藤 岡 支 店
- 山田郡桐生町 電話 三五二 桐 生 支 店

▲一般の營業向き誠實に取扱候也



前橋本店

株式會社
三十九銀行

大金 古支店
大胡 支店

- 資本金 貳拾萬圓也
- 積立金 六萬貳千圓也
- 頭取 江原芳平

前橋市本町十九番地



株式會社

上毛物產銀行

電話二二一番
電器カミ

銀行一般ノ業務極メテ迅速御便
利ニ取扱申候間御用命奉願候

生絲 三
前橋市本町
合名會社
竹内商店
電話二五電番々ケ

玉絲 三
社員 竹内清次郎
全 竹内勝藏
問屋 三
桐生町四丁目
合名會社
竹内商店出張所
電話四四電路タケ

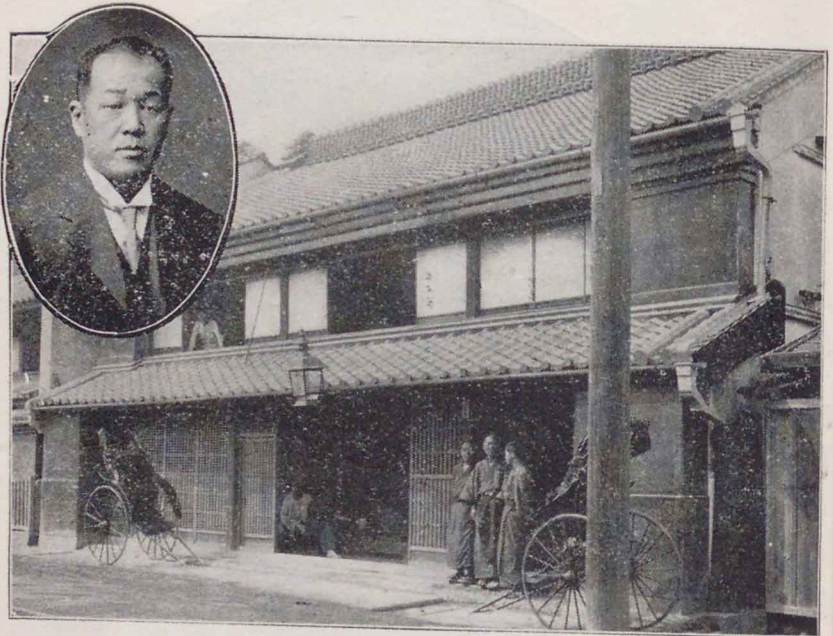
伊大利ルイノ市ギナブ
伊大利ルイノ市ギナブ
最新式撚絲器械
前橋市六供
合資會社
竹内撚絲工場
電話二五五電路タネ

代表社員 竹内清次郎
全 竹内勝藏

製品種目
壁撚、諸撚、片撚
縮緬、シラオン
其の他内外織物の原料撚絲は
何品にても御注文に可應候

米國バタソンの市
ナシヨナル會社特約
前橋市才川町

合資會社 龍興社製絲所
電話四二七電番リカ
代表社員 竹内勝藏



生絲、玉絲、委托賣買
改良撚絲製造販賣

前橋市本町
太。中原仙藏商店
電話二二二一番

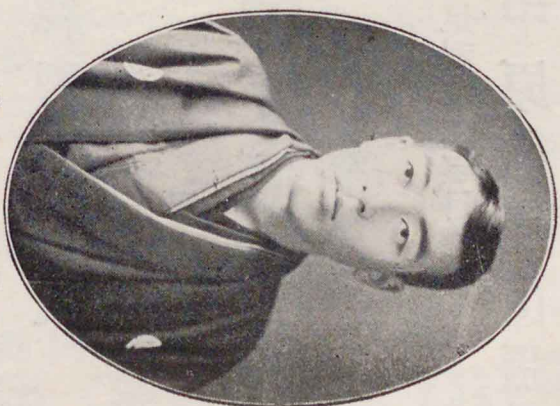
栃木縣足利町二丁目
中原商店出張所
電話八番



高橋駒次郎 社員



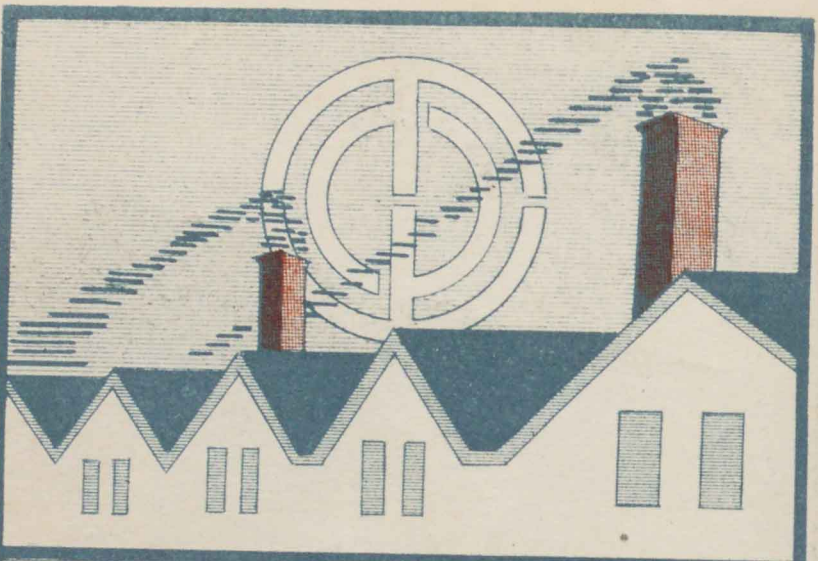
高橋調之助 社員



高橋八郎 社員

繭絲問屋 龜田商店 合會名

前橋本市橋一九番一 電話二二番路夕〇



附貸担保 保管貨物

地址 前橋市田中西七十七番地

上毛倉庫株式會社

電話番號 四四

賣取委託 干燥繭生

KWANKODO-HONTEN

TRADE MARK



煥乎堂本店

前橋市曲輪町

營業品目

內外書籍
樂器類
其他教育用品

電話一三一號

振替東京八四八番

無
限
責
任



「ちりも積れば山々成る」

前橋市紺屋町

株式會社
与毛貯蓄銀行

電話六番

「大海も一滴の水より成る」



各宮殿下
賜御買之榮光

一府十四縣聯合共進會
二等銀牌小倉羹
群馬縣手土産品評會
二等銀牌
前橋市五藝品展覽會
二等銀牌三山煎餅
群馬縣手土産品評會
三等賞二子山

前橋市連雀町
龜松堂

電話三百三十一番

名山三物
餅



特色

原料の精良最も
衛生に適す
風味佳良、体裁また
優美なり
三種各々其の風味
に特長あり
喫茶用に能く携
帯に亦便あり

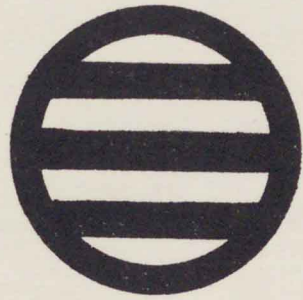
肥料 食鹽 水油 沽
問屋

專賣局指定塩元賣捌所

前橋市細々澤町十五番地

中島政五郎商店

電話 三十四番
電信 番号
振替 貯金口座東京二〇八番



前橋市豎町

すや薬局

電話二五四番

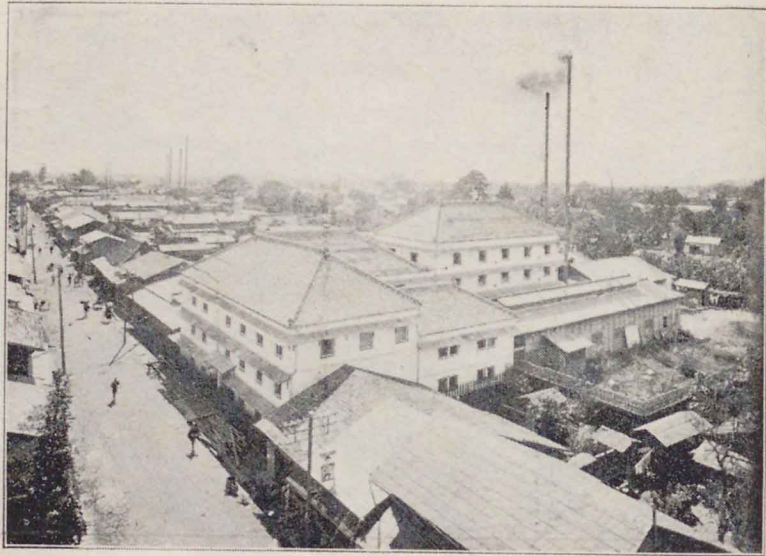
倉嶋敬治

東北帝國大學醫學專門部

藥學士

倉嶋萬吉

所絲製町向組同共



所絲製組交丸社水交

番二二五話電

前橋市向町

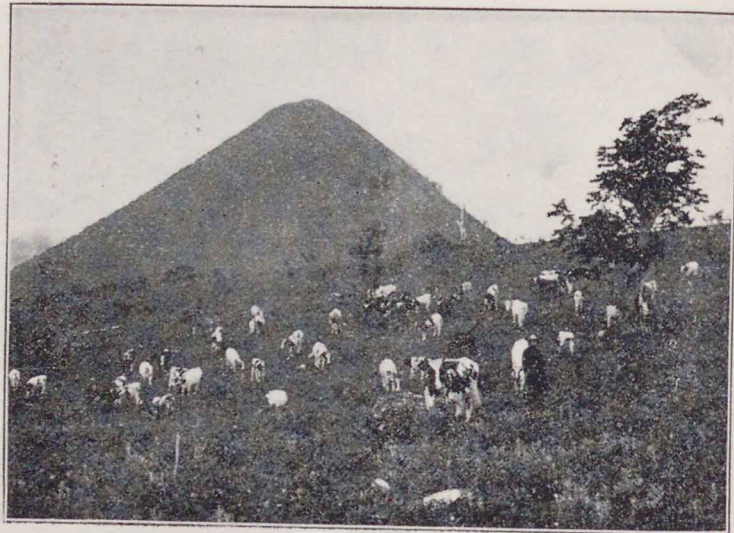
電話 本部三三〇
工場七二七

製絲共同組

近	田	桑	新	中	中	岡
藤	中	原	井	村	島	部
金	喜	元	宇	伴	雅	傳
太	代	吉	市	吉	各	平
郎	造					

小	梅	角	鈴
山	澤	田	木
秋	惠	久	小
次	三	吉	十
郎	郎		郎

部一の場牧村中村島敷郡多勢



景の牧放

弊場は多年乳用畜牛の改良に微力を致し血統能力に於て理想に近きものを産するに至れり政府より優良畜牛として数回の奨励金を給はり御買上の榮をも再三得。最近大正博覽會に於ては實に關東第一の褒賞を得たり

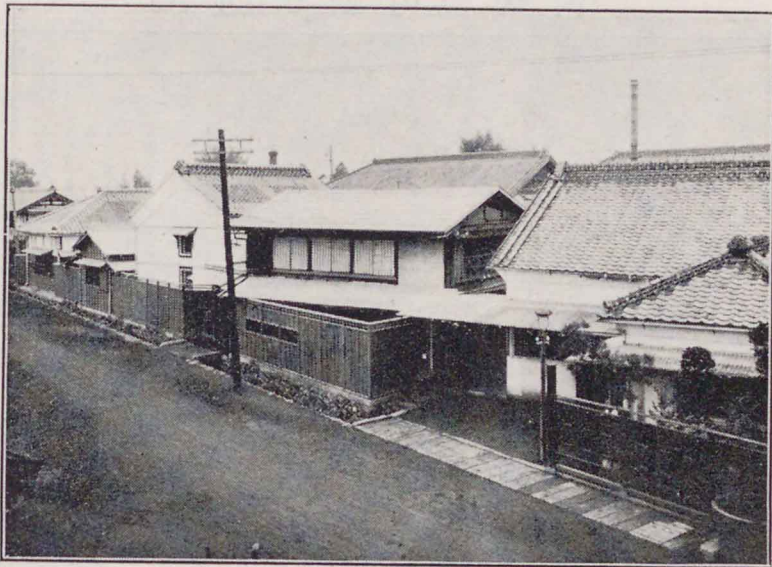
夏、冬時放牧の依頼に應ず

前橋市一毛町二百七番地

中村牧場本店

電話四百二十六番

岩神支店
澁川支店
桐生支店



『模範的設備』の評を蒙れり

當工場は西野式力織機六十餘臺を据へ電動力に依り主として

節絲織。高貴織。紹織。

を製織し其の他各種類共御注文に應じ候

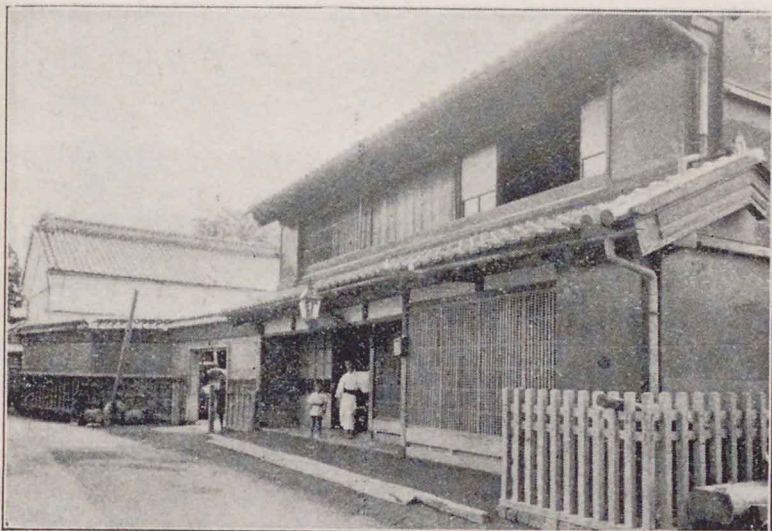
前橋市片貝町

勝山織物工場

勝山益太郎

電話二五九番

『整頓せる設備』は良品を製出す



材木商

和泉屋號

泉 小池龜三郎

前橋市芳町

各種玉絲製造 丸大組製絲所

前橋市國領町百十番地

製商品標			
金龜	太玉絲	金大黒 デニール 三六中	金旭 デニール 三三中
三ッ大黒		銀富士 デニール 四十中	金富士 デニール 三四中
ニッ大黒		銀大黒 デニール 五十中	銀旭 デニール 三十中

電話六二三、電畧〇タイ

樋口茂太郎
海津忠作
栗原重三郎
鈴木善作

MITOYA  YOUHINHO



薄利販賣

板井洋品舖

水戸屋號

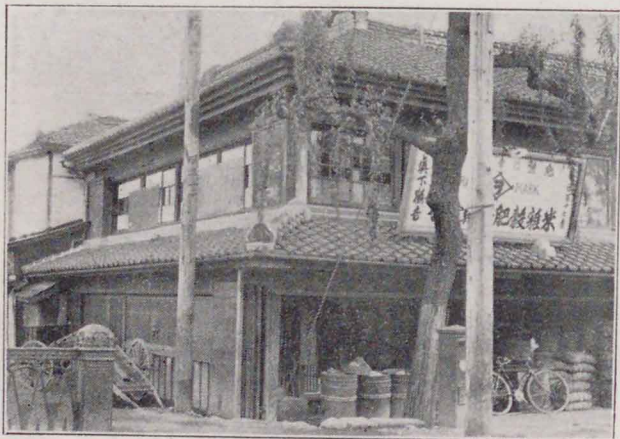
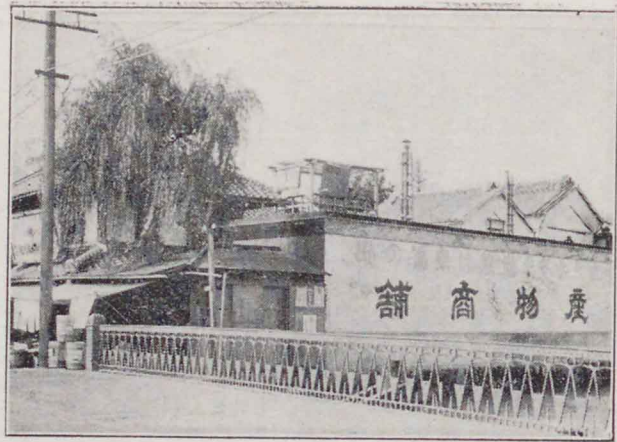
流行新形品

前橋市連雀町
電話一六七番

前橋市
五川町
理料卸
新昇

新昇別館
ホール
カフエール
電話一三八番

海産乾物販賣部



米雜穀肥料販賣部

町 豎 **今** 市橋前

部 賣 販 物 乾 産 海
部 賣 販 料 肥 穀 雜 米

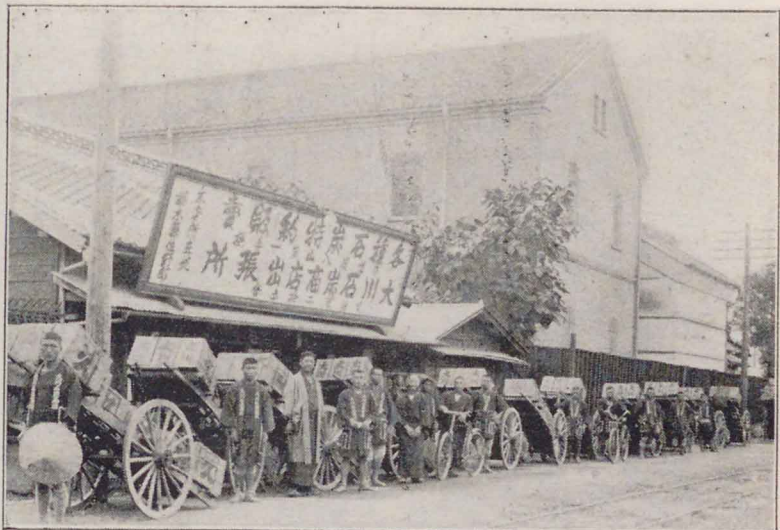
吉鶴下眞 主店

タシマ・ルツヲ零電 番七十百話電



内外教育玩具問屋
油屋本麩
大
今井豊次郎
前橋市桑町
電話五十七番
振替 二四九六一番
東京

前橋商工人名錄



營業所 栃木縣佐野町 電話一〇二

本店 同佐野町本町 電話五四

大川石炭商店

出張所 前橋市田中町 電話一二五

出張所 高崎市通町 電話一七七

出張所 邑樂郡館林町 電話三三二

前橋商工人名錄目次

い 之 部

絲

類

生絲製造、玉絲製造、生絲類賣買、擦絲製造、絲、繭賣買、
屑物、熨斗絲、綿絲、紐絲

衣

服類

洋服、古着、襪衣、足袋

印

刷業

活版、石版、銅版、寫真版

飲

食店

蠟

ろ 之 部
燭

一頁

一一頁

一四頁

一四頁

一六頁

履
は
之
部

下駄、草履、靴、履物原料

肉
に
之
部

牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、蒲鉾

と
之
部

時
度
陶
塗
計
衡
器
料
品

磁

壁
用
品

一九頁

一九頁

二〇頁

二〇頁

茶
及
茶
器
ち
之
部

二一頁

織
物
を
之
部

織物、吳服、太物、毛織類

二二頁

綿
わ
之
部

木綿、真綿

二四頁

樂
か
之
部

二五頁

三

二

金物類

金物、金屬製品、銅器、鍍金、鐵葉、鍛冶

二五頁

硝子類

硝子類

二六頁

紙和洋紙

和洋紙

二六頁

家具

和洋家具、箆笥

二八頁

玩具

玩具

二八頁

革類

革類

二九頁

瓦類

瓦類

二九頁

乾物及青物

乾物、青物、果實、甘藷、雜穀

二九頁

罐詰、瓶詰

罐詰、瓶詰

三一頁

菓子

和洋菓子、マン、菓子種、煎豆、煎餅、饅頭

三二頁

貸付業

質商、金錢貸付、物品貸付

三五頁

よ之部

洋物、雜貨

洋物、雜貨、洋傘

四一頁

た之部

建具、指物

建具、指物、箆笥

四三頁

種物

農産種子

四三頁

煙草
代理業

四三頁
四四頁

煉瓦
れ之部

四五頁

染物、整理
そ之部

四五頁

漬物
つ之部

四六頁

仲立業
な之部

四六頁

魚類
う之部

四七頁

請負業
海産物、生魚、鱸魚、川魚

四八頁

運送業
土木、建築、勞力
運送業、乘合馬車

五〇頁

藥品類
や之部
藥種、賣藥、染料

五一頁

繭、玉
ま之部

五三頁

七

六

子之部

文房具

文房具、學校用品、謄寫版

袋物

五四頁

乙之部

穀類

米、麥、雜穀、小麥粉

五五頁

麴類

小間物

小間物、化粧品

六二頁

六三頁

古物類

水

六四頁

て之部

鐵工業

六四頁

あ之部

油類

石油、水油、練油

六五頁

荒物類

荒物、骨表、蠶具

六五頁

さ之部

酒類、醬油

和、洋酒、味噌、醬油、鹽

六七頁

砂糖

七一頁

真

麻真

田

材

材木、製材

木

10

七二頁

七二頁

器

き之部

理化、製絲、織物、桑刻

械

七三頁

牛

乳

七四頁

際

物

七五頁

麵

め之部

七五頁

味

み之部

噌

(酒類ノ中ニアリ)

(六七頁)

醬

し之部

油

(酒類ノ中ニアリ)

(六七頁)

鹽

(全上)

(六七頁)

書

籍

七六頁

寫

真

七六頁

書籍、新聞

攝影、寫真材料

自

轉車類

七六頁

漆

器

七七頁

11

料 旅 議 官 產 同 會 銀
 理 貴族院、衆議院、縣會、市會、商業會議所
 店 館 員 署 公 業 業 組 組 社 行
 材 材、人造石 附 錄

八二頁
 八五頁
 八七頁
 八八頁
 八九頁
 九二頁
 九四頁
 九五頁
 一三

石 石 肥 寢 周 薪
 石 灰 炭 世 之 部 之 部
 石灰、セメント 灰 炭 肥料 之 部 之 部
 薪木、木炭 炭 旋業 具 業 具 業 具 業

七八頁
 八一頁
 八一頁
 七八頁
 七八頁
 七八頁
 七八頁
 三

前橋市商工人名錄

い 之 部

○ 絲 類

業 種 別	營 業 稅	商 號	營 業 所	電 話 番 號	電 信 略 號	氏 名
生 絲 製 造	三九、一八	丸交製絲所	一毛町 二	五三	—	梅澤惠三郎
全	一八、六、七	龍興社	才川町 九	四七	リ又ハ	合資會社龍興社
全	一八、二、四〇	須田製絲所	向町 七	四六	—	須田玉吉
全	一三、九、四〇	新英館	一毛町 二五	五三	ハ	原澤英治
全	一〇、一、五六	山岡屋	向町 九	三〇	ヲカ	岡部傳平
全	九、三、〇一	—	諏訪町 乙三	五〇六	—	田村作太郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
生絲製造	九二、四五	才川町	六	三八	セキ	關本市五郎
	八九、〇五	向町	五〇	一三三	ヤマハ	山岸初太郎
	八一、二四	中村屋	三	七七	ナナカ	中村伴吉
	七五、五九	全	一四	七六	ナカ	中島雅各
	七五、一〇	全	九	一	タ	田中喜代造
	七二、三四	才川町	四	五六七	タ	合資會社染谷製絲所
	七二、三三	向町	三	一	ア	桑原元吉
	七〇、〇一	全	六	七六	ア	新井宇市
	五五、八七	全	三	六五三	〇ト	合資會社共盛組
	五〇、四一	細ヶ澤町	九	一	シ	石原伊三郎
	四七、八七	才川町	七	四九	シ	小林金平
	四七、四二	紺屋町	六	一	一	青木馬藏
兼製材業	三七、五〇	平野屋	三	五二	一	合資會社須田製絲所
	三六、五七	向町	三	一	マチタ	合名會社町田製絲所
	三五、五六	才川町	三六	一	〇ト	近藤富次
	三四、九〇	一毛町	六	一	一	神山仁三郎
	二五、九〇	向町	五	一	一	庭野房吉
	一五、〇〇	榎町	三	一	一	中島唯五郎
	一三、五六	才川町	六	一	一	小林嘉兵衛
	七、二〇	清水屋	八	一	シシ又カハ	清水鹿造
玉絲製造	五、二九	九三組	三	一	一	合名會社丸三組製絲所
		向町	二〇	一	コ又ソハ	近藤金太郎
		全	八	一	一	戸田留八
		全	五	一	一	石川文吉
		神明町	三	一	一	竹内貞吉

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
生絲製造	九二、四五	才川町	六	三八	セキ	關本市五郎
	八九、〇五	向町	五〇	一三三	ヤマハ	山岸初太郎
	八一、二四	中村屋	三	七七	ナナカ	中村伴吉
	七五、五九	全	一四	七六	ナカ	中島雅各
	七五、一〇	全	九	一	タ	田中喜代造
	七二、三四	才川町	四	五六七	タ	合資會社染谷製絲所
	七二、三三	向町	三	一	ア	桑原元吉
	七〇、〇一	全	六	七六	ア	新井宇市
	五五、八七	全	三	六五三	〇ト	合資會社共盛組
	五〇、四一	細ヶ澤町	九	一	シ	石原伊三郎
	四七、八七	才川町	七	四九	シ	小林金平
	四七、四二	紺屋町	六	一	一	青木馬藏

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
兼撚絲	二、九一	愛生館	清王寺町 二五	—	—	阿部とよ
	二、一七	—	片貝町 六六	—	—	藤卷波吉
	二〇、五〇	富野屋	萱町 三三	五一	トミ	富岡守次
	二〇、五〇	—	全 四	—	—	萩原龜太郎
	一八、九〇	—	小柳町 七	—	—	須永喜太郎
	一八、六五	日本館	芳町 三〇	—	—	關口武平次
兼撚絲	(蘭商參照)	—	小柳町 五	六九	カネサ	齋藤善治郎
	一八、二〇	—	才川町 二八	—	—	和田要吉
	一七、四〇	—	向町 五五	—	—	折田定吉
	一七、四〇	—	小柳町 五〇	—	—	天田米次郎
	一七、二五	山	才川町 四九	—	—	小泉セウ
	一四、五〇	—	萱町 四〇	—	—	木村清藏
兼撚絲	一三、〇二	大津屋	芳町 五	—	イ	稻村辰五郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
玉絲製造	四九、四〇	—	小柳町 三六	—	—	今井庄平
	四三、六〇	—	國領町 三二	一五九	フ	船津保平
	四一、八〇	龜田屋	田町 三	三〇三	カセ	高橋伊三郎
兼撚絲	四一、七四	淀屋	新町 八	—	ヨド	淀屋合名會社
	三三、一〇	—	國領町 七	六〇〇	—	井出仁作
	三二、一〇	誠運館	小柳町 三	—	又ナカ	中田半七
兼撚絲	二九、七六	—	全 四	—	—	奈良まき
	二九、五八	—	南曲輪町 二四	五八	キタ	北澤仁作
	二六、八一	千弘館	萱町 二	—	—	久保田鐘造
	二五、二〇	—	小柳町 四	—	—	遠山善吉
(蘭商參照)	二四、八〇	勢見屋	全 五	—	—	守矢太市郎
	—	大川屋	細ヶ澤町 三	—	—	須永喜太郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
玉絲製造	三、〇五	北曲輪町	四五	一	サ	齋藤音吉
生絲、玉絲、燃絲問屋	三、八〇	本町	三三	一五	タケ	合名會社竹内商店
生絲、燃絲商	五、八〇	鍋屋	四	三〇七	〇リ	杉本利三郎
生絲、燃絲問屋	四、〇〇	竹屋	二五	五五	ト又ハ	永井篤三郎
生絲商	二九、九〇	油屋	一〇二	三六〇	カメ	龜井勝次
全	二〇、九〇	諏訪町	三〇	一三六	一	坂上每三郎
全	一四、五〇	小松屋	本町	二五七	タケ又ハ	武田清吉
全	一一、〇〇	カネ上	細ヶ澤町	一	コ	金子嘉六
全	一〇、九六	永田屋	本町	四六四	コ	光山源吾
全	九、一五	才川町	三六	一	チ又ハ	岡田時助
全	六、九六	諏訪町	四	一	ホソイ	細井才次郎
全						角田慶助

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
燃絲製造	七〇、一五	片貝町	四	一	一	山口悟
兼玉繭依托販賣	三、〇四	六供	甲二	一五五	一	合資會社竹内燃絲工場
全	一九、五〇	本町	八二	六六七	ナカ	中村峰吉
全	一六、五〇	神明町	甲一	七二四	一	杉本福次郎
全	一五、〇〇	才川町	九五	六〇五	カ	狩野喜平
全	一四、八五	一毛町	四九	一	一	坂上每三郎
兼玉絲製造	一三、五六	才川町	八	七九	カ又ハ	金井常治
全	一一、四〇	岩神町	二〇二	一	チ又ハ	小川太助
全	一一、〇〇	新町	五	一	一	後藤賢太郎
全	一一、三六	岩神町	一七四	一	イ又ハ	岩崎平太郎
全	一〇、二〇	北曲輪町	五四	七〇	〇又ハ	渡邊榮吉
全	一〇、九二	神明町	甲一	一	タケ又ハ	多賀谷銀平
燃絲販賣	一〇、九二	小柳町	二	四二	キ又ハ	櫻井豊吉

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	略電號	氏名
絲、繭商	一〇、二四	小松屋	全	一	キクレ	木暮久三郎
	九、三六		小柳町	八		布施三十郎
	八、二二		全	三		鈴木喜三郎
	八、〇〇		全	二	モ又ハ	茂木馬吉
	七、七〇	新井屋	諏訪町	六		梅澤榮次郎
	七、六六		立川町	七		樺澤茂市
兼足袋	七、五五		小柳町	乙一		細野信吉
	六、九六	大津屋	立川町	五		青木常吉
	六、九六		小柳町	三		石黒與四郎
	六、四〇	柏屋	岩神町	八		靜寅松
	六、〇〇		榎町	五		田中元吉
	五、七〇		小柳町	二	アラキ	青木定吉

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	略電號	氏名
絲、繭屑物問屋	三、六二	萬屋	本町	四	六四五	小田平六
兼玉絲製造	一九、三九		小柳町	五	六九	井口伊作
熨斗絲仲買	一三、一五		萱町	六	ス又ハ	須永合名會社
絲、繭屑物商	一〇、二四		小柳町	五	カ	狩野登
熨斗絲商	七、七七		榎町	七		合名會社伊東商店
絲、繭屑物商	七、三六		紺屋町	九		太宰利三郎
熨斗絲商	五、七〇		芳町	四	アラキ	青木熊吉
全	五、三五		横山町	三		小川三次
綿	八五、四一	高野屋	豎町	五	二七〇	高野三次郎
兼綿及真綿製造	七五、六八	白子屋	全	七	シ又ハ	須藤安平
兼洋傘足袋販賣	一九、四五	米專組絲店	横山町	二〇		奧田三治郎
兼染絲、綿絲販賣						
洋服製造	四五、七四	竹内屋	桑町	四	二三	竹内靖定
兼毛織物販賣						

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
洋服製造 兼毛織物販賣	三八、五四 三四、六九	吉田	曲輪町二	四三六	ヨシ	吉田金太郎
兼毛織物販賣	二四、〇八	全	連雀町九	甲 四九 三三	ミヨ	三浦護衛
兼毛織物販賣	一九、一四	全	横山町二六	一	一	綱島彌吉
兼毛織物販賣	一七、〇六	全	連雀町三	一	ヤマタ	山田豊吉
兼毛織物販賣	一五、五〇	全	北曲輪町七	一	サイ	佐山一郎
和洋衣服商	一三、七六	全	神明町二	一	タチ	高橋千代八
兼賣商	五九、四五	古	小川屋本店	四三	アラキ	荒木傳吉
兼賣商	三七、五五	古	岩附屋	一四	一	金子友次郎
兼賣商	三四、四〇	全	桔梗屋	七六	一	福田宗三郎
兼賣商	三一、四五	全	三丁屋	一	一	田村鶴吉
兼賣商	三〇、七〇	全	小川屋	一	一	荒木又次郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
兼和洋仕立物	二八、七八	全	全	六	一	南城ふみ
兼和洋仕立物	一五、四五	全	桔梗屋	七三	一	福田武助
兼和洋仕立物	一三、三七	全	林屋	一	一	小林儀七郎
兼和洋仕立物	(綿絲參照)	全	白子屋	七	シ又ハ	須藤安平
兼和洋仕立物	(織物參照)	全	近江屋本店	二四	キンヤ	高桑彌太郎
兼和洋仕立物	三〇、三七	全	鈴木屋	五	一	廣井彌次郎
兼和洋仕立物	二八、二八	全	近江屋	六二	一	高桑甚三郎
兼和洋仕立物	二五、八七	全	丸屋	一九	七三	倉島啓治
兼和洋仕立物	二四、五五	全	松葉屋	一五	一	羽鳥佐兵衛
兼和洋仕立物	二三、三三	全	東屋	三	一	中島宗三郎
兼和洋仕立物	一九、七二	全	上州屋	五	一	齋藤庄五郎
兼和洋仕立物	一七、八八	全	横山町	二	一	齋藤まさき
兼和洋仕立物	一七、三六	全	佐野屋	二〇	一	上岡嘉市

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
足袋、襦衣商	一六、四〇	丸屋桑町二	二	—	—	鱸俊象

○印刷業

印刷業 (紙、文房具參照)	清水井	堅町一〇	三二五	—	—	深町傳七
全	成立舍	曲輪町一〇五	五三〇	—	—	篠原叶
石版印刷	秋金堂	本町六九	一四六	—	カノ	加納歙吉
兼銅版、寫真版影刻	明文舍	細ヶ澤町一四	一〇八	—	—	篠原直衛
全	修文館	本町四七	二八	—	—	米田勝之助
石版印刷	立明堂	石川町二六	—	—	—	片平眺太郎
印刷業	群馬新聞社	堅町七九	四五〇	—	—	加藤德重

○飲食店

飲食店	新井屋	堅町五	—	—	—	園田長治
兼酒、醬油販賣	近江屋	細ヶ澤町一四	二六	—	—	小關宇吉
全	中村屋	立川町一六	—	—	—	奧川ナカ
全	田中屋	岩神町二〇	—	—	—	布施仁太郎
全	越後屋	田中町七三	—	—	—	木村榮太郎
西洋料理 兼雜貨	鐵泉亭	前代田九	—	—	—	堀内鶴吉
飲食店	靜屋	曲輪町二三	四八	—	—	熊倉菊造
全 (蕎麥)	新龜庵	榎町三三	—	—	—	青柳傳次郎
全 (兼旅人宿)	橋本屋	立川町三三	—	—	—	中島稻太郎
全 (酒)	吉川屋	萱町七	—	—	—	長谷川忠治
全 (天麩羅)	榮屋	才川町五	—	—	—	中山豐次郎
全 (天麩羅)	前田屋	一毛町四	六四	—	—	間井田繁三郎
清涼飲料水製造 兼肉類販賣	南星舍	小柳町二	—	—	—	南波民八

ろ之部

蠟燭

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
蠟燭製造 兼油販賣	一四、三三	田中町	六	—	—	小倉周造

は之部

履物

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
履物、傘 兼履物原料販賣	五、九〇	小川屋	堅町	三	—	八木清次郎
全履物	四、八五	伊勢屋	曲輪町	二	—	板垣よし
履物	二六、〇〇	近江屋	堅町	四	—	坂田茂兵衛
麻裏草履製造 兼履物原料販賣	三、一〇	谷田屋	全	乙二	三三	竹内茂十郎
	二、二五	平田	横山町	五	夕七	平田源太郎

履物商

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
兼煙草小賣	二〇、七〇	竹野屋	立川町	三	—	清野確之助
全履物	一八、三〇	山田屋	桑町	五	—	服部久太郎
全履物	一八、二〇	平田屋	堅町	五	—	西田竹次郎
全履物	一七、五三	板井屋	横山町	五	—	板井吉太郎
全履物	一五、三六	—	才川町	四	—	有本竹治
全履物	一五、三六	谷田屋	小柳町	三	—	三田傳五郎
全履物	三、四〇	水本	連雀町	六	—	栗原宗五郎
全履物	九、九六	菊屋	新町	九	—	阿久澤喜十郎
草履商 兼荒物	九、五〇	藤屋	細ヶ澤町	四	—	生形俊文
靴製造	二、七〇	小川屋	堅町	七	—	小野木銈次郎
全靴製造	三、〇四	高見澤商店	曲輪町	一〇七	—	柵木要吉

に之部

○肉類

業種別	營業稅	商號	營業所	番電話	略電	氏名
牛 肉 商	二一、六三	赤城亭本店	曲輪町 二三	二	—	羽生田與作
兼料理店	四、六	鍋屋	紺屋町 三	四	—	高川てる
兼全	三九、三	大正亭	立川町 五	三九	夕イ	栗原磯吉
牛 豚 肉 商	三三、〇〇	紺赤	紺屋町 六三	三	—	堀口しん
兼全	二〇、四	太田	小柳町 三	一六	ヲ	太田龜吉
賣 肉 商	一三、二六	—	一毛町 一九	—	—	佐々木辨次郎
兼全	(飲料水参照)	南星舍	小柳町 二	—	—	南波民八
兼全	八、八三	金澤屋	南曲輪町 八	—	—	金澤與三次郎
全	二六、〇三	鳥留	横山町 五	二四	—	坂本市治
全	六、八七	蓮見	相生町 元	—	—	蓮見嘉市

鶏卵問屋、蒲鉾製造
兼罐詰商

一八、五二 村 信 堅 町 九二 五四五 | 鳥田一陽

○時計部

時計附屬品、美術裝
身具、蓄音器、眼鏡
時計商、眼鏡

○時計

三七、一〇 | 連雀町 二 一〇五 サ | 齋藤順吉
二四、六一 | 堅町 一五 六〇〇 | 丸山市太郎

○度量衡

度量器販賣	(金物参照)	越後屋	細ヶ澤町 一四	五九	ヤマ	藤田五郎造
度量器販賣	(全 上)	富山屋	連雀町 五	三四五	—	道下豊吉
度量器販賣	(全 上)	奈良屋	桑町 二〇	三三六	ヒラトク	平山徳太郎
度量衡器販賣	(藥種参照)	すや	堅町 三三	二五四	—	倉島敬治
全	(茶参照)	駒井園	本町 八六	五三〇	ヤマコ	駒井國太郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
全	(藥種參照)	自然堂	豎町一七	三四二	—	東正一郎
全	(全上)	福壽堂	細ヶ澤町一五	四五五	—	中島福次郎
全	(茶參照)	大竹屋	立川町一五	—	オ夕	大竹良造

○陶磁器

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
全	八三、九〇	小松屋	豎町二〇	四二	—	荒井久七
全	六五、五〇	全	全	三五二	—	荒井甚八
全	三三、四六	小松屋	立川町二〇	—	—	大川信次

○塗料

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
壁用品	(金物參照)	小松屋	豎町一九	五	コトモ	荒井たつ
全	(穀類參照)	三河屋	曲輪町一五	二五五	チ又ハ	小栗音五郎
全	(全上)	林屋	紺屋町二四	—	—	籾山米三郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
全	二三、八五	保科	岩神町一九	—	—	矢川幸太郎
全	(石灰參照)	清水出張店	前代田四九	—	—	石澤保三郎
全	兼薪炭	吾妻屋	小柳町三三	—	—	高橋龍平

ち之部

○茶及茶器

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
茶	兼小麥粉	池野屋	豎町一七	二六	タ又ハ	高田利八
茶	商	水本園	桑町一五	一〇六	—	田中吉藏
全	兼髮洗粉、柿澁	八木原園	豎町一五	四五	ヤキ	八木原良作
全	兼髮洗粉、柿澁	藤屋	細ヶ澤町一六	七三	—	藤井利七
全	兼度量衡販賣	駒井園	本町一六	五三〇	ヤマコ	駒井國太郎
茶、茶器	一九、九八	山都園	豎町二	—	—	岡部篤三郎
茶	(肥料參照)	大島屋	岩神町二九	—	—	行田光三郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
兼度量衡販賣	一三、一〇	大竹屋	立川町 西	—	—	大竹良造
茶、茶器	一〇、三〇	山木園	連雀町 四	三〇九	—	根岸善太郎
(薪炭参照)	九、八四	金子園	岩神町 二	—	—	神山竹次郎
			細ヶ澤町 四	—	—	酒井七郎

を之部

織物類

織物製造	五六、五〇	勝山	片貝町 五	二五九	カツ又ハ	勝山益太郎
兼染色整理業	三七、九五		南曲輪町 二	—	—	上毛機織合資會社
吳服、太物商	二七五、五〇	麻屋	横山町 一七	一五〇	アサヤ	手塚鎌五郎
	九七、五七	米專	全	五〇、八	—	合資會社米專吳服店
	八四、四〇	澤屋	全	六〇八	サハ	小澤直七

兼雜貨、質商	二四、二五	小松屋	中川町 四	—	—	佐藤重太郎
	二二、二	近江屋	連雀町 六	—	—	中川原與惣次郎
	二三、五九	伊藤	神明町 二	七四	イト	伊藤忠太郎
	二二、〇一	赤のれん	本町 三	—	ナカ	中村保太郎
	一九、三〇	釜屋	堅町 二五	—	カ	阿久澤覺治郎
	一四、三〇	川越屋	立川町 六	—	—	杉 鎰 瓶
	一三、六〇	馬場商店	連雀町 三	—	—	馬場傳三郎
	一三、三五	三柳屋	全	—	—	竹内龍太郎
	五五、八七	下妻屋	堅町 五	三三	—	串田房次郎
	五〇、四〇	河内屋	細ヶ澤町 八七	四五二	カハユ	養田雄三郎
	四八、二	戸野屋	堅町 四	四七	トノヤ	高齋儀一郎
兼足袋商	四四、四七	近江屋本店	全	七二	キンヤ	高桑彌太郎
	三四、九〇	小川屋	全	—	—	永井金次郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
吳服、太物商	三、三〇	田島屋	榎町三	—	—	小島與三郎
毛織物販賣	(洋服參照)	竹内屋	桑町四	三三三	タケ	竹内靖定
全	(全 上)	吉田	曲輪町二	四三六	ヨシ	吉田金太郎

わ 之 部

綿 類

綿、真綿製造	八五、四二	高野屋	堅町五	二七〇	タカノ	高野三次郎
綿 商	五三、九四	岩崎屋	細ヶ澤町二	四四六	ヒ又ハ	平塚亥七郎
全 兼 販 物	三三、三〇	八幡屋	立川町七	六〇二	ヤワ	佐竹孫右衛門
全	二六、四六	岡田屋	連雀町九	—	—	葛岡作司
綿 製 造	(寢具參照)	富田屋	堅町五	—	—	高草木松太郎
綿 商	九、三〇	住吉屋	全	八	—	寶條庄太郎

真綿製造	一三、七六	伊勢屋	横山町二九	—	ヒ	日高かね
真綿製造	一三、四一	—	小柳町二	—	〇九	清水九太郎
全 兼 繭 絲 業	六、五五	上野屋	小柳町五	—	—	新井豊吉

か 之 部

〇 樂 器

樂器 (書籍參照)	煥乎堂	曲輪町二	三三	カンコ	—	高橋常藏
-----------	-----	------	----	-----	---	------

〇 金 物 類

銅鐵品 建築鐵材	一〇八、三六	小松屋	堅町一九	五	コトモ	荒井たつ
銅鐵品 及 壁用品	七五、六一	越後屋	細ヶ澤町四	五三九	ヤマ	藤田五郎造
銅鐵品 金物 商	六五、九〇	富山屋	連雀町五	三四五	—	道下豊吉
全 度 器 販 賣	四七、一九	奈良屋	桑町二〇	三三六	ヒラトケ	平山徳太郎
眼鏡、馬具、度量衡	—	—	—	—	—	—

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
和洋銅鐵商	二、一〇	ナラヤ	立川町八	三五	—	蓮伴助
金銀細工	一、八、五	鎌屋	片貝町三	七五	カマヤ	川村淺吉
電氣鍍金業	一、六、八〇	—	横山町五	—	—	佐藤鐵五郎
鐵葉職	一、三、九二	大塚電鍍場	曲輪町一	五九	—	大塚鹿造
銅鐵葉職	一、四、六	手島屋	片貝町二五	—	—	手島邑五郎
鍛冶職	二、〇〇	村勝	連雀町九	—	—	村山勝太郎
全	三、〇〇	—	細ヶ澤町	—	—	山口幸次郎
鍛冶職	—	櫻印	立川町五	—	—	川上助次郎

硝子類

硝子板、玻璃器	一、六、五	木搏屋	立川町六	—	—	井上辨吉
兼小間物、ブリキ細工	—	—	—	—	—	—

紙

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
紙	三、〇〇	日野屋	桑町一九	二八	ヒノヨ	藤岡與兵衛
兼荒物糖	一、五、〇〇	清水井	堅町二〇	三〇五	フカ	深町傳七
兼印刷業	二、六、八〇	白子屋	全	二四九	—	須田つる
兼文具	六、六、四三	河内屋	全	二六八	—	横川角次郎
兼全	—	近江屋	立川町八	五四	—	關谷信次郎
(味噌、醬油參照)	—	伊勢屋	桑町九	一六二	イセヤ	馬場常七
(藥種參照)	—	岩附屋	全	四六	ス・キ	鈴木愛三
全	—	龜屋	横山町二〇	—	—	矢端惣助
全	—	增屋	立川町六	—	—	高橋勝五郎
全	—	豐田屋	連雀町三	—	—	堀越庫四郎
全	—	—	全	—	—	岩崎清治
兼砂糖、文具、雜貨	一、三、五〇	越後屋	細ヶ澤町一五	—	—	藤田銀造
兼文具、雜貨	—	川田屋	才川町四	—	—	林榮吉
兼文具、雜貨	—	(荒物參照)	—	—	—	—

○家

具

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
家具 販賣	(洋物參照)	桔梗屋	連雀町 八	二九	キカツ	合名會社桔梗屋商店
家具、箆筒	三、六四	清水屋	桑町 七	—	—	龜井清吉
家具 販賣	一、七五	田崎商店	曲輪町 二	—	—	田崎磯吉
全	一七、四〇	奈良屋	桑町	—	ナラ	奈良萬助
全	一六、八一	寺本	立川町 四	—	—	寺本カネ
全	一六、五五	—	一毛町 四	—	—	室橋藤吉
玩 具	四〇、四〇	油屋本店	桑町 六	—	モイマ	今井豊治郎
全	(實際參照)	金木屋	細ヶ澤町 四	—	—	木暮嘉之助
全	(文房具參照)	春木堂	曲輪町 二	—	—	鈴木徳太郎

○玩

具

全	兼文房具、雜貨	一七、七	寅屋	堅町 乙四九	—	—	高野五郎
全	—	一六、三四	中屋	全 五	—	—	關澤勝五郎

○革

類

全	革 商	二九、三六	坂本屋	清王寺町 一〇三	—	サカ	坂本市五郎
全	—	二六、八五	坂綱商店	全 一〇四	—	—	坂本綱五郎

○瓦

瓦 販賣	三、〇〇	—	立川町 二七	—	—	—	美濃部武太
------	------	---	--------	---	---	---	-------

○乾物、青物

乾物、雜穀、果實商	六五、〇〇	田島屋	立川町 八五	一四	タ又ハ	石原新造
乾物 商	五五、二	谷田屋	堅町 甲二	三六	タケ	竹内誠次
乾物、雜穀、果實商	五〇、五九	田島屋	曲輪町 二	四三	シノ	篠原竹次
乾物 商	(魚參照)	藤倉	堅町 六	三五	フ又ハ	藤倉はる

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
乾物、雜穀、果實、青物	三七、三六	近江屋	立川町 四	六七	ヨシタ	吉田馬次郎
乾物、雜穀 兼水	三七、三三	宮田屋	連雀町 五	三五	又ハミヤ	川久保はま
乾物、青物	三三、三六	山形屋	曲輪町 二	五九	スハ	鈴木長八
乾物、果實、青物	二七、二五	三河屋	一毛町 三	一	ミマハ	小松政吉
兼 罐詰	二七、二〇	本町	本町 三	六四	キハ	石崎喜太郎
兼 全上	二七、二〇	宮田屋	北曲輪町 七	一	○キハ	長島サノ
乾物、雜穀	二四、二三	能登屋	曲輪町 三	六五	一	藤本文四郎
乾物、青物	一四、九五	越後屋	一毛町 四	一	一	高橋倉吉
乾物、青物	一三、八〇	八百庄	曲輪町 三	一	一	村上庄太郎
兼 煙草	一三、七六	川原屋	向町 五	一	一	宮澤乙次郎
乾物	二二、二〇	富士屋	前代田 三	一	一	齋藤太丈
乾物、青物	二二、二〇	八百安	岩神町 九	一	テラ	寺内安吉

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
乾物、果實、青物	一一、二四	八百幸	横山町 三	六三	○コ	宮島幸次郎
兼 罐詰	一一、二四	泉屋	才川町 一七	一	カネコ	金子次郎
乾物、青物	八、六二	佐鳥屋	榎町 四	七〇	一	青木藤太郎
乾物、果實、雜穀	八、三九	菊田屋	相生町 四	一	一	菊田猪吉
果實	一一、五〇	カキヤ	本町 七	六三	マルカ	南小勝
青物	一一、二六	新町	新町 三	一	一	原田勇造
甘藷	一九、八四	宮田屋	堅町 八	六三	カケハ	金子啓之助
全	六、五五	山三	田中町 八	一	一	青木忠三郎

○ 罐

全 罐 詰 (魚參照) 尾張屋 堅町 四 二七
 (乾物參照) 田島屋 立川町 八五 一四
 タタツ又ハ
 タシ又ハ
 真下鶴吉
 石原新造

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
罐詰、瓶詰	(魚參照)	藤倉	豎町 六六	三五	フ又ハ	藤倉はる
罐詰	(乾物參照)	三河屋	一毛町 三三	一	ミ又ハ	小松政吉
全	(全 上)	本町	本町 二二	六四三	キ又ハ	石崎喜太郎
罐詰、瓶詰	(酒參照)	北濱舍	横山町 三三	一	ホク	中村周二
罐詰	(肉參照)	村信	豎町 九二	五四五	一	島田一陽
全	(漬物參照)	小田原屋	桑町 五四	三九	セキネ	關根留吉
全	(魚參照)	越後屋	一毛町 四四	一	一	高橋倉吉
全	(乾物參照)	八百幸	横山町 元	六四三	〇	宮島幸次郎
全	(魚參照)	泉屋	才川町 一七	一	一	泉德之丞

○菓

和洋菓子問屋	六〇、九五	龜田屋	立川町 元	二四七	カ又ハ	龜井賢司
--------	-------	-----	-------	-----	-----	------

菓子	五、六	高島商店	國領町 八七	四八	タカ	高島格磨
菓子 <small>兼砂糖</small>	三九、一〇	龜松堂	連雀町 二二	一三	一	平松とよ
全上麥落雁	三七、八四	群玉堂	紺屋町 三三	一五	ヤス	磯崎保教
菓子、パン製造	二七、八	今盛堂	曲輪町 一〇二	三六	コン	今成さく
饅頭製造	二六、二六	志満屋	桑町 二六	六三	一	畑田牧次郎
菓子製造	二三、三	龜屋	片貝町 五二	一	一	加藤和三郎
全	一九、七〇	大龜屋	立川町 三〇	一	一	山口さち
菓子商	一九、四七	勢喜屋	前代田 四四	一	一	千木良友吉
菓子製造	一八、三〇	三浦屋	細ヶ澤町 一四	乙三〇三	一	金子重太郎
菓子製造	一八、〇〇	山田屋	立川町 五五	乙三四	一	重原熊吉
全	一七、五三	媒茶堂	豎町 八五	一	一	福島こま
パン製造	(煙草參照)	横山町	横山町 一〇	五四	一	高間龜次郎
菓子製造	一六、四七	共進舍	細ヶ澤町 五一	一	一	竹内猪之松

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
菓子製造	一五、二七	竹澤屋	立川町 四	—	—	中澤耕作
	一四、八二	日野屋	本町 三	—	—	大野善得
	一四、三	萬榮堂	横山町 六	—	—	堀米彌作
	一三、九	長谷川	本町 六	—	—	長谷川芳五郎
	一三、九〇	金井屋	才川町 一〇四	—	—	金井林作
	一三、五二	清光堂	横山町 六	—	—	飯塚喜傳次
菓子商	一三、三	橋本屋	曲輪町 七	—	—	橋本清吉
菓子製造	一三、三	永田屋	諏訪町 三	—	—	池田萬作
	一〇、七	梅松堂	曲輪町 七	—	—	松崎常造
	一〇、五三	中屋	紅雲町 八	—	—	曾我福重郎
	一〇、一三	松屋	國領町 五	—	—	中野時雄
	九、〇八	前田屋	紅雲町 七	—	—	前田直吉

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
菓子製造	二四、三三	朝野屋	國領町 八五	—	—	佐藤留吉
菓子原料	二四、三三	朝野屋	國領町 八五	—	—	近藤半造
菓子原料生餡製造	二四、三三	朝野屋	國領町 八五	—	—	合資會社前橋製餡所
餅類	二一、三五	丸佐屋	相生町 三	—	—	兵藤佐吉
煎餅類	一五、六〇	但馬屋	横山町 三	—	—	安田好作
味噌饅頭	一六、〇〇	原島屋	向町 三六	—	—	原島與都藏
饅頭、菓子	一三、五	松屋	全 七	—	—	佐藤トイ
菓子商	六、〇七	塚本屋	岩神町 四	—	—	瀨山治平

○貸付業

質商	二〇五、八六	神明町 二六	一五	—	—	今井善太郎
全質	一九〇、五〇	藤屋	細ヶ澤町 七	五	—	藤井新兵衛

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
質商 金錢貸付	一六〇、七一	古久屋	紺屋町 一四	一	一	合名會社天田商店
(味噌醬油參照)		山名屋	新町 七	二〇	エ	江原榮次郎
金錢貸付	一〇二、六〇	大坂屋	豎町 九	一	一	今井善藏
	八〇、八三	相生町	才川町 四	一六一	一	平田健太郎
	七二、八四	大黒屋	紺屋町 三	五四	ナカイ	中井幾久代
兼荒物	六二、四〇	榎町 七	中川町 九	四五	一	小泉次郎
金錢貸付 (煙草參照)	五八、五四	連雀町 四	榎町 七	一	一	田所作太郎
	四六、六〇	小柳町 二	諏訪町 六	四五九	ウヤ	印東ミズ
兼煙草	四五、九六	江州屋	立川町 三	一	一	内山安衛
	四五、八六					渡邊ナカ
						新井菊次郎
						福田由太郎

全	四一、八〇	榎町 一六	二四六	一	一	新井かね
全	三九、五六	天川町 二五	一	一	一	宮寺金十郎
全	三七、五二	本町 七	一	一	一	高橋忠雄
全	兼煙草、賣藥	澤湯屋	中川町 乙三	一	一	龜井榮造
全	物品貸付	本町 八五	五〇三	一	一	勝山たい
全	三六、一〇	連雀町 三	三六二	一	一	田口清兵衛
全	二九、九〇	一毛町 七	一	一	一	佐賀山鎌太郎
全	二九、六〇	神明町 三	一	一	一	中尾吉藏
全	二三、四九	紺屋町 三	一	一	一	木部茂右衛門
全	金錢貸付	萱町 三	五二	一	一	田中その
全	兼肥料製造	相模屋	細ヶ澤町 三	一	一	小松きる
全	一九、九〇	三好屋	曲輪町 四	一	一	下村直太
全	一七、八六	神明町 七	一	一	一	丹後けい
全	一六、二九					

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
質商	一六〇〇	小松屋	曲輪町 二九	—	—	井上 潔
	(織物參照)	中川町 四	—	—	—	佐藤重太郎
	一三、三	前代田 三	—	—	—	根岸太郎吉
金錢貸付業	一八五、三六	岩神町 八	—	—	—	橫地桂作
	一五、五五	細ヶ澤町 七	—	—	—	奈良伊之助
	八八、四〇	全	五	三五	カ又ハ	片野久太郎
	(穀類參照)	細ヶ澤町 三	—	—	—	中野茂三郎
	紙	清王寺町 二四	—	—	—	是洞健雄
	六二、五一	田町 五	—	—	—	内野貞悅
	五七、二〇	北曲輪町 四	—	—	—	坂本常二
	五〇、四五	天川町 二〇	—	—	—	熊谷株六
兼保險代理業	三六、七二	北曲輪町 五	—	六五	ヲ	太原德三

全	三七、一九	神明町 一四	—	二五	—	内田 忠一
全	三四、四〇	向町 七三	—	四七〇	—	木村農夫吉
全	三〇、九〇	才川町 三	—	—	—	安藤五郎象
全	三〇、七五	菖蒲屋	—	—	—	岡田文吉
全	二九、二九	橫山町 四	—	二七	—	内山岩吉
全	二七、三二	天川原 五	—	—	—	松村米三郎
全	二六、四六	國領町 三七	—	—	—	井上與造
全	二四、七五	諏訪町 八	—	—	—	荒井其次郎
全	二三、三六	南曲輪町 三	—	—	—	近藤熊吉
全	二三、二〇	才川町 六	—	—	—	本間九十郎
全	二二、二二	紅雲町 二四	—	—	—	前勸業通合資會社
全	二一、九二	清王寺町 三〇	—	—	—	有賀やす
全	一八、九二	神明町 七	—	—	—	高柳勝治
全	一八、三二	本町 三	—	—	—	

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
金錢貸付業	一六、八八	清王寺町	八九	—	—	淺川參三郎
質屋業	一六、七六	百軒町	二三	—	—	增田恒子
全	一五、〇〇	神明町	二三	三	—	木村義正
全	一四、三〇	前代田	—	—	—	大島よね
全	一三、二五	神明町	五	—	—	松澤新五郎
全	一三、〇四	南曲輪町	—	—	—	金子福松
全	一三、〇四	本町	三	—	—	土谷竹次郎
全	一一、六八	片貝町	三	—	—	金井牧太郎
全	一一、六六	國領町	二九	—	—	松村眞鬼多
全	一一、五四	立川町	二四	—	—	持木茂
全	一一、四四	芳町	五	—	—	小池顯三郎
全	一〇、八〇	六供	五	—	—	高橋音吉

全 10、10 堀川町 六 伊谷寅次郎

よ 之 部

○洋物、雜貨

洋品、雜貨商	六九、六〇	水戸屋	連雀町	七	一七	—	板井しま
洋品、百貨商	五九、七二	河内屋	堅町	五	一六	—	横川文五郎
洋物商	五、四二	結城屋	連雀町	二	三五	—	松島兼太郎
洋物、雜貨商	四、七七	結梗屋	全	八	三九	キカツ	合名會社結梗屋商席
兼家具、敷物	三、三五	大登屋	桑町	四	—	—	中村岩吉
洋物商	三、八〇	越後屋	堅町	二	四〇	—	荻原ふじゑ
洋品、雜貨商	三、七三	藤屋	桑町	四	—	—	杉村泰助
全	二〇、三〇	中屋	立川町	七	六二	—	關澤庄三郎
全	一九、一〇	松屋	堅町	五	—	—	田島徳之助

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
洋物商	(足袋參照)	上州屋	横山町 三	—	—	齋藤 まき
洋傘、雜貨商	(荒物參照)	吉野屋	堅町 二九	三四三	ヨシノ	市川 蕃男
洋傘商	(絲類參照)	白子屋	全	二三	シノ又ハ	須藤 安平
雜貨	(袋物參照)	鈴木半	桑町 一	—	ス、キ	鈴木 五三郎
雜貨	(煙草參照)	鈴木屋	横山町 三五	三六	—	鈴木 治忠
全	(足袋參照)	佐野屋	岩神町 二〇	—	カミチカ	上岡 嘉市
全	(飲食參照)	鐵泉亭	前代田 九	—	テ	堀内 鶴吉
全	(煙草參照)	相摸屋	横山町 四	—	—	平井 清吉
全	(紙參照)	越後屋	連雀町 三	—	—	岩崎 清治
全	(紙參照)	越後屋	細ヶ澤町 一五	—	—	藤田 銀造

たの部

○建具、指物

建具、指物	三、六九	岩神町 二〇	—	—	—	伊藤 傳次郎
全	二、二四	本町 五	—	—	—	園部 國太郎
箆	一、三五	岩附屋	横山町 二	—	—	黒崎 虎吉
兼漆器	二、五〇	立川町	畚	—	—	高間 兼吉
建具	一〇、二九	田中町	毛	—	—	小林 龜也

○種物

農産物種子商	(荒物參照)	川崎	曲輪町 一〇四	—	—	川崎 忠隆
--------	--------	----	---------	---	---	-------

○煙草

煙草元賣捌	三三、一九	—	連雀町 四	四五	ウヤ	内山 安衛
兼買及金銭貸付	—	—	—	—	—	—
煙草小賣	二、四六	三吉屋	細ヶ澤町 七	—	サト	里見 左金吾
兼繭商	一六、八三	井上屋	桑町 四	—	—	井上 岩造

業種別 營業稅 商號 營業所 電話番號 略電號 氏名

煙草小賣 一六、六〇 上進堂 橫山町 一〇 五四 高間龜次郎

兼バン製造 三、〇五 相摸屋 橫山町 三四 平井清吉

兼雜貨 二〇、七〇 小柳町 五九 佐藤茂作

兼全上 二〇、七〇 小柳町 五九 佐藤茂作

兼荒物 二〇、三五 長島屋 田町 六六 中澤平吉

兼雜貨 二〇、一一 六供 二七 高橋藤重

全 兼雜貨 (旅人宿參照) 小泉屋 曲輪町 六六 小池米太郎

全 兼雜貨 一〇、〇四 榊屋 榎町 三六 坂本安太郎

全 保險代理業 (貸付業參照) 北曲輪町 五五 太原德三

全 一〇、〇〇 相生町 二四 兵藤貞次郎

全 (絲爾參照) 塩屋 一毛町 三三 河野要治

○代理業

代理業 二四、九九 本町 四一 若菜福郎

銀行業代理 二一、〇〇 不動貯金銀行 堅町 二六 小野寺瀧次郎

代理業 一〇、四〇 前橋代理店 堅町 二二 松崎龍夫

兼及刊商事鑑定文案記事

れ之部

○煉瓦

煉瓦製造業 一三、四〇 南曲輪町 六六 七〇九 小板橋儀三郎

ろ之部

○染物、整理

染色、整理 (織物參照) 勝山片貝町 五二 二五九 勝山益太郎

染物業 二三、一五 大黒屋 小柳町 六六 登坂孝太郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
全	一五、八〇	和泉屋	相生町 四三	—	—	三品善三郎
全	一四、〇四	備前屋	紺屋町 二九	—	—	並木喜三郎
全	一三、九二	大黒屋	向町 一五	—	—	澁谷彌平治
全	一三、九四	伊豆屋	萱町 三五	—	—	伊豆品造

つ 之 部

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
漬	一七、三〇	小田原屋	桑町 四四	三九	セキネ	關根留吉

な 之 部

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
仲立業	二二、〇〇	丸共青物場	堀川町 六六	—	マルトモ	石崎喜太郎

う 之 部

魚類

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
海產物商	一四、三三	尾張屋	堅町 四〇	二七	チツ又ルハ	真下鶴吉
兼乾物、米穀、肥料	一七、三〇	島屋	連雀町 六六	三四	シマ	上方勇
兼肥料	一五、六五	榮木屋	横山町 五五	一七	サマサ	佐藤政吉
兼乾物、罐詰	四、六九	藤倉	堅町 六六	三五	フ又ハ	藤倉はる
海產物委託販賣	三六、〇〇	前橋市場	横山町 五五	四五	—	真下鶴吉
海產物商	二六、二五	松清	立川町 七七	六六	マツ	植木民之助
全	二四、九	中屋	榎町 二二	三九	ト又ヨハ	井上豊吉
全	三三、七三	江原屋	立川町 六六	—	〇八	江原せん
全	一八、七二	鈴木屋	岩神町 二〇	—	—	鈴木はる
全	一八、二	和泉屋	本町 三三	—	—	落合善吉

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	略電號	氏名
海產物商	一七、三	赤間屋	連雀町 三	一五	アカ	中塩はる
全	一六、五	木村屋	曲輪町 二〇	二〇三	エツ	峰村逸司
全	一五、六	永徳屋	細ヶ澤町 六	—	—	雨笠理一
全	一四、三	越後屋	一毛町 四	—	—	高橋倉吉
全	一三、四	岡屋	才川町 五	—	—	今井寅吉
全	一三、七	—	横山町 四	—	—	奧村真七
全	一二、七	大黒屋	片貝町 七	—	—	中林卯三郎
全	一一、六	武藏屋	小柳町 五	五〇	ワ又ハ	江角輪平治
全	一〇、四	東國屋	紅雲町 四	—	—	吉井三藏
全	一三、二	魚要	紺屋町 六	六四	〇ヨ	渡邊要次郎
全	一一、五	—	紺屋町	六五	—	元川嘉市

○請負

土木建築請負	一九、五	山小	一毛町 二七	六九	—	小林三次郎
全 兼新聞賣捌	八、〇	—	南曲輪町 五	—	—	小曾根甚八
土木請負	五、八〇	—	曲輪町 三	五九	ハセ	長谷川豊吉
土木建築請負	四、五〇	—	一毛町 六	四八	—	佐藤榮太郎
全	三、〇〇	—	北曲輪町 四	二七	—	齋藤善太郎
建築請負	二、五〇	—	萱町 三	四三	—	岡野重五郎
全 兼製絲器械製造	一四、九〇	—	小柳町 二	六一	—	中澤徳次郎
全	一三、五〇	—	北曲輪町 七	七四	—	倉橋新松
全	一二、五〇	—	神明町 七	—	—	渡邊吉兵衛
全	一二、五〇	—	田中町 八	—	—	菊川善四郎
全 兼製絲器械製造	二、〇〇	—	小柳町 五	—	—	太田淺次郎
全	一一、五〇	—	向町 九	—	—	永井源作
土木請負	一〇、〇〇	—	曲輪町 四	—	—	古塩松造

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
土木請負	一〇、〇〇	田町一	田町一	一	一	川崎長次郎
全	一〇、〇〇	宗甫分	宗甫分	一	一	河島海二郎
左官請負	一六、〇〇	向町二	向町二	一	一	早川榮太郎
兼棟瓦積立、竈製造		榎町五	榎町五	一	一	倉橋為次郎
屋根葺請負	一〇、〇〇	曲輪町一〇八	曲輪町一〇八	六五九	イシ	石崎畦八
勞力請負	一三、五〇	上毛用達所	上毛用達所	三六三	マルコフ	西澤彌五郎
兼神佛葬具販賣		丸越葬儀社	丸越葬儀社	三六三	マルコフ	
人夫請負	八、〇〇	立川町五	立川町五	三六三	マルコフ	
兼祭葬具、造花販賣						
運送業	四五、〇〇	本町二四	本町二四	三三三	〇キ	松井喜久
兼保險代理店		田中町七三	田中町七三	三六	マエ	清水由五郎
全	三、六〇	大友運送店	大友運送店	二五	イゲタ	蜷川周曹
全	二、三三			七九	〇二	金子鷺太郎
全	二、〇〇			五		

○運送業

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
全	一八、五〇	竹内運送店	前代田三七五	二四五	タケ	安波茂八
全	二、七二	互立運送店	田中町七二	一	一	真下鶴吉
乘合馬車	一〇、〇〇		諏訪町五九	一	一	藤間小次郎

や之部

○藥品類

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
藥種、洋酒、罐詰商	三〇、九〇	桑原屋	曲輪町二三	四三	クワ	桑原壽助
兼砂糖、紙		伊勢屋	桑町九	一六二	イセキ	馬場常七
藥種、賣藥、染料商	四六、四一	伊勢屋	桑町九	一六二	イセキ	馬場常七
兼紙、砂糖、洋酒		伊勢屋	桑町九	一六二	イセキ	馬場常七
藥種、賣藥	三六、二三	伊勢屋	桑町九	二五四	一	倉島敬治
兼醫療器械、理化學用器械藥品、度量器		伊勢屋	桑町九	二五四	一	倉島敬治
藥劑	三五、八六	岩附屋	全	四八	ス、キ	鈴木愛三
兼紙、洋酒		岩附屋	全	四八	ス、キ	鈴木愛三
藥種、賣藥	三五、四六	龜屋	横山町二〇	一	一	矢端惣助
兼紙、砂糖		龜屋	横山町二〇	一	一	矢端惣助
藥種、賣藥	二四、五五	增屋	立川町六	一	一	高橋勝五郎
兼紙、砂糖、金錢貸付		增屋	立川町六	一	一	高橋勝五郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
藥劑師	三、二〇	自然堂	堅町 七	三四三	—	新井松五郎
藥劑師	三、〇七	回生堂	横山町 九	四三四	—	東正一郎
藥劑師	一、七三	—	堅町 三	三三七	二〇	井出武雄
藥種、染料商	一、八三	大津屋	全	六四四	マヒ	細谷次男
藥種、醬油	一、五九	敷島屋	全	—	—	綿貫温之助
藥種、小麥粉	一、五三	大野屋	紺屋町 五	—	—	前野好太郎
藥種、賣藥	一、四〇	豐田屋	連雀町 三	—	—	堀越庫四郎
藥種、賣藥	一、三三	福壽堂	細ヶ澤町 一五	四五五	—	中島福次郎
藥品販賣	一、〇二	小島屋	諏訪町 五	—	—	成田清太郎

ま 之 部

○ 繭、玉 繭

本市には繭絲又は絲繭を稱して繭を取扱ふものは多くは「絲類」の部に載せ茲には單に繭のみを取扱ふものを掲げたり

繭委託販賣	五、〇〇	久保田	細ヶ澤町 三九	五三	—	久保田藤太郎
玉繭商	二、四九	大川屋	全	—	—	須永喜太郎
兼太玉絲製造	一、四〇	—	小柳町 五	六四九	—	齋藤善治郎
兼全	二、六〇	—	才川町 四七	—	—	島岡熊藏
兼全	二、七六	鹿野	細ヶ澤町 三四	—	—	鹿野鍋五郎
全	六、三	山石	才川町 四	—	—	關口文次郎

ふ 之 部

○ 文 房 具

文房具、紙商	一五、〇〇	清水井	堅町 一〇	三二五	—	深町傳七
兼印刷業	—	—	—	—	—	—

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
全	二六、八〇	白子屋	全	二四	—	須田つる
全	六、四三	河内屋	全	二六	—	横川角次郎
文房具、繪葉書 兼袋物、小間物、玩具	一九、六一	春木堂	曲輪町二	—	—	鈴木德太郎
文房具、雜貨 兼袋物、小間物、玩具 (玩具參照)	—	寅屋	豎町乙四九	—	夕カ	高野五郎
全 兼紙、砂糖	一三、五〇	—	連雀町三	—	—	岩崎清治
文房具、謄寫版	一三、四五	大氣堂	田中町六	—	—	降旗榮十
文房具、紙 兼雜貨	二、六七	越後屋	細ヶ澤町五	—	—	藤田銀造
袋物 兼洋傘、眼鏡、煙草、雜貨	三九、二〇	鈴半桑町	一	—	ス、キ	鈴木五三郎
袋物 兼洋傘、眼鏡、煙草、雜貨 (文房具參照)	—	春木堂	曲輪町二	—	—	鈴木德太郎

之部

穀類

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
小麥粉商 兼茶商	二八、七六	池野屋	豎町六	二六	タ又ハ	高田利八
米 穀商 兼石炭商	一八、三九	—	田町四	一五	ヨシ	合資會社吉澤商店
米 穀商 兼肥料、海產、乾物	一四、三三	尾張屋	豎町四	二七	ナツルハ	真下鶴吉
全 兼肥料商	一三〇、四七	下妻屋	全	一四	イワ	岩田金次郎
全 兼薪炭商	九五、六〇	中屋	北曲輪町七	四四	—	曾我和平
全 兼薪炭、壁用品、味噌、醬油	八七、八〇	三河屋	曲輪町五	二五	ナクハ	小栗音五郎
全 兼金錢貸付	八一、五三	紙屋	細ヶ澤町三	—	—	中野茂三郎
米、雜穀、麥粉 兼木材、木炭	六七、二〇	福島屋	横山町五	三	コイハ	小池太平
雜穀 兼薪炭	五九、五〇	大島屋	曲輪町二五	三八	カ又ハ	金垣周藏
米 穀商 (肥料參照)	四四、三〇	藤見屋	細ヶ澤町三	—	—	海野トリ
米 穀商	—	立花屋	田町三	二五	キト	木戸廣吉

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	略電號	氏名
全 兼鹽、石油	二八、八〇	林屋	曲輪町一〇〇	—	—	粗山安太郎
全 兼石灰、セメント、壁用品	二八、五〇	越後屋	岩神町七〇	—	—	根津馬藏
全 兼肥料	二七、八〇	福田屋	才川町五〇	—	—	粗山米三郎
全 穀、荒物、賣藥商	二七、三三	上井屋	片貝町四〇	—	—	渡邊秀太郎
米 兼穀商	二六、七四	—	岩神町二〇	—	—	井上芳造
全 兼薪炭、荒物	二六、一〇	平野屋	紺屋町四二	—	—	遠藤藏吉
全 兼肥料	二五、一九	越後屋	北曲輪町四二	—	—	平野吉次郎
全 兼薪炭、荒物	二四、〇〇	相摸屋	才川町三八〇	四四	イイ又ハ	伊藤善藏
全 兼肥料	二三、九六	越後屋	連雀町五五	六〇七	イトハ	小松益雄
全 兼肥料	二三、三〇	木村屋	紅雲町二九九	六八	—	塩崎音吉
全 兼肥料	二二、八五	須田屋	立川町四六	—	—	木村儀作
全 兼肥料	二二、七六	榎屋	向町五	—	—	須田與吉
全 兼肥料	—	—	—	—	—	德永左源治

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	略電號	氏名
全 兼鹽	四〇、二〇	鈴木屋	横山町二二	二二	ス	鈴木留次郎
全 兼鹽	(油参照)	油屋	田町二〇	四三	—	大淵宗太郎
米、雜穀商	三七、五二	竹屋	立川町一九	三七	タケ又ハ タケウチ	竹内龜吉
全 兼鹽	(肥料参照)	—	細ヶ澤町五	—	ウキ	海野喜八
全 兼鹽	三四、三〇	丸登	小柳町七	—	—	小畑藤作
全 兼鹽	三三、九五	—	前代田四	—	—	合資會社若井商店
全 兼肥料、煙草	三三、九〇	大和屋	横山町六	—	—	兵藤彦三郎
米 兼穀商	三三、四五	三島屋	諏訪町一八	—	—	井上甚作
全 兼肥料、煙草	三三、〇四	近江屋	天川町二九	—	—	大屋喜作
全 兼肥料、煙草	三〇、一八	木村屋	諏訪町七三	—	—	木村健太郎
全 兼肥料、煙草	二八、九〇	結城屋	向町一〇九	—	—	結城德藏
全 兼肥料、煙草	二八、八四	—	全	—	—	庭野常次郎

全	全	全	全	全	全	全	全	全	米	穀	穀	全	米
兼薪炭					兼薪炭			穀類、煙草	穀類、煙草	穀類、煙草	穀類、煙草	穀類、煙草	米穀、荒物
一三、六〇	一三、七二	一三、七六	一三、八〇	一四、二四	一四、四〇	一四、四〇	一四、五三	一四、六四	一五、二二	一五、二八	一五、七五	一六、二〇	一六、二〇
		槌	境		上				中	富			
		屋	屋		井				野	山			
神明町	前代田	曲輪町	前代田	前代田	相生町	諏訪町	新町	諏訪町	新町	田町	六	片貝町	六
元	三	三	三	八	四	三	四	四	六	二	二	四	二
木島十次郎	細野幸重	石川傳三郎	若井惣太郎	高橋みな	津久井敬八	井上喜一	松井龜太郎	米岡徳松	中野龜太郎	小林菊次郎	宮川安藏	尾高龜吉	

五九

兼肥	全	全	全	全	米	小	全	全	全	全	全	全	業
兼肥料	兼炭類	兼穀類	兼肥料	兼穀類	兼穀類	兼麵粉製造	兼薪炭、石油	兼桑刻器販賣	兼賣藥、煙草、荒物	兼賣藥、煙草、荒物	兼賣藥、煙草、荒物	兼賣藥、煙草、荒物	業種別
一六、二〇	一六、六六	一七、七〇	一七、七二	一八、二五	一九、〇〇	一九、四九	一九、五〇	一九、五五	二〇、〇六	二〇、四六	二〇、四六	二〇、四六	營業稅
田島屋	關根屋	中野屋	布施屋				松屋	小山屋	片貝町	平野屋	平野屋	平野屋	商號
新町	田中町	紺屋町	榎町	紅雲町	神明町	才川町	田町	全	國領町	片貝町	田町	田町	營業所
七	二	一	二	三	三	三	七	三	三	三	三	三	番電
													電話
													略電
													信
石原久七	堀口エ	松浦重太郎	館野きよ	布施源治	田村豊作	渡邊仙吉	小林房吉	松下藏之助	小山市郎	須田武三	角田孝八	角田孝八	氏名

五八

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
米穀、荒物	二〇、一九	片貝町	一四	—	—	摩庭善太
穀類、煙草	一〇、一八	田中町	四	—	—	青柳熊藏
穀類、煙草	一〇、三	大圖屋	紅雲町	六	—	大圖藤吉
米穀商	一〇、九〇	越後屋	一毛町	五	—	竹内權吉
穀類、煙草	一〇、六〇	中村屋	本町	八	—	平井とを
製穀業	一〇、〇四	富士屋	小柳町	三	—	白倉松治
製穀業	一〇、〇〇	神明町	七	—	—	佐野幸作
麵製造	四、〇〇	伊勢屋	桑町	五	—	日高喜助
麵製造	一五、四三	諏訪町	四	—	—	田邊藤作
麵製造	一四、三〇	連雀町	六	—	ヤマト	中橋寅藏

○小間物

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
小間物商	五、八七	松屋	連雀町	二	—	田島豐太郎
全	五、九	中屋	堅町	六	二五	關澤友太郎
全	二九、二五	松葉屋	桑町	三	三三	吉岡友五郎
全	二、四	松屋	全	三	二九	筒井つね
全	一九、四	津田屋	堅町	亮	—	忍足平十郎
全	一七、五	中野屋	立川町	七	—	高田一二
全	一三、三〇	河内屋	全	亮	—	工藤定次郎
全	一一、九	松の屋	田中町	四	—	古平庄太郎
全	七、三	若松屋	相生町	亮	—	遠藤敬之
古物仕切商	三、八〇	鐵屋	桑町	三	五七	新井又吉

○古物商

業種別 營業稅 商號 營業所 電話番號 略電號 氏名

古物仕切商	二、九〇	日野屋	堀川町 五	—	—	—	後藤美太郎
古物商	一〇、八三	—	一毛町 三	—	—	—	小池 よう
全	一〇、八〇	—	田町 五〇	—	—	—	桑山彦兵衛

○水

水商	(乾物參照)	宮田屋	連雀町 五	三五	ミ又ハ	—	川久保はま
全	一三、七四	米本屋	全	六〇	五〇二	—	石井寅吉

て之部

○鐵工業

鐵工業、唧筒製作	四四、〇一	—	國領町 八六	四〇	ワコ	—	若林小市
銅、鐵、鑄物器械製作	五五、八〇	前橋鐵工所	芳町 二五	二三〇	マテ	—	岡田小三郎

あ之部

○油類

石油、水油商	(肥料參照)	油屋	細ヶ澤町 一五	四	ナ	—	中島政五郎
石油、水油、練油商	兼肥料商	九二、一〇	松屋	連雀町 一	二九	—	筒井登代吉
石油、水油商	(穀參照)	竹屋	立川町 一九	三七	タケ又ハ タケウチ	—	竹内龜吉
石油販賣、水油製造	兼肥料	三七、〇〇	油屋	田町 二〇	四二	—	大淵宗太郎
油類商	(蠟燭參照)	—	田中町 六	—	—	—	小倉周造

○荒物

荒物、疊表、蠶具商	兼洋傘	九六、七〇	吉野屋	堅町 二九	甲三四三	ヨシ	市川蕃男
荒物商	(貸付參照)	—	大黒屋	中川町 一九	—	タサク	田所作太郎
荒物、蠶具商	—	五九、一六	三河屋	堅町 一八	三〇〇	ミヨ	石黒與一
荒物商	—	四三、一八	小松屋	曲輪町 一九	六六	モリ	森本三治

部之

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	信號	氏名
荒物	三、七六	太鼓屋	一毛町一〇〇	—	—	—	村上よね
荒物、兼太鼓製造	三、三二	小泉屋	立川町七〇	一四三	〇	—	小泉いく
荒物、煙草商	(穀參照)	上井屋	片貝町四〇	—	—	—	井上芳造
荒物、煙草商	二七、三三	中屋	堅町三三	—	—	—	中澤伴次郎
荒物、雜貨	二二、七〇	下妻屋	中川町二〇	—	—	—	須田勘平
兼精麥	二〇、〇〇	柿屋	全	—	—	—	荒牧賢二
兼農產種子	一六、八四	川崎	曲輪町一〇四	—	—	—	川崎忠隆
煙草商	一三、二七	島田商店	諏訪町一五	—	—	—	島田銀三
疊表、馬具商	一三、〇三	山野屋	立川町四	—	—	—	設樂友好
兼紙、砂糖、石油	一、二四	川田屋	才川町四〇	—	—	—	林榮吉

酒類

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	信號	氏名
酒造業	二二、九六	中村屋	本町一〇九	一九	ヒラヨ	—	平井與吉
兼洋酒、醬油販賣	三、七六	日野屋	六供一	—	—	—	三輪悦三郎
酒類、醬油商	四、二六	十一屋	細ヶ澤町八	二六	サ又ハ	—	澤村嘉平治
酒類、醬油販賣	四、三〇	難波屋	田町五	五五	—	—	神田政吉
酒類、醬油販賣	三、六〇	大津屋	連雀町三	三七	ミソエ	—	三添茂十郎
酒、醬油、味噌販賣	三、九七	倭屋	堅町六	乙二四	—	—	曾田松之助
酒類、醬油販賣(飲食店參照)	—	新井屋	全	七五	—	—	園田長治
酒類、煙草商	三、八六	上野屋	田町四	—	—	—	上野鹿藏
酒類、煙草商	三、一六	田中屋	諏訪町元	—	—	—	高橋儀三郎
酒類、洋酒商	三、三六	新井屋	田中町七	六四	キムラ	—	木村國治郎
全	二、六〇	十一屋	横山町三	三九	—	—	石川ゆき
全	二、〇五	中村屋	諏訪町二	—	—	—	清水長作

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
洋酒 販賣 (藥參照)	(全 上)	伊勢屋	桑町 九	一三	イセヤ	馬場 常七
和洋酒、醬油商	一四、八〇	岩附屋	全 六	四六	ス、キ	鈴木 愛三
酒 類 商	二、九〇	十一屋	紺屋町 五			安井 治太郎
酒、醬油商	二、五〇		相生町 三			青木 よし
酒、醬油商	二、四三	與板屋	紅雲町 三			小谷 源太郎
酒類、醬油商	二、二五	田 義	連雀町 四			大橋 徳藏
全	一〇、二〇	近江屋	田 町 七			田 中 義一
全	一〇、〇五	金子屋	才川町 五			西村 五三郎
全	一〇、〇〇	上野屋	六 供 乙 二			金子 子之吉
全	八、二四	島崎屋	紺屋町 二			小林 忠治
全	八、二四	吉田屋	芳 町 七			佐藤 靜治
全	八、二四	清水井	横山町 七	二		内田 しげ
味噌、醬油釀造	一七、三〇			二		深町 富八

兼鹽元賣捌

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
酒類、荒物商	三、六〇	和泉屋	全 五			富澤 彦作
和洋酒、味噌、醬油商	二、四九	北溟舍	横山町 三			中村 周二
酒類、醬油商	三、四六	日野屋	曲輪町 二			橋本 松次郎
酒類、醬油、味噌商	二〇、二八	日野屋	諏訪町 七			辻 忠右衛門
酒類、醬油商	一九、八三	大津屋	片貝町 六			寺澤 寅吉
全	一九、六六	和泉屋	新 町 六			竹越 寛藏
全	一八、八五	日野屋	桑 町 一			岡田 わか
酒類、醬油商	一八、七五	近江屋	南曲輪町 一			中島 三之助
酒類、醬油商	一八、七四	岩附屋	相生町 二			中島 梅太郎
全	一六、三三	日野屋	細ヶ澤町 二	六九		齋藤 喜六
全	一五、三三	越後屋	小柳町 五			小林 徳次
酒類、醬油商	一五、三〇	戎屋	堅 町 一	三五		赤澤 卯之吉

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
味噌、醬油釀造 兼鹽元賣捌	一三、六九	清水井	相生町 五	五	—	深町彌代藏
全 兼質商	二三、〇三	古久屋	新町 七	二〇	エ	江原榮次郎
全 兼鹽販賣	一〇三、二五	登丸	向町 二	三五七	ト又ハ 〇	登丸佐金治
醬油、酒、味噌販賣 兼鹽元賣捌	八八、二六	和泉屋	細ヶ澤町 二	四八	オカタ	岡太郎次
味噌、醬油釀造 兼酒類販賣	八〇、五〇	十一屋	田町 二	四六九	ヨコ	横田駒吉
全 兼紙、鹽販賣	五、七	近江屋	立川町 八	五四	—	關谷信治郎
味噌、醬油販賣 (穀類參照)	三河屋	曲輪町 五	二五	ナナ又ハ ナク	—	小栗普五郎
醬油 商 (砂糖參照)	(全 上)	大島屋	立川町 六	—	—	小島金六
味噌、醬油、鹽商	一三、六六	清水井支店	全	三六八	—	井上勇次郎
味噌、醬油商	一一、八四	—	堅町 五	—	ワウ	渡部卯平
鹽元賣捌 (肥料參照)	油屋	細ヶ澤町 三	三	三	ナ	中島政五郎

七〇

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
全 糖 兼藥種、洋酒、罐詰、紙類	二〇〇、九	桑原屋	曲輪町 二三	四三	クワ	桑原壽助
全 兼鹽元賣捌、菓子原料	一四一、六四	朝野屋	堅町 四二	四八	コン	近藤半造
全 兼荒物 (紙參照)	兼石油商 五五、五九	日野屋	桑町 一九	三三	ヒノヨ	藤岡與兵衛
全 兼石油商	兼石油、醬油商 四二、九五	大島屋	全	三〇	乙三四三	關口仁三郎
全 兼醬油商	二三、二九	—	立川町 八六	—	—	小島金六
全 (菓子參照)	—	—	國領町 八七	四八	夕カ	高嶋格磨
全 (藥種參照)	—	伊勢屋	桑町 九	一六二	イセヤ	馬場常七
全 (全 上)	—	龜屋	横山町 二〇	—	—	矢端惣助

○ 砂糖

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
全 糖 兼藥種、洋酒、罐詰、紙類	二〇〇、九	桑原屋	曲輪町 二三	四三	クワ	桑原壽助
全 兼鹽元賣捌、菓子原料	一四一、六四	朝野屋	堅町 四二	四八	コン	近藤半造
全 兼荒物 (紙參照)	兼石油商 五五、五九	日野屋	桑町 一九	三三	ヒノヨ	藤岡與兵衛
全 兼石油商	兼石油、醬油商 四二、九五	大島屋	全	三〇	乙三四三	關口仁三郎
全 兼醬油商	二三、二九	—	立川町 八六	—	—	小島金六
全 (菓子參照)	—	—	國領町 八七	四八	夕カ	高嶋格磨
全 (藥種參照)	—	伊勢屋	桑町 九	一六二	イセヤ	馬場常七
全 (全 上)	—	龜屋	横山町 二〇	—	—	矢端惣助

七一

○眞

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	略電	信	氏名
麻真田製造	二九、八九		北曲輪町 五	五六八	マ	エ	合資會社 前橋輸出品製作所
	四三、九五		田中町 二〇	二五三			島野製紐合資會社

○材

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	略電	信	氏名
材木商	六、六二	和泉屋	芳町 五				小池龜三郎
兼家具販賣	四八、七〇		紅雲町 ^甲 二九	三四二			野口忠太郎
	四七、〇五		諏訪町 九	六三七			丸山藤吉
	四三、二四		南曲輪町 一	六六八			栗原喜代治
	四二、八〇	黑岩	向町 八	三六七			金子助三郎
製材業	(生絲參照)	平野屋	萱町 三	五一			合資會社須田製絲所
材木商	三三、五	菊屋	芳町 七				菊池金十郎

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	略電	信	氏名
	三三、二九	茂	北曲輪町 四〇	五六九			吉荒茂七
	三一、七〇		小柳町 三	三九	ヒ又カハ		平方嘉平
	三〇、九		田中町 三				島倉藤平
	二九、二六	小國屋	全	六五	コンナト		近藤音作
	二六、二四		中川町 二				増田龍平
	二〇、五	小池屋	神明町 一〇	五二			島田政輔
	一七、三六		岩神町 三				石岡惣八
	一四、七五	山清	堀川町 六				大谷内清四郎
兼薪炭商	一〇、三一		新町 二九				多加谷勝四郎

器之部

○器

理化學器械製造 五一、三三
兼文房具、教育玩具販賣

堅町^乙 四 四六七
教具製作株式會社

業種別 營業稅 商號 營業所 電話番號 電略號 氏名

製絲器械製造 二、五〇 菅町 三六 四三 岡野重五郎

兼全附屬品販賣 一八、八九 植木屋 本町 二五 矢島貞重

製絲、織物器械製造 一五、三〇 向町 二〇 平山富八

製絲器械製造 一三、七四 上井屋 片貝町 一五 井上千代平

全 桑刻器、馬糧器製造 一三、七六 立川町 一五 川上助次郎

兼鍛冶職

○牛

乳

牛乳搾取業 七四、六〇 赤城牧場 北曲輪町 一六 四六 羽生田仁作

兼放牧、農林業 五九、四九 中村牧場 一毛町 二〇七 四六 中村勉次

全 三〇、〇〇 芳町 八五 四三 久保村三輪之助

全 二九、九九 前橋搾取所 岩神町 八四 一 中村忠作

全 二三、一九 小柳町 四 三〇 一 木村農夫吉

○際

物

際物製造 二九、四二 金木屋 細ヶ澤町 一四 一 木暮嘉之助

兼玩具、小間物商

め之部

○麵

類

麵類機械製造 三五、三八 日野屋 立川町 八 一 山梶重吉

兼煙草、茶販賣 一九、〇二 高橋屋 諏訪町 七三 一 江原與三郎

兼製粉業 一八、二五 神明町 七三 一 田村豊作

全 一七、九〇 横山町 一四 一 新津政雄

全 一六、四〇 榊屋 向町 一六 一 小山庄作

全 九、四七 小野屋 前代田 二 一 猪岡善七

全 九、二〇 藤野屋 田中町 一五 一 織田宗太郎

し 之 部

○書

業種別

營業稅

商號

營業所

電話番號

略電號

氏

名

書

籍商

一七三、七五

煥乎堂

曲輪町 二

二二

カンコ

高橋常藏

兼樂器、教育用品販賣

新聞元賣捌

二三、七二

博聞舎

連雀町 一六

乙二七

板井忠七

全

(請頁参照)

南曲輪町 五

一

小曾根甚八

○寫

眞

寫眞器及材料商

二、八六

松屋

連雀町 六

四七

筒井庄太郎

寫眞 撮影

二、九二

日英館

堅町 一

四六

平澤寛一

○自

轉

車

自轉車販賣

二三、四四

連雀町 五

七〇

ト又ハ

都丸彌三郎

附屬品共

全 全

一一、七四

全

一〇

夕ケ

竹井瀧藏

八、〇〇

堅町 四

一

一

近藤亦八

○漆

器

(家具商ハ多ク漆器ヲ販賣ス)

漆器製造

一八、三五

岩附屋

横山町 二

一

黒崎虎吉

○薪

炭

薪炭商

(穀参照) 中屋

北曲輪町 七

四四

一

曾我和平

全

(全上) 三河屋

曲輪町 五

二五

一

小栗音五郎

全

二七、七〇

久

三

五九

鈴木惠助

全

(穀参照)

岩神町 二〇

一

エ又ハ

遠藤藏吉

全

一一、〇〇

受託商會

連雀町 三

六五

鈴木留太郎

全

(材木参照)

新町 二

一

一

多加谷勝四郎

全

兼酒煙草商

才川町 七

一

一

小山丑之助

○周旋業

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
公債、株式、土地 建物、電話周旋	八、〇〇	—	小柳町 五	五六〇	キ又ハ	清野長五郎
公ナル周旋業	八、〇〇	—	芳町 五	—	—	江口 奧藏

○寢

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
夜具布團、蚊帳商	(衣類參照)	小川屋	立川町 七五	—	—	荒木又次郎
布團商	二六、〇〇	富田屋	堅町 五	—	—	高草木松太郎
蚊帳業	二三、〇〇	近江屋	諏訪町 六〇	—	—	藤野長次郎

(衣類商ハ多ク之ヲ兼ヌ)

ひ之部

○肥料

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
肥料	二三、一〇	油屋	細ヶ澤町 一五	—	—	中島政五郎

肥料 販賣 (魚類參照)	尾張屋	堅町 四〇	二七	ナ又ハ	真下 鶴吉
全 (穀類參照)	下妻屋	全 三	一〇	イワ	岩田金次郎
全 (油參照)	松屋	連雀町 一	二九	—	筒井登代吉
全 (魚參照)	榮木屋	横山町 五	一七	サマサ	佐藤 政吉
肥料 兼石油、鹽販賣	三河屋	立川町 八	二三	—	黑澤桂之助
全 兼雜穀販賣	藤見屋	細ヶ澤町 三	—	—	海野 トリ
肥料 販賣	四、〇〇	立川町 七	六五	ノ	合資會社野口商店
全 兼荒物、雜貨	三八、八〇	上坂屋	細ヶ澤町 七〇	—	榎木 伊助
肥料 販賣 (油參照)	油屋	田町 二〇	四三	—	大淵宗太郎
全 兼雜穀販賣	三五、〇九	—	細ヶ澤町 五	ウ	海野 喜八
全 兼雜穀、煙草	三一、九〇	大和屋	横山町 六	ヒヨ	兵藤彦三郎
肥料、米穀販賣	二七、八〇	福田屋	才川町 五	—	渡邊秀太郎
肥料 販賣 (穀參照)	木村屋	紅雲町 二九	六八	—	木村 儀作

業種別	營業稅	商號	營業所	電話番號	電略號	氏名
肥料製造	(質參照)	ます屋	萱町 三	五二	—	田中その
肥料販賣	一九、八九	—	細ヶ澤町 二元	—	—	大島宗平
全	(穀參照)	布施屋	紅雲町 三	—	フ	布施源治
肥料商	一五、五四	大島屋	岩神町 二元	—	—	行田光三郎
兼茶販賣	—	—	紅雲町 二六	—	—	阿部源十郎
肥料商	一四、八〇	—	全	—	—	鈴木勝次郎
兼米穀販賣	—	木屋	細ヶ澤町 四	—	—	山口貞次郎
全	二、七四	—	—	—	—	近藤廣次郎
全	—	—	紅雲町 二四	—	—	中澤貞三
肥料商	二、一八	—	岩神町 三	—	—	出澤今朝吉
肥料商	一〇、九〇	岩附屋	—	—	—	—
兼肥料販賣	九、五四	—	一毛町	—	—	—

せ之部

○石

炭

石炭販賣	五、二〇	—	田中町 七	二五	マナ又ハ	大川久平
全	四七、〇〇	角張石炭部	田中町 五九	三四	—	角張重介
兼コークス販賣	三〇、〇〇	前石炭商會	全	四九	〇イ	小泉新内
兼湯屋	二六、二六	清水屋	曲輪町 一四	三六	シ	清水利三郎
全	—	—	田中町 八〇	二	—	本島甚吉
全	一三、〇〇	山本	萱町 三	—	—	田中常太郎
全	八、〇〇	—	—	—	—	—

○石

灰

石灰販賣 (穀參照)	—	—	田町 四	一五六	ヨシ	合資會社吉澤商店
セメント販賣 (金物參照)	—	小松屋	壱町 一九	五	コトモ	荒井たつ
石灰、セメント販賣 (穀參照)	—	林屋	紺屋町 二四	—	—	籾山米三郎
石灰、セメント販賣 (兼壁用品)	一六、六〇	清水	前代田 四九	—	—	石澤保三郎

業種別 營業稅 商號 營業所 電話番號 略號 氏名

石灰販賣 二、三、^四、^五、^六 天川原七〇六 宮澤ふく

○石 材

石材販賣 二、三、^四、^五、^六 立川町 宮川豐吉

人造石製造 二、三、^四、^五、^六 保科 岩神町 九 矢川幸太郎

兼壁用品販賣

◎銀行之部

株式會社群馬縣農工銀行

本町一八番地 電話一二三番

設立 明治三十一年五月五日

資本金 壹百萬圓

(內拂込六拾貳萬五千圓)

諸積立金 參拾參萬四千百拾貳圓

取締役頭取 葉住利藏

取締役 高津仲次郎 武藤金吉

鹽田清平 松井八十吉

江原桂三郎 本間千代吉

監查役 小澤宗平 佐藤量平

高橋諄三郎

株式會社三十九銀行

本町九三番地 電話二三番

設立 明治三十一年九月十日

資本金 參拾五萬圓 (全額拂込濟)

取締役頭取 江原芳平

取締役 森村藤八 牧清見

鷗飼長平 江原桂三郎

監查役 北爪善吉 木戸廣吉

株式會社上毛物產銀行

本町一九番地 電話二二番

設立 明治十四年六月十五日

資本金 貳拾萬圓

(內拂込濟拾五萬圓)

諸積立金 五萬七千圓

取締役頭取 江原芳平

取締役 竹內勝藏 今井善兵衛

森村鍋太 江原桂三郎

監查役 竹內清次郎 木村寅十郎

株式會社上毛貯蓄銀行

紺屋町三四番地 電話六番

設立 明治三十年三月十五日

資本金 貳拾萬圓

(內拂込八萬七千五百圓)

諸積立金 六萬六千圓

取締役頭取 藤井新兵衛
專務取締役 南雲實平
取締役 本間千代吉 森村堯太
支配人 南雲仁八郎
監查役 中野森太 本間三郎
田村平衛

株式會社前橋商業銀行

一毛町甲九番地
電話 一一五番

設立 明治三十一年九月十日

資本金 五萬圓(全額拂込濟)

諸積立金 貳萬八千圓

株式會社群馬商業銀行前橋支店

本町四番地
電話 一三七番

全 上 出 張 所

細ヶ澤町七〇番地
電話 三六五番

本店 群馬縣佐波郡伊勢崎町

資本金 壹百萬圓

(內拂込五拾萬圓)

積立金 六萬貳千圓

頭取 安田善八郎
支店詰取締役 若菜福郎
支配人 鈴木卯三郎

取締役頭取 平田健太郎
取締役 宮崎吾一 佐賀山鎌太郎
今井文七
監查役 島田銀三 江原榮次郎

株式會社第二銀行前橋支店

(前橋本金庫)

本町七八番地
電話 五九番

本店 橫濱市本町

資本金 壹百五十萬圓

積立金 壹百四十萬圓

頭取 原富太郎
支店支配人 田原尚

◎會社之部

但シ人名錄中ニアルモノハ茲ニ省ク

利根發電株式會社

堀川町

電話 營業用 三一五番 電車發着所 一三〇番
一三五番 變電所 三三一番
支配人用 五一二番 瓦斯部 一〇四番

設立 明治四十二年五月廿五日

營業ノ目的 水力電氣ヲ以テ電燈、電力

供給及之ニ關スル器械販賣

並ニ電氣軌道及瓦斯供給事

業

資本金 六百萬圓(內拂込參百拾萬

壹千貳百五十萬圓)

諸積立金 六萬四千貳百七拾貳圓

取締役社長 欠 員

專 務 望月 磯平 武政恭一郎

常 務 竹內清次郎 葉住利藏

大澤 惣藏 須田 宜

久保田 健次郎 羽尾 勘七

大塚 久右衛門 高橋 諄三郎

大澤 福太郎 荻野 萬太郎

監 查 役 細 谷 哲 長谷川 調七

木村 淺七 小林 庄太郎

中島 宇三郎

相 談 役 根津 嘉一郎

上毛倉庫株式會社

田 中 町
電話 四四番

設 立 明治二十八年十二月

營業ノ目的 貨物保管、擔保貸付、貸庫

委託販賣

資本金 拾萬圓(內拂込七萬圓)

諸積立金 四千六百五拾圓

取締役社長 江原 桂三郎

取 締 役 江 原 芳 平 高橋源之助

竹 內 勝 藏

監 查 役 岩 田 金 次 郎

◎同業組合

前橋繭絲同業組合

本町八五番地
電話 五〇三番

目的 繭絲賣買業者營業ノ改良發達

組 長 竹 內 勝 藏 副組長 高橋源之助

前橋製絲同業組合

紺屋町三三番地
電話 二六一番

目的 製絲業者ノ營業上ノ弊害除去信

用保持及改良發展

組 長 竹 內 勝 藏 副組長 梅澤惠三郎

前橋撚絲同業組合

本町八五番地
電話 五〇三番

目的 撚絲業者ノ營業上ノ弊害矯正信

用保持

組 長 龜 井 勝 次 副組長 杉本利三郎

前橋熨斗絲同業組合

本町二四番地
電話 三〇一番

目的 熨斗絲生皮等ノ改良發達並ニ弊

害除去信用保持

組 長 富 澤 才 次 郎

副組長 井口伊作 小田平六

◎産業組合

有限責任信用販賣組合交水社

一毛町一〇番地
電話 一一九番

目的 組合員ニ資金ヲ貸付シ貯金ヲ爲
サシメ組合員ノ委託ヲ受ケ生絲
及其副産物ヲ販賣ス

理事長 鈴木小十郎
理事 木村農夫吉 岡部傳平
角田久吉 梅澤惠三郎

有限責任前橋新町信用組合

新町六番地

目的 組合員ニ資金ヲ貸付シ貯金ヲ爲

サシム

理事長 江原榮次郎

無限責任信用販賣組合春洋社

曲輪町三一番地
電話 三一八番

目的 組合員ニ資金ヲ貸付シ貯金ヲ爲
サシメ組合員ノ委託ヲ受ケ生絲
ノ販賣ヲ爲ス

理事長 松本善太郎

有限責任前橋製麵業信用購買販賣組合

諏訪町七三番地

目的 組合員ニ資金ヲ貸付シ其生産シ

タル製麵ヲ委託販賣シ其必要ナ
ル物品ヲ購買シ配布ス

理事長 江原興三郎

有限責任前橋牛乳販賣組合

立川町八八番地
電話 六六七番

目的 組合員ノ生産シタル牛乳ヲ買収
シ之ニ加工シ又ハ加工セズシテ
販賣ス

組合長理事 中村勉次
専務理事 羽生田興作

◎官公署

群馬縣廳 曲輪町

知事官房 五五〇番
電話 二〇七番
内務部 四二〇番
警察部 二一〇番

知事 三宅源之助

内務部長 渡部忠壽

警察部長 馬場一衛

前橋市役所 曲輪町

電話 四〇五番
四〇六番

市長 木村二郎

助役 大須賀巖

収入役 廣羽虎八

前橋地方裁判所 北曲輪町 電話一四七番

所長 杉坂實

檢事正 吉良辰次郎

前橋區裁判所 北曲輪町 電話一四七番

監督判事 三澤清太郎

前橋監獄 紅雲町 電話一四一番

典獄 渡邊武直

前橋稅務署 田中町 電話二六二番

署長 曾我部房衛

前橋郵便局 曲輪町

電話
事務申告用 四一〇番
電報送受用 九〇番
一般事務所 一〇番
電話呼出用 五〇〇番
工事事務用 四〇番
試驗用 六〇番

局長 船越信之

前橋驛 前代田 電話二六〇番

驛長 若月聰多

群馬縣農事試驗場 前代田 電話四〇一番

場長 青山三治郎

前橋警察署 曲輪町 電話二二三番

署長 堀太郎作

國立蠶業試驗場前橋支場

岩神町 電話一四二番

場長 肥後俊彦

勢多郡役所 一毛町 電話二六四番

郡長 橫尾雄彌

群馬縣原蠶種製造所 前代田 電話七〇三番

所長 青山三治郎

群馬縣蠶業取締所 前代田 電話四三二番

所長 永井治良

帝室林野管理局東京支廳

前橋出張所 曲輪町 電話七四〇番

所長 恩田半次郎

前橋測候所 岩神町

電話二三七番

所長 赤井敬三

群馬縣農會 曲輪町

電話四〇二番

會長 三宅源之助

前橋商業會議所 紺屋町

電話二六一番

會頭 藤井新兵衛

◎議員

貴族院議員 江原芳平

衆議院議員 大隈信常

縣會議員 岡田養平

市會議員 譽田三十郎

議長 高橋源之助

副議長 岡田養平

參事會員 荒井久七 齋藤銅造

田村作太郎 小栗音五郎

岡田文吉 野中倉吉

中島政五郎 中島雅各

藤波爲次郎 佐賀山 鎌太郎

河島海二郎 大島信太郎

勝山益太郎 今井庄平

議員

羽生田仁作 横川文五郎

眞下鶴吉 鈴木小十郎

岡部傳平 岩田金次郎

高齋儀一郎 田中吉藏

岡田文吉 小栗音五郎

竹內勝藏 高橋駒次郎

中島雅各 深町彌代藏

佐賀山 鎌太郎 杉本利三郎

中島政五郎 田口清兵衛

鈴木愛三 平形藤平

角張重介

商業會議所議員

會頭 藤井新兵衛

副會頭 平田健太郎

常議員 江原桂三郎 高橋源之助

竹內清次郎 江原岩吉

梅澤惠三郎 勝山益太郎

荒井久七

◎旅館

屋號	營業稅	所在地	電話	營業主
白井屋	七四、〇〇	本町二	一〇三	兼松春雄
住吉屋	六六、五〇	桑町三	一〇七	宮内國太郎
岩六屋	六三、九七	本町一	一五	金子政吉
油屋	六二、二五	全町四	二九	田部井安太夫
東郷館	五六、二五	堅町四	二七	井田福一郎
小泉屋	三九、〇二	曲輪町六	三	小池米太郎
鍋屋	三三、五〇	横山町六	七	松宮晴
住屋	三三、〇〇	本町二	四五	小野田伍兵衛
木屋	二四、〇〇	連雀町九	一	小林常次郎
旭館	二三、五〇	一毛町七	一〇	小澤はつ

前橋館	白井屋	橋本屋
三、七	二、八五	一、三、七
田中町七	堅町八	立川町四
三〇	六三	—
松本トメ	坂晴吉	中島稻太郎

◎料理店

區別	屋號	營業稅	所在地	電話	營業主
甲部	赤城亭本店	二二、三三	曲輪町二	二	羽生田與作
	嬉野	一四二、〇〇	堅町八	一四五	西川半次郎
	新昇	九八、八〇	立川町六	一八	合名會社新昇料理店
	樂源支店	五三、二〇	榎町九	三五	高田長八
	岡源支店	五三、〇〇	本町二	二七	鯨井しづ
	滿壽屋	四八、四〇	横山町四	三五	寺島まさ
	鍋屋	四四、二八	紺屋町三	四	高川てる

櫻屋	川志満	中島屋	富茂登	太田家	龜の樓	中村屋	小池屋	高田樓
一九、八四	一九、六〇	一九、二	一八、四	一八、四	一八、四	一八、四	一八、四	一六、〇〇
横山町	紺屋町	連雀町	榎町	全	全	本	本	本
三	七	三	八	四	三	三	三	二四
小山あさ	川島徳三郎	志村富一郎	狩野ヨシ	勝間サク	坂本勘吉	牧野ウメ	小池トワ	大谷ハマ

乙 區別	宮田樓	新武藏	川田家	常盤亭	相川亭	濱本	五十嵐亭	新鶴賀家	新信濃樓	柳屋	新龜樓	日の出
屋號	二五、二〇	二四、四〇	二三、八〇	二三、六	二三、二〇	二三、二〇	二三、〇〇	二三、〇〇	二二、五	二〇、八〇	二〇、〇八	二〇、〇八
營業稅	榎町	全	全	紅雲町	紺屋町	榎町	横山町	紺屋町	榎町	萱町	榎町	紺屋町
所在地	四	五	六	六	五	五	三	五	四	八	三	五
電話	宮田ツイ	對間マサ	横田ふさ	松下駒之助	村田與利藏	志村忠作	五十嵐喜兵衛	平賀仲吉	守矢キク	柳谷辰藏	木村待太郎	大野又次
營業主	宮田ツイ	對間マサ	横田ふさ	松下駒之助	村田與利藏	志村忠作	五十嵐喜兵衛	平賀仲吉	守矢キク	柳谷辰藏	木村待太郎	大野又次

大正四年十月二日印刷
大正四年十月五日發行

前橋市役所藏版

發行者 前橋商業會議所

代表者 藤井新兵衛

群馬縣前橋市細ヶ澤町七番地

印刷者 仁井田錠次郎

群馬縣前橋市北曲輪町四十三番地

印刷所 前橋印刷所

群馬縣前橋市堅町百壹地番



銀行一般ノ業務精々
御便利ニ取扱可申候

前橋市一毛町(立川町北通り)

株式會社 前橋商業銀行

電話一二五番

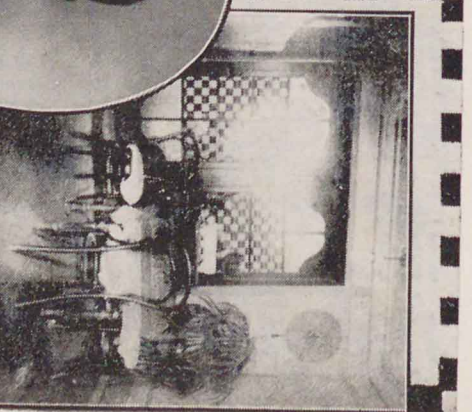
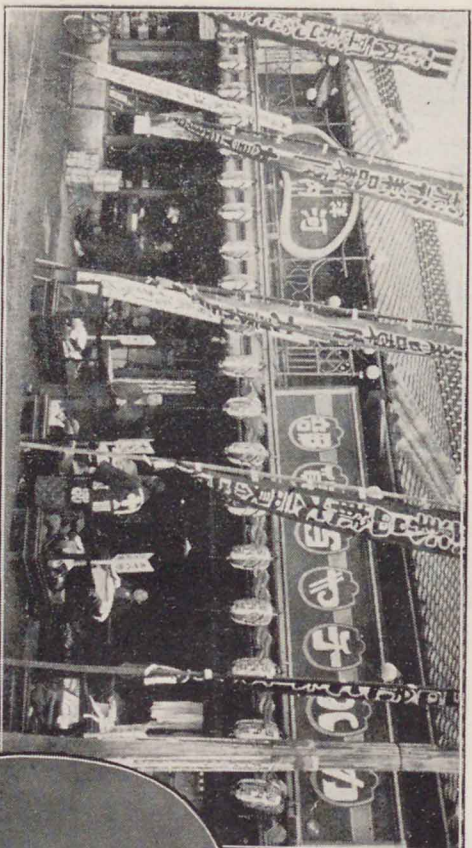


旅東郷館

前橋市堅町

電話二二七番

井田福一郎



休息室

前橋市堅町
電話一六六一
口座二一三一

營業主 任 川 傳 次 郎 店 舖

洋 品 部 (百) 貨 部

河 內 屋



諸國產陶磁器

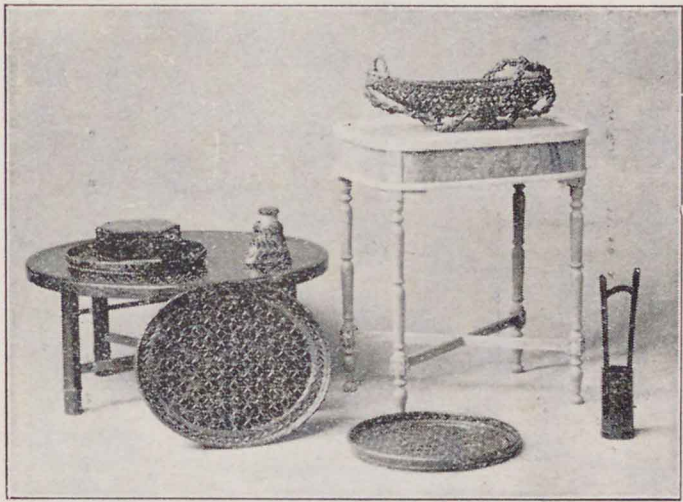
水瓶。土管。煉瓦

前橋市堅町二十番地

久小久陶器店

小松屋號 荒井久七

電話四十二番



赤城塗盆
美術木工品
美術竹製品

製造本舖

前橋市本町八十七番地

鹽川德平商店

石炭コークス仲立



前橋石炭商會

前橋市停車場通り

主義 買入レモ亦販賣モ并ニ現金

會主 小泉新内

電話四百九番



弊店は銘茶産出地として有名なる武州狭山に五丁歩餘の茶園を有し栽培製法共に完全なる設備に依りて經營致し居候

銘茶卸小賣

前橋市桑町

水本園

電話 百六番

振替東京九二六四番

前橋市横山町

米專呉服店

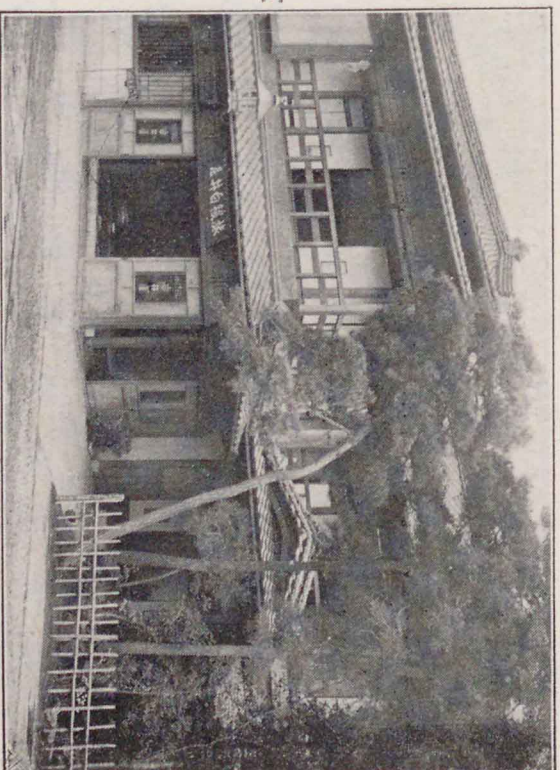
電話十八番

SHIROIYA HOTEL

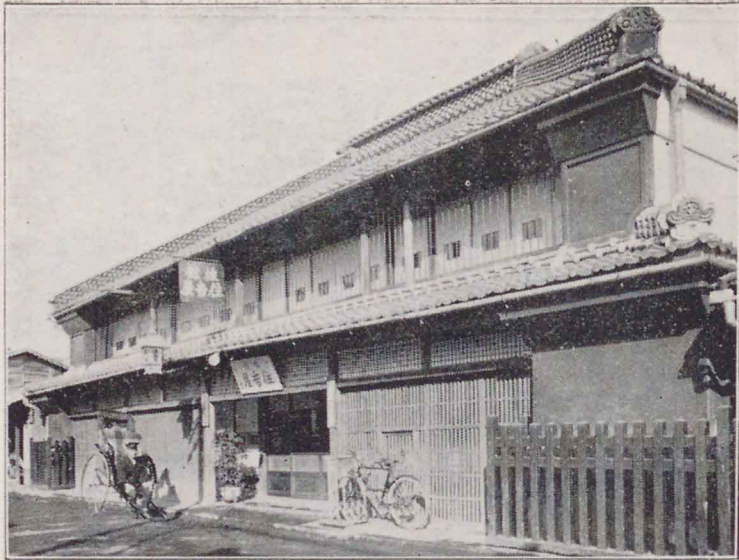
町本市橋前

館旅屋井白

番二〇一話電



MAYEBASHI JOSHIU



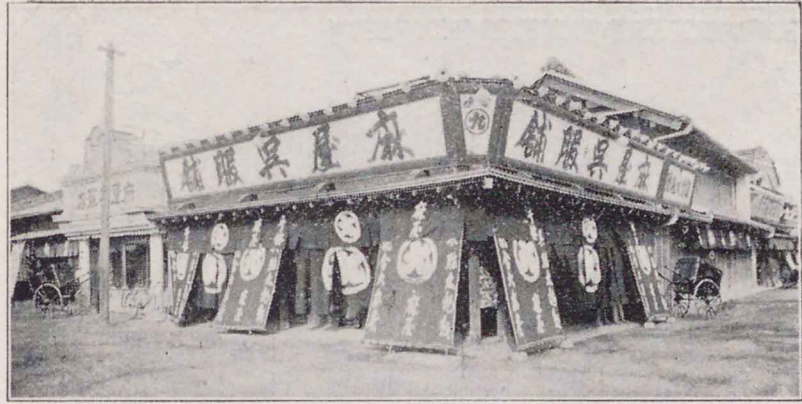
旅館
住吉屋

清爽なる離れ座敷増築
閑雅且つ幽静なる新庭園

如何にせば御客様方の御満足
遊すやに付絶へす努力致居候

宮内國太郎

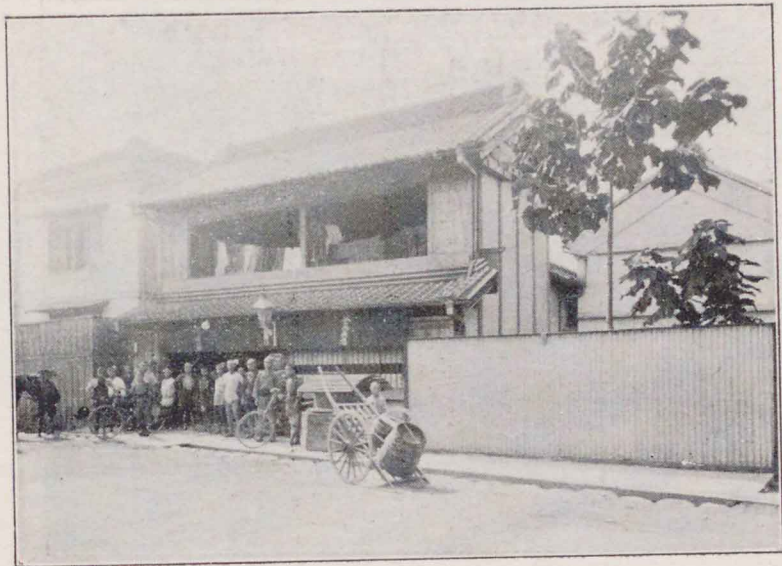
前橋市桑町 電話百〇七番



前橋市横山町

麻屋呉服店

電話 百五十番
振替 東京 九貳七六番



醬油釀造販賣
味噌

家傳トラホーム目薬調劑

前橋市向町二番地

下登丸佐金治

電話三百五十七番

斬

新



流

行

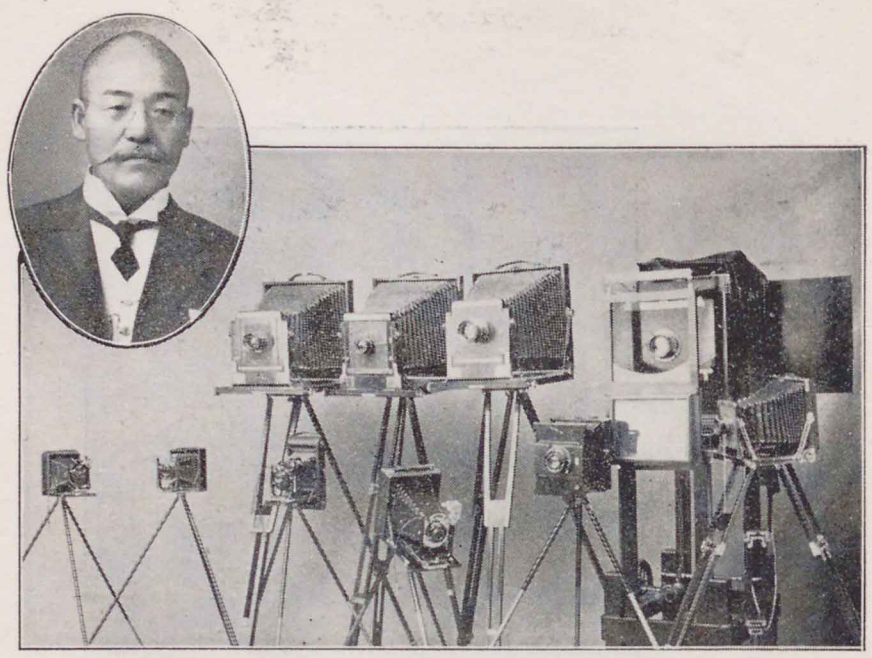
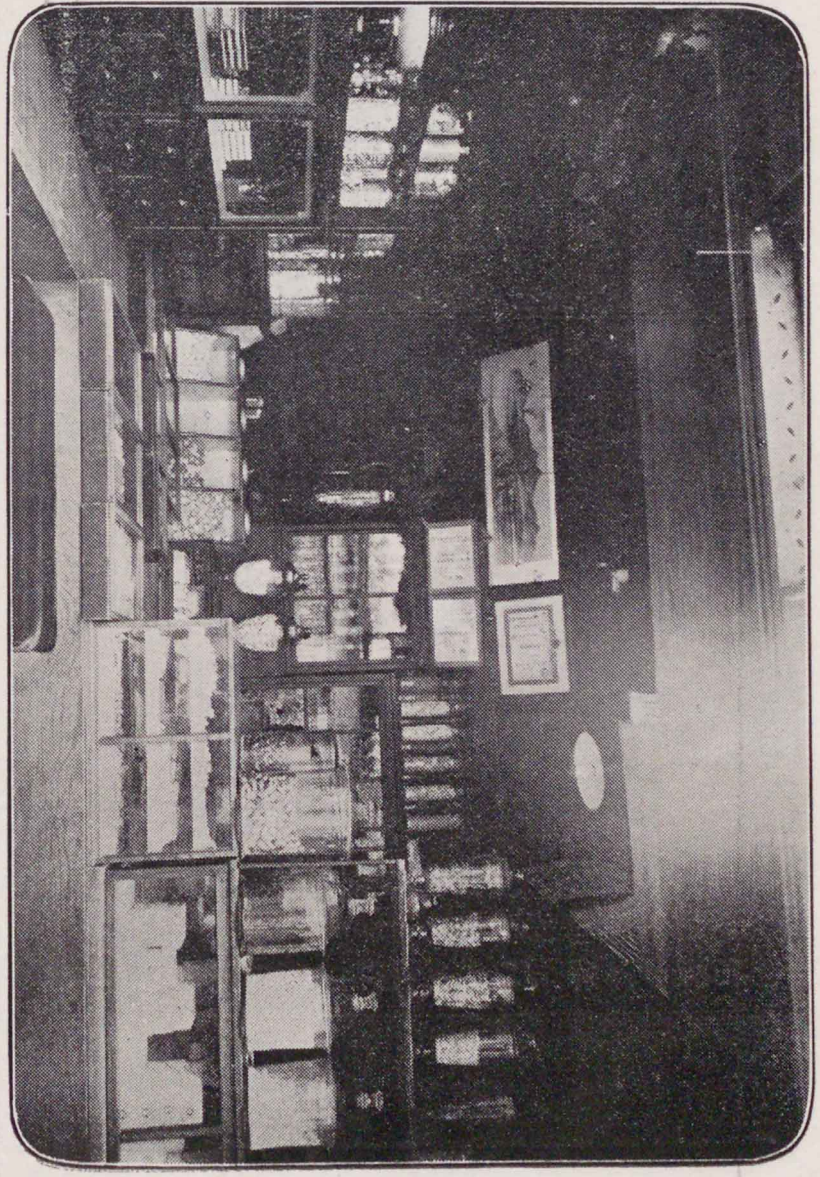
高等洋服店

三浦護衛

前橋市曲輪町
電話三十二番

群玉堂 磯崎 保教
 前橋市紺屋町
 電話百五十一番

弊堂精撰の麥落雁は無害衛生上有効にして各大醫の證明を得御贈答用として先方様の御満足を買ひ贈て家庭の全體が共に樂み得る香味にして我群馬代表的菓子なり



寫眞

精谷

わ が ゐ

前橋市曲輪町電停場前
 電話二四八番

NABEYA-HOTEL

取扱懇切なる



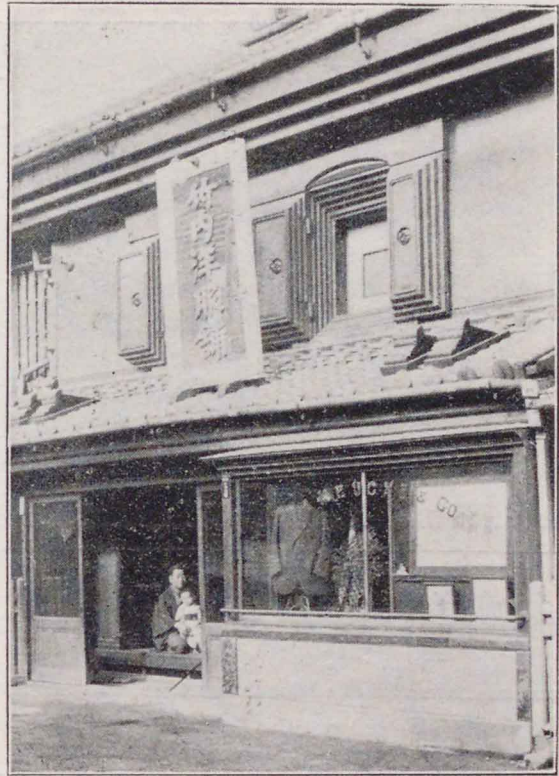
堅實を主とせる

鍋屋旅館

前橋市横山町 電話七十七番

柄向裁縫共流行に先んじ

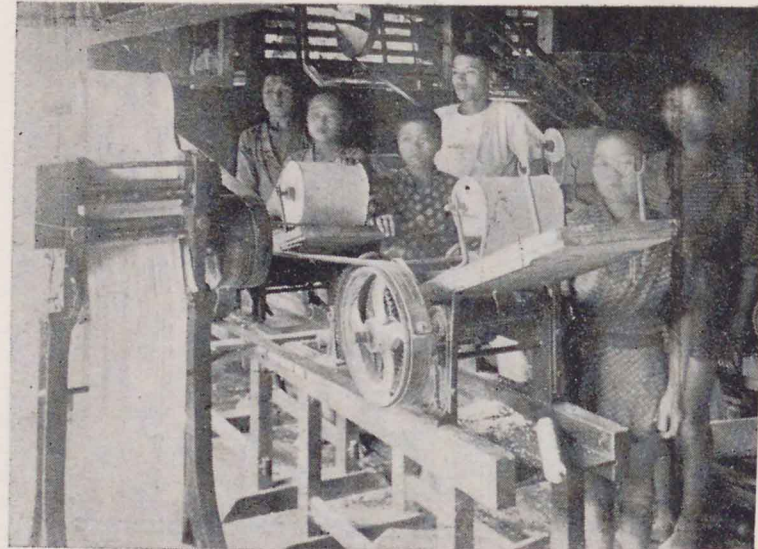
入念
調製



竹内洋服店

電話二三三番

前橋市桑町



品質精撰を旨とし
 完全なる機械力に依り
 製造大販賣を致し候

製 麵 業

高橋屋號

十 江原與三郎

前橋市諏訪町
 七十三番地

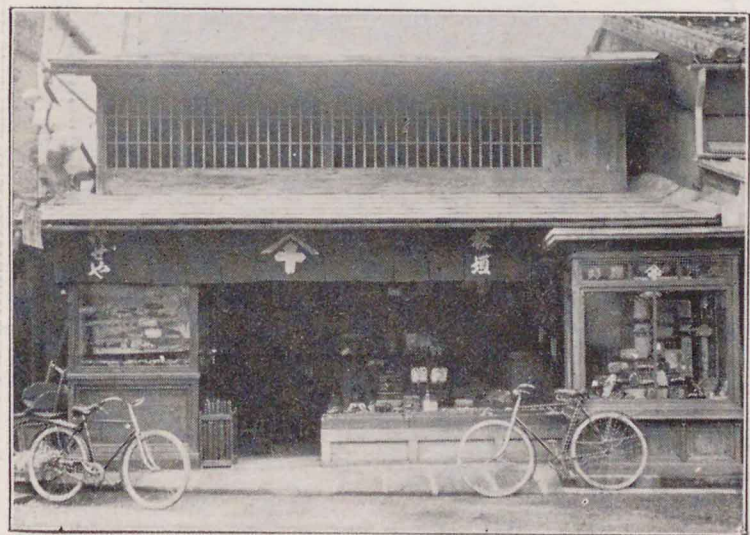
斬新流行行

群馬縣物産陳列館内に
 出品あり即賣致し候



履物商 伊勢屋號
 板垣宗太郎

前橋市曲輪町





乾細精 蠶末製 蛹粉蠶 蠶完蛹 蛹全榨 肥油 粕料

製 造 販 賣
內 外 諸 肥 料 買 賣

群馬縣前橋市一毛町二百四番地

五前橋蠶蛹榨油合資會社

社長 出澤今朝吉

群馬縣前橋市一毛町字南島原

五前橋蠶蛹榨油會社工場

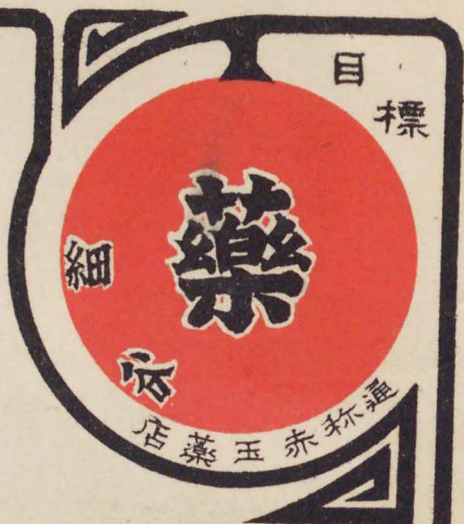
群馬縣前橋市天川原

支店 須田信太郎

群馬縣前橋市紅雲町

支店 近藤廣治郎

目 標



內外諸藥品
醫家處方調劑

前橋市豎町六十三番地

細谷藥局

電話三百三十七番

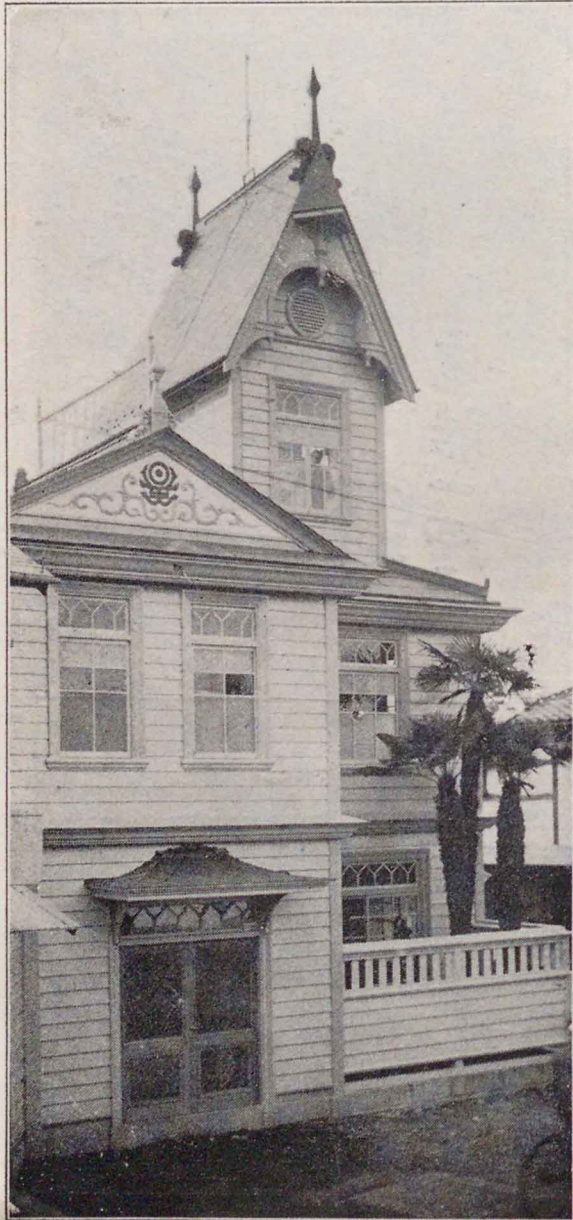
主任藥劑師 細谷次男

各種滋養品
醫藥用器械
治療用衛生材料

新築落成轉移

大正四年十月十日開業

弊館は工學博士築千里氏の設計に
しに光線圓滑理想的新寫場なり



人像專門 日英寫真館

前橋市豎町壹番地〔坂下停留場前〕

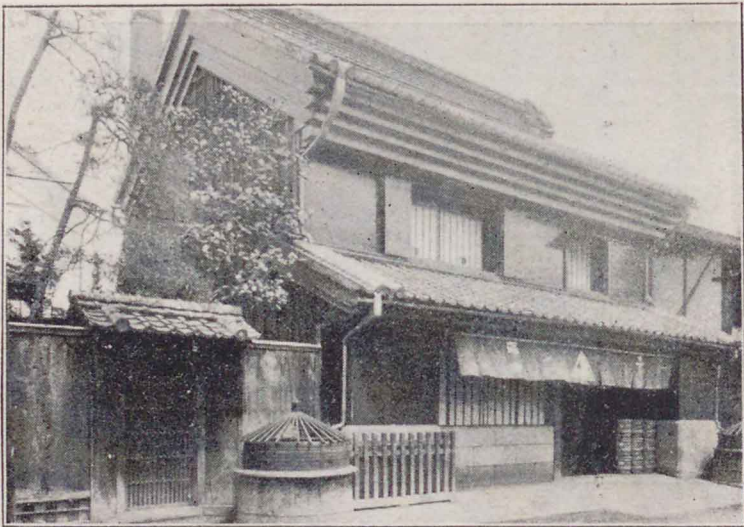
電話四六六番

御料理



前橋市復所

電話三五三



最上味噌 最上醬油



登録商標



登録商標

釀造元

清水井號

深町富八

前橋市横山町

電話二十四番

割烹

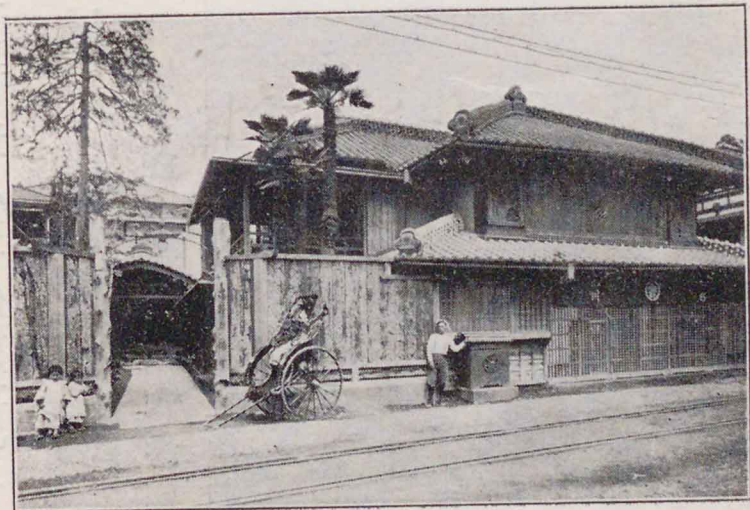
前橋市堅野

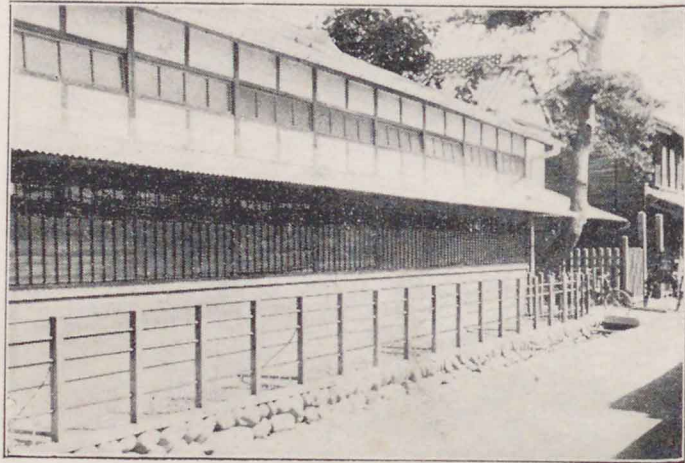
電話一四五

御多衆様宴會に對しても

充分の設備致しあり候

御愛顧の程奉願候





清水井紙店印刷工場

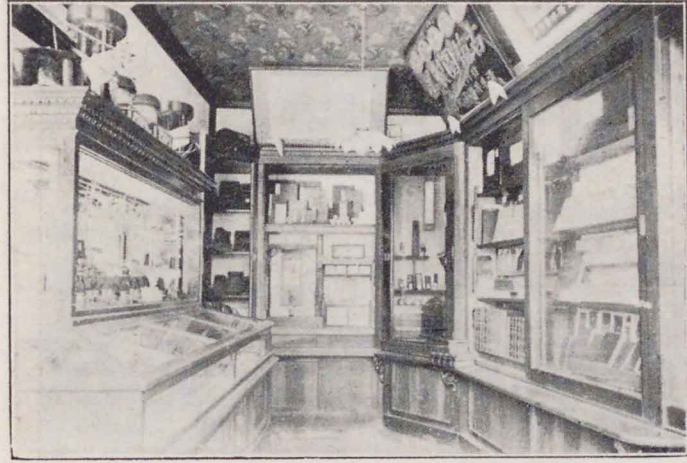
活版石版
各種印刷



前橋印刷所

店主 深町 傳七

前橋市 堅町 電話 三二〇番



文房具陳列場の一部

和洋紙類
學校用品
文房具
和洋帳簿
表具用品



清水井紙店

深町 傳七

前橋市 堅町 電話 二五五番

小松屋號



營業品
概目

銅鐵品一式
建築用鐵材
七メニ
壁用
米形
日本形
縣

群馬県立図書館

Barcode with number 0238193-7

荒井鐵塵

群馬県立図書館
電話番五番
略電
振替口座
四〇四三